

アジア・太平洋価値観国際比較調査

——文化多様体の統計科学的解析——

日本2010調査報告書

吉野諒三・二階堂晃佑 編集

2011年5月

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

統計数理研究所

〒190-8562 東京都立川市緑町10-3

アジア太平洋価値観国際比較調査 日本 2010 調査報告書

—文化多様体の統計科学的解析—

研究組織

- 研究代表者 吉野諒三 (統計数理研究所 データ科学研究系 教授)
- 研究分担者 土屋隆裕 (統計数理研究所 データ科学研究系 准教授)
- 研究協力者 山岡和枝 (国立保健医療科学院 技術評価部 室長)
佐々木正道 (中央大学 文学部 教授)
鄭 躍軍 (同志社大学 文化情報学部 教授)
林 文 (東洋英和女学院大学 人間科学部 教授)
松本 渉 (関西大学 総合情報学部 准教授)
前田忠彦 (統計数理研究所 データ科学研究系 准教授)
- 二階堂晃祐 (統計数理研究所 技術補佐員)
巖 晶 (統計数理研究所 技術補佐員)

Asia Pacific Values Survey

--- Cultural Manifold Analysis (CULMAN) on peoples' sense of trust --- JAPAN 2010 Survey

Chief Ryozo Yoshino

(Professor, Department of Data Science, The Institute of Statistical Mathematics)

Members

Takahiro Tsuchiya (Associate Professor, Department of Data Science, The Institute of Statistical Mathematics)

Kazue Yamaoka (Chair, Department of Technology, Assessment and Biostatistics, National Institute of Public Health)

Masamichi Sasaki (Professor, Chuo University)

Yuejun Zheng (Professor, Doshisha University)

Assistants

Kosuke Nikaido (Technical Assistant, The Institute of Statistical Mathematics)

Akira Horoiwa (Technical Assistant, The Institute of Statistical Mathematics)

Collaborators

Domestic:

Fumi Hayashi (Professor, Toyo-Eiwa Women's University)

Wataru Matsumoto (Associate Professor, Kansai University)

Note: In the case we find some errors in our reports or data, we will list them in our home page:

<http://www.ism.ac.jp/~yoshino/>, where you can see our past surveys too.

※ 今後、本報告書を含め、過去の調査報告書に誤謬が見つかった場合は、報告書の Web ページ (<http://www.ism.ac.jp/~yoshino/>) にてお知らせする予定である。



はしがき

本書は、日本学術振興会の科学研究費補助金の支援による「アジア・太平洋価値観国際比較調査…文化多様体の統計科学的解析…」(基盤研究 S 課題番号 No.22223006、研究代表 吉野諒三)(2010 年度・2014 年度)の日本 2010 年調査の第 1 次報告を、統計数理研究所・調査研究レポートとして発刊したものである。

本調査研究は先行する 2002・2005 年度の「東アジア価値観国際比較調査」、および 2006・2009 年度の「環太平洋価値観国際比較調査」の拡大を意図した調査研究の一環であり、2010 年度は日本と米国において、それぞれの国に応じた統計的標本抽出法に則り、面接調査が遂行された。日米ともほぼ同期間に調査が遂行されたが、米国は中間選挙後、日本は 2011 年東日本大震災前となった。

この研究は、歴史的には統計数理研究所における 1953 年以來の「日本人の国民性」調査及び 1971 年以來の「意識の国際比較」調査の延長上にある。「日本人の国民性」調査は、戦後民主主義の基盤としての官民の世論調査発展と緊密に結びつき、「意識の国際比較」調査は、連鎖的調査分析 (Cultural Linkage Analysis, CLA) の確立へとつながった。そしてさらに、最近行われた我々の他の国際比較調査研究とともに、この研究は、計量的文明論としての「文化多様体解析 (Cultural Manifold Analysis, CULMAN)」という方法論の確立を目指す研究の一環として位置づけられている。

本研究の背景と意義は、以下の通りである。

冷戦が終了し、世界情勢のダイナミックな変動とともに、政治、経済、社会の伝統的枠組が大きく変わり、社会生活の基盤であった人々の信頼のあり方も大きな影響を受けている。伝統的な産業社会から高度情報化社会への過渡期と見られる現在、従来の家庭、学校、職場での人間関係のあり方にも崩壊が生じ、新たな時代の流れが確立するまでの混乱が続いてきた。日本経済はバブル崩壊以降、「失われた 10 年」と言われたが、その状況は現在でも改善されたわけではない。

一方、政治経済の視点からは、欧州共同体や南北アメリカ圏のみならず、東アジア圏の再編成が唱えられている。東南アジアを含む東アジア圏は、欧州とは異なり、多様な文化、歴史を持つ国々や地域の集合であり、政治にせよ経済にせよ、それらの統合は必ずしも容易ではないであろうが、現実には ASEAN 等の協力関係が推進されつつある。我々が 2002 年の東アジア価値観調査を計画した時には、「東アジア」という言葉はまだ一般には、地理的に曖昧なものでしかなかった。その後、「東アジア共同体」構想についての議論が高まり、特に戦後長期に継続した自民党政権から民主党の鳩山政権になり、その構想が掲げられたが、沖縄米軍基地移転問題などを含め、日中米の国際関係の中で警戒感を巻き起こし、交代した菅政権では、その言葉は消えてしまった。ただし、アジアと太平洋の各国の多様な協力、多重の連携協力は着実に推進されており、「アジア・太平洋共同体 (APEC)」や「環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP)」等々の国際協力の枠組みの検討が始まり、あたかも「文化の多様体」(吉野,2005; Yoshino, Nikaido & Fujita, 2009)が構築されているかのようである。

こういった世界の流れを適格に把握し、将来を見通すための実証的基礎情報を収集すべく、各国、各機関が様々な社会調査、国際比較調査を遂行している。例えば、世界価値観調査 (World Values Survey) は、世界の 20~30 数カ国で共通質問項目を用いた国際比較調査データや時系列比較可能なデータを提供し、学術研究にも行政施策にも資するところが大きい。しかしながら、過去の東アジア地域における調査の実情を詳細に調べてみると、その結果には疑いが隠せない。国際比較調査では、質問項目を各国の言語に適切に翻訳することが重要な手続きであるが、各国内の事情の差異を見過ごしたための誤訳が見受けられ、また、報告された回収率などから、計画された統計的無作為標本抽出の手続きが調査の現場でどこまで遵守されているのか、疑義を持つ調査研究者も少なくない。

以上のような背景があり、我々は、アジア・太平洋地域の調査は、やはり当該地域の人々によって慎重に推進されるべきであるという認識に至った。我々は、各国でどの程度統計学的に適正な標本抽出調査が遂行でき、また国際比較可能性が保てるのかという課題を自ら実証的に検討することを主眼にし、それを把握した上でアジア・太平洋諸国の人々の価値観や意識を比較分析する課題に取り組んできた。現実には、各国で日常、厳密な統計調査がどの程度なされているか、それ自体が各国の政治・経済・社会の状況を如実に表していることが強く認識されている。

今回の調査票は、一般社会意識調査としてのスタイルをとり、人々の生活一般に関する多様な項目を含んでいる。しかし、特に 21 世紀初頭の急変しつつある世界情勢、そしてその中でも、急速に変化するアジア・太平洋の国々と、数々の問題を抱えながらも再秩序化されつつある国家間の関係を考慮して、日本と他のアジア・太平洋諸国の人々の価値観、対人的信頼感や法意識を含む人間関係に関する意識、自然観や生命観の統計的解明に適切と思われる項目を検討した。結果として、多くの項目は、2002-2005 年度の「東アジア価値観国際比較調査」及び 2006-2009 年度の「環太平洋価値観国際比較調査」と重複しているので、重複して調査されている国や地域については、この 10 年ほどの時系列調査ともなっている。

社会調査、特に国際比較調査では費用、時間、労力のみならず様々な技術的な限界が常に付き纏うものであり、目前の多様な問題解決へ直ちに繋がるような調査項目の選定は容易ではない。今後の各方面での調査データや情報を、相補的に考慮して研究を推進するのみである。

アジア・太平洋諸国の社会状態は複雑であり、特に中国、そしてインドの躍進は目覚ましいものがある。一方でどの国も政治的にも決して一枚岩ではなく、地域や階層の間の大きな経済格差を抱え、それが国際関係の進展にも影を投げ、将来を予測するのは容易ではない。それゆえに、各国の客観的実態統計とともに、各国民の意識や価値観の動向を的確に調査する意義がある。我々の基本方針は、現地で通常用いられている調査方法を尊重し、その実態を学ぶことである。国や地域によっては、しばしば、回収データの質の低さの点で、これまで我々が遂行してきた国や地域と比較して、統計的方法論や実践の手続きなどの諸問題に憂いを抱かざるを得ないが、調査研究者としてはそのようなデータの中から、いかに信頼できる情報を抽出できるか考えていかねばならない。

国際比較としての詳細なデータ解析も、実際の調査では避けられない各国・各地域の言語の差異、調査方法の差異などを考慮し、単純に回答分布の皮相な数字の大小比較ではなく、今後収集されていく他の関連諸国・地域の調査データや資料、情報とともに、慎重に時間をかけて安定したパターン構造を浮かび上がらせるような分析がなされて行くべきである。それゆえ、本報告書は、国内外の多くの方々々に速やかに基本情報を提供すべく、一次報告として刊行されている旨を御了解願いたい。

(文責 吉野諒三)

※今回の日本調査は、2011年3月11日に起きた東日本大地震の前に遂行されたものであり、当然、その影響は受けていない。米国西海岸の一部でも津波被害が生じたが、米国政府は、震災後ただちに the operation “Tomodachi” (friends) を実行に移し、日本での災害被害者の救出、復興支援、巨大地震の2次災害となった福島原子力発電所事故の対応への協力を推進させている。データ解析においては、調査項目によってはこのような事情をも勘案すべきであろう。

※われわれの過去の国際比較調査等、関連情報として、次の統計数理研究所の Web ページも参考にして頂きたい (<http://www.ism.ac.jp/~yoshino/>)。今後、本報告書を含め、過去の調査報告書に誤謬が見つかった場合は、同 Web ページにてお知らせする予定である。

注意. 2006-2009年度の「環太平洋価値観国際比較調査」に関して、同調査が環太平洋地域のみならずインドを含めていたため、過去の報告書や論文等で「アジア・太平洋価値観比較調査」の名称が用いられていた場合があったが、今後は、3つの関連する調査を明確に区別するために以下のように正式名称を定めることとします。

- ・「東アジア価値観国際比較調査」(2002-2005年度)
- ・「環太平洋価値観国際比較調査」(2006-2009年度)
- ・「アジア・太平洋価値観国際比較調査」(2010年度-2014年度)

謝辞

本研究は日本学術振興会による科学研究費補助金・基盤研究 S (課題番 No.22223006、研究代表 吉野諒三) の御支援により遂行されている。また、本報告書の刊行には、統計数理研究所・調査科学 NOE 経費も用いられている。

今回のアジア・太平洋価値観国際比較調査は、これまでの一連の調査研究の延長上であり、これらの研究は、文部科学省研究振興局学術研究助成課、機関課、情報課、日本学術振興会、トヨタ財団、日本財団、笹川財団をはじめ、官民の多くの方々や団体の御支援を得て遂行されたものであり、深く感謝いたします。

また、本報告書の作成の作業は中川未来、河合菜摘、松本拓郎、西岡由有、横瀬汐里、竹内裕樹、觸沢佳大、関祐輔、林恵恩、宮崎真理、鈴木愛、林恵恩、梁川大、Chinbat Munkhmanlai (順不同) の諸君にお手伝いいただきました。皆様に感謝いたします。

参考文献

- Fujita, T., and Yoshino, R. (2009). Social values on international relationships in the Asia-Pacific region. *Behaviormetrika*, Vol.36, No.2, pp.148-165.
- Hayashi, F. and Nikkaido K. (2009). Religious Faith and Religious Feelings in Japan: Analyses of Cross-Cultural and Longitudinal Surveys. *Behaviormetrika*, Vol.36, No.2, pp.167-180.
- 林知己夫、鈴木達三、吉野諒三他 (1998). 国民性七か国比較. 出光書店
- 林知己夫他 (1992). 第五 日本人の国民性. 出光書店.
- Inkeles, A. (1997). *National character*. Transaction Publishers: New Brunswick.
(吉野諒三 (2003) 訳「国民性論 — 精神社会的展望 —」出光書店)
- Tsunoda, H., Yoshino, R., & Yokoyama. (2008). Components of Social Capital and Socio-Psychological Factors That Worsen the Perceived Health of Japanese Males and Females. *The Tohoku Journal of Experimental Medicine*, Vol.216, No.2, pp.173-185.
- 吉野諒三 (2001). 心を測る — 個と集団の意識の科学 —. 朝倉書店.
- Yoshino, R. (2002). A time to trust. *Behaviormetrika*. Vol.29 No.2, pp.231-260.
- 吉野諒三 (2003). 「信の崩壊」 — 世論調査方法論の今日の課題. 行動計量学, 展望「21世紀の行動計量学」第29巻第1号, pp.45-54.
- 吉野諒三 (2003). 「信頼の時代」. *Eco-Forum*, Vol.22, No.1, 特集号「ソーシャル・キャピタル Part II」, pp.42-51. 統計研究会.
- 吉野諒三 (2005). 東アジア価値観国際比較調査—文化多様体解析 (CULMAN) に基づく計量的文明論構築へ向けて—. 行動計量学. 第32巻2号, pp.133-146.
- 吉野諒三 (2005). 富国信頼の時代へ—東アジア価値観国際比較調査における「信頼感」の統計科学的解析—. 行動計量学. 第32巻2号, pp.147-160.
- Yoshino, R. (2005). Trust and National Character— Japanese sense of trust, Cross-national and longitudinal surveys—. *Comparative Sociology*, Vol.4, No.3-4, pp.417-450.
- 吉野諒三 (2005). 東アジア価値観調査—文化多様体解析 (CULMAN) に基づく計量文明論の構築へ向けて —. 行動計量学. 第32巻第2号, pp.133-146.
- 吉野諒三 (2005). 富国信頼の時代へ—東アジア価値観国際比較調査における信頼感の統計科学的解析 ——. 行動計量学. 第32巻第2号, pp.147-160.
- Yoshino, R. (2006). A social value survey of China — on the change and stability in the Chinese globalization ——. *Behaviormetrika*. Vol.33, No.2, pp.111-130.
- 吉野諒三編 (2007). 東アジア国民性比較 データの科学. 勉誠出版.
- 吉野諒三 (2008). 「科学的」世論調査の価値・歴史と理論と実践の三位一体. 日本統計学会誌, 37,2, pp.279-290. (2008).
- 吉野諒三 (2008). 海外の標本抽出面接調査の方法. いんぷおるむ 第53回. 新情報, Vol.95. pp.7-12.
- 吉野諒三 (2008). 「国民性」と環境問題 —文化の多様性を受け入れる政策立案のために

- … 環境情報科学 37,1,pp.21-26. (特集号)
- 吉野諒三 (2008). UFO は存在するか? …お化け調査再考「合理と非合理の間」… 市場調査、273、pp.4-13.
- 吉野諒三 (2008). 継続調査の課題と将来. 社会と調査、創刊号、pp.29-35.
- 吉野諒三.(2008). 信頼の国際比較. (所収「ソーシャル・キャピタルの潜在力」稲葉陽二編), 日本評論社, pp. 31-53.
- Yoshino, R. (2009). Reconstruction of trust on a cultural manifold: sense of trust in longitudinal and cross-national surveys of national character. *Behaviormetrika*, Vol.36, No.2, pp.114-147.
- Yoshino, R. & Hayashi, C. (2002). An overview of cultural link analysis of national character. *Behaviormetrika*. Vol.29 No.2, pp.125-141.
- 吉野諒三、鄭躍軍、朴承根 (2003). 東アジア諸国の人々の日本語観. 行動計量学, 第 30 巻第 1 号, pp.311-52.
- Yoshino, R., Nikaido, K., & Fujita, T. (2009). Cultural manifold analysis (CULMAN) of national character: paradigm of cross-national survey. *Behaviormetrika*, Vol.36, No.2, pp.89-114.
- 吉野諒三・林文・山岡和枝 (2010). 国際比較データの解析. 朝倉書店.
- 鄭躍軍、吉野諒三、村上征勝 (2006). 東アジア諸国の人々の自然観・環境観の解析—環境意識形成に影響を与える要因の抽出—. 行動計量学. Vol.32, No.2, pp.55-68.

[統計数理研究所 研究レポート]

(<http://www.ism.ac.jp/editsec/kenripo/index.html> に一覧がある)

- No. 54. 社会的態度基底構造についての国際比較方法の標準化に関する研究.(林知己夫編, 1981)
- No. 59. 社会調査による国際比較方法の研究.(林知己夫編, 1984)
- No. 70. 意識の国際比較方法論の研究:連鎖的比較方法の確立とその展開—1988年ハワイ・ホノルル市民調査—. (林知己夫・鈴木達三編, 1991)
- No. 71. 意識の国際比較方法論の研究—新しい統計的社会調査法の確立とその展開—. (林知己夫・鈴木達三編, 1991)
- No. 72. 意識の国際比較方法論の研究 —5カ国調査共通ファイルコードブック—1987年ドイツ調査 1987年フランス調査 1987年イギリス調査 1988年アメリカ調査 1988年日本調査. (林知己夫編, 1992)
- No. 73. 意識の国際比較方法論の研究 —5カ国調査性別・年齢別集計—1987年ドイツ調査 1987年フランス調査 1987年イギリス調査 1988年アメリカ調査 1988年日本調査. (林知己夫編, 1993)
- No. 74. ブラジル日系人の意識調査 —1991~1992—. (山本勝造・河合武夫編, 1993)
- No. 75. 国民性の研究 第9回全国調査 —1993年全国調査—. (日本人の国民性調査委員会編, 1994).
- No. 76. 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—総合報告書—. (吉野諒三・鈴木達三編, 1995)

- No. 77. 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究－国民性の国際比較の為のマニュアル－。(吉野諒三・鈴木達三編, 1995)
- No. 78. 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究－イタリア調査の回答コードブック－。(吉野諒三・鈴木達三編, 1995)
- No. 79. 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究－イタリア調査の自由回答データ－。(吉野諒三・鈴木達三編, 1995)
- No. 80. 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究－オランダ調査の回答コードブック－。(吉野諒三・鈴木達三編, 1995)
- No. 81. 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究－オランダ調査の自由回答データ－。(吉野諒三・鈴木達三編, 1995)
- No. 82. 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究－共通ファイルコードブック－。(吉野諒三・鈴木達三編, 1995)
- No. 83. 国民性の研究 第10次全国調査－1998年全国調査－。(日本人の国民性調査委員会編, 1998)
- No. 84. 国民性に関する意識調査データに基づく文化の伝播変容のダイナミズムの統計科学的解析。(吉野諒三編, 2000)
- No. 86. 文化の伝播変容の統計科学的研究－ハワイ日系人・非日系人国際比較調査－。(吉野諒三編, 2001)
- No. 89. 日本・中国の国民性比較のための基礎研究－中国北京市における意識調査－。(鄭躍軍編, 2003)
- No. 90. 日本・中国の国民性比較のための基礎研究(2)－中国上海市における意識調査－。(鄭躍軍編, 2003)
- No. 91. 東アジア価値観国際比較調査－「信頼感」の統計科学的解析－2002年日本調査報告書。(吉野諒三編, 2004)

[その他の統計数理研究所刊行のレポート]

- 東アジア価値観国際比較調査 2002年日本調査。(吉野諒三編, 2004)
- 東アジア価値観国際比較調査 2002年中国調査 [北京, 上海, 香港]。(吉野諒三編, 2004)
- 東アジア価値観国際比較調査 2003年台湾調査。(吉野諒三編, 2005)
- 東アジア価値観国際比較調査 2003年韓国調査。(吉野諒三編, 2005)
- 東アジア価値観国際比較調査 2004年シンガポール調査。(吉野諒三編, 2005)
- 東アジア価値観国際比較調査 2004年日本A調査。(吉野諒三編, 2005)
- 東アジア価値観国際比較調査 2004年日本B調査。(吉野諒三編, 2005)
- 東アジア価値観国際比較調査－「信頼感」の統計科学的解析－総合報告書。(吉野諒三編, 2006)
- 環太平洋価値観国際比較調査 2005年中国調査 [北京, 上海, 香港]。(吉野諒三編, 2007)
- 環太平洋価値観国際比較調査 2006年台湾調査。(吉野諒三・裴岩崑編, 2007)
- 環太平洋価値観国際比較調査 2006年韓国調査。(吉野諒三・松本渉編, 2007)
- 環太平洋価値観国際比較調査 2006年USA調査。(吉野諒三編, 2007)
- 環太平洋価値観国際比較調査 2007年シンガポール調査。(吉野諒三編, 2008)

環太平洋価値観国際比較調査 2007年オーストラリア調査.(吉野諒三・松本渉編, 2008)
環太平洋価値観国際比較調査 2008年インド調査.(吉野諒三編, 2009)
環太平洋価値観国際比較調査-東アジアと周辺諸国の「信頼感」の統計科学的解析-- 総合
報告書.(吉野諒三編, 2010)

※ 行動計量学 32巻2号、33巻1号及び Behaviormetirka、Vol.29、No.2、Vol.30、No.1、
Vol.36、No.2、Vol.37、No.1 の特集号も参照していただきたい。それらは、J-stage
の無料オンライン・ジャーナルとしてダウンロードが可能である。

行動計量学 <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jbhmk/>

Behaviormetirka <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/bhmk/>

Asia Pacific Values Survey
--- Cultural Manifold Analysis (CULMAN) on peoples' sense of trust ---
JAPAN 2010 Survey

Ryozo Yoshino

Cross-National Survey Team of National Character

The Institute of Statistical Mathematics

10-3 Midori-cho, Tachikawa-shi, Tokyo, Japan 106-8562.

1. Introduction

This is a report on JAPAN 2010 Survey as part of "Asia-Pacific Values Survey" (2010-2014 fiscal years) by the cross-national survey team of the Institute of Statistical Mathematics (Chief: Ryozo Yoshino). We are developing this study in order to exemplify practical research of a new methodology for cross-national comparative survey, called CULMAN (Cultural Manifold Analysis) (See Yoshino, 2005; Yoshino, Nikaido & Fujita, 2009).

This brief monograph gives some historical background of the study. On the other hand, we would like to refer readers to Yoshino (2001, 2005c, 2006, 2009), Yoshino & Hayashi (2001), and Yoshino, Nikaido & Fujita (2009) for more detailed English explanation on the methodologies such as back-translation technique for questionnaire and statistical random sampling, a paradigm of cross-national comparability, etc. As for the information on our past surveys, see a series of ISM Research Reports published over decades, or our home page of the Institute of Statistical mathematics. (<http://www.ism.ac.jp/~yoshino/>)

2. Some History on Our National Character Survey

The Institute of Statistical Mathematics (ISM) has been conducting a longitudinal nationwide social survey on the Japanese national character every five years since 1953, using the same questionnaire items (Mizuno et al., 1992). The survey is called "Nihonjin no Kokuminsei Chosa" (Japanese National Character Survey). Although definition of the term "national character" may be very problematic, here it simply means the characteristic shown in people's response patterns to a questionnaire survey (Hayashi et al., 1998; cf. Inkeles, 1997). The question items cover various aspects of people's opinions about their culture and daily life. This survey was one of the foundations of the public opinion survey system based on the statistical sampling theory developed immediately after World War II in Japan. The significance of this survey was clear at the time when Japan was expected to shift from the military regime to a democratic system in the latter half of 1940s (Yoshino, 1994). This survey stimulated many countries to carry out the same sort of time series surveys such as the World Value Survey, Eurobarometer, General Social Survey (GSS) of USA, ALLBUS of

Germany, CREDOC of France, etc. (There was a time that the post-war Japanese democracy had been criticized because it was not democratic from a viewpoint of the Western world. Interestingly, however, Japan conducts public-opinion polls based on statistically ideal sampling using an almost complete residential or voters' list whereas the other countries have to use other methods such as quota sampling or random-route sampling. The latter two sampling methods consider statistical randomness but do not yield the statistical estimate of sampling errors. As far as the system of public-opinion polls is concerned, therefore, Japan may be more democratic than the Western countries in the sense of inclusiveness and representativeness.)

Since 1971, the survey of ISM has been extended to a cross-national comparative study for more advanced understanding of Japanese national character (Hayashi, 1973). The focus of our cross-national surveys is the investigation of the statistical comparison of peoples' social values and their ways of thinking and feeling. More explicitly, our concern has been with cultural identities and people's attitudes toward economy, freedom of speech, interpersonal relationships, leadership, politics, public acceptance of science and technology, religion, social security, etc. These aspects may clarify certain similarities or dissimilarities that are represented by psychological distances between countries or races in certain statistical pattern analyses of responses (Hayashi, 2001a, 2001b; Hayashi et al., 1998; Yoshino, 1994, 2001c).

Table 1. List of Our Past Surveys on National Character.

1953 - present	Japanese National Character Survey (every five years)
1971	Americans of Japanese ancestry in Hawaii
1978	Honolulu residents, Americans in Mainland USA
1983	Honolulu residents
1988	Honolulu residents
1987-1993	Seven Country Survey
1987	Britain, Germany & France
1988	Americans in Mainland USA, Japanese in Japan
1992	Italy
1993	The Netherlands
1991-1999	Recent Overseas Japanese Surveys
1991	Brazilians of Japanese ancestry in Brazil
1998	Americans of Japanese ancestry on the U.S. West Coast.
1999	Honolulu residents in Hawaii
2002-2005	East Asia Values Survey
	(Japan, China [Beijing, Shanghai], Hong Kong, Taiwan, South Korea, & Singapore)
2004-2009	The Pacific-Rim Values Survey (1st round of The Asia-Pacific Values Survey)
	(Japan, China [Beijing, Shanghai], Hong Kong, Taiwan, South Korea, USA, Singapore, Australia & India)
2010-2014	(ongoing) The Asia-Pacific Values Survey (2nd round)

(Japan, China [Beijing, Shanghai], Hong Kong, Taiwan, South Korea, USA, Singapore, Australia & India)

(All of these are face-to-face surveys based on nationwide sampling data, except for Hawaii, Brazil, Mainland China, i.e., Beijing and Shanghai [urban areas only], Australia [Queensland, New South Wales, & Victoria], and India [10 major cities].)

Note: Although the Japanese title of the survey project 2004-2009 literally means the Pacific-Rim Values Survey, the title "The Asia-Pacific Values Survey" was occasionally used for the project in the past English publication, because it covered not only Pacific-Rim Area but India. From now on, we designate the Pacific-Rim Values Survey (effectively 1st round of the Asia-Pacific Values Survey) for the 2004-2009 project and the Asia-Pacific Values Survey for the 2010-2014 project (effectively 2nd round the Asia-Pacific Values Survey).

.....

The cross-national survey, however, involves particular methodological problems. It is not simple to compare response data collected under different conditions. Different countries may use the same questionnaire but in different languages and employ different statistical sampling methods as well. There is no *a priori* knowledge as to how these different conditions influence peoples' responses even in the case where there is no substantive difference of opinions and social values between peoples (Yoshino, 2001c). Thus, an important problem of our study is to investigate those conditions under which meaningful *cross-national comparability* of social survey data is guaranteed. As our approach towards this problem over decades, we have been developing the methodology called CLA (cultural link analysis). The main components of CLA are 1) a spatial link for cross-national comparison, 2) a temporal link inherent in longitudinal analysis, and 3) an item-structure link inherent in the commonalties and differences in item response patterns within and across different cultures (cf. Guttman, 1972). In CLA we utilize, for example, the back-translation technique and statistical pattern analyses such as Hayashi's Quantification Method (Hayashi, 1992) or Yoshino's (1992a, 1992b, 1994, 2001c) Super-culture Model. The utilization of those pattern analyses consists of an important part of our methodology. Namely, although a simple cross-national tabulation of people's responses with respect to a single item may not be reliable because people's responses may occasionally be sensitive to slight differences in the wording of certain questions, certain pattern analyses or scaling on a set of items can be reliable. (See Yoshino & Hayashi [2002] for an overview on our approach.)

On the other hand, in this cross-national study, we have found some response tendencies particular to certain countries. For example, the Japanese tend to avoid polar answer categories and to choose intermediate categories, whereas the French generally tend to give negative responses to any question. (Here I may be exaggerating these tendencies to make the points clearer.) I think that we should consider these response tendencies when we analyze not only people's sense of trust but public

opinion polls or social survey data in general.

See Hayashi (2001a, 2001b), Hayashi et al. (1998), Yoshino (1994, 2001c, 2002, 2005, 2006, 2009), Yoshino & Hayashi (2002), Yoshino, Nikaido & Fujita (2009), and Yoshino, Hayashi & Yamaoka (2010) for results of our cross-national surveys.

3. Japanese national character survey (1953-present)

Our longitudinal survey of Japanese national character shows some stable aspects of attitudes and social values of the Japanese (Hayashi & Kuroda, 1997; Yoshino, 1994). Among others, the stability of interpersonal attitudes and religious attitudes may distinguish the Japanese from other countries. Namely, the Japanese show a higher score on the "Giri-Ninjo scale" than the other countries. Moreover, while only one third of the Japanese have religious faith, but more than 60% of the Japanese support the opinion that religious attitudes are important (Yoshino & Hayashi, 2002; Yamaoka, 2000).

I will briefly explain certain fundamental dimensions of the Japanese social values as follows.

Fundamental dimensions of the Japanese social values

Hayashi (1993) has identified two important dimensions that underlie the Japanese national character in the survey. That is, 1) the dimension of interpersonal relationships ("Giri-Ninjo" attitude, or a complicated sense of humanity and obligation that is particular to the Japanese interpersonal relationships) and 2) the dimension of a modern-traditional contrast in their way of thinking. On one hand, as mentioned before, the Japanese interpersonal attitude has been stable, at least over the last half century, and probably for much longer than our longitudinal survey. This corresponds to the first dimension. On the other hand, for over 100 years since the Meiji Restoration in 1868, Japan has been doing her best to overtake Western science and technology and to develop it into a Japanese adaptation. Probably this enduring effort has underlined the dimension of the tradition vs. modernity orientation in the Japanese way of thinking.

However, the Japanese way of thinking has been gradually changing, and there appeared a generation gap between people of 20-24 years old and those older than 25 years in our survey of 1978 (note that the younger generation was born more than 10 years after the end of World War II. In 1956, an economic white paper declared, "Japan is no longer in the post-war condition," and this symbolized the start of the high-speed development of industry and economy. On the other hand, however, Japan had to face many social problems concerning pollution because of the high-speed industrialization around 1970. Since the signs of the younger generation's changes appeared as early as 1978, their current way of thinking has become more complicated than ever.

Furthermore, the Japanese have been in the confusion of the transition period from the established social system to a system of a highly advanced information age. In this

confusion, a Central Research Services, Inc. (2000) survey reports of the majority of Japanese people's distrust toward traditional systems such as banking, bureaucracy, as well as of congressmen, police, etc., in spite of the stereotype of the Japanese as a highly trustful nation (Fukuyama, 1995).

4. The World as a Cultural Manifold

The 20th century was the time of expansion of Western civilization. Differences of cultures occasionally prevented us from our understanding each other. In this time of globalization, I would like to emphasize the fact that there are various ways of successful social development, therefore, we should not impose one's own social value on any other country if we intend to develop a peaceful world.

The globalization necessarily changes some institutional systems and customs towards more universal ones under the influences of transnational exchange or trade. On the other hand, some other systems are becoming more and more sensitive to cultural differences, as a reaction to the globalization.

In order to facilitate the mutual understanding between the East and the West, we need to keep in mind the differences of social values between them. The study on the scale of trust (Yoshino, 2005, 2006, 2008) may caution us on the applicability of a certain "single" scale invented by the Western cultures to the Eastern cultures, or vice versa. For example, it is not always the case in Asia that "the distrust is a culture of poverty" as Banfield (1958) once mentioned. A Chinese proverb says that "Fine manners need a full stomach" (or "The belly has no ears"), but another says "Be contented with honest poverty." Gallup (1977, p.461) reported that they could not find a very poor but still happy people in their global survey. I think that they missed the reality. For example, Brazilians were very optimistic even when Brazil fell down to the worst debtor nation in the world (Inkeles, 1997). Inglehart reported a correlation of .57 between economic development and life satisfaction for some 20 countries surveyed in 1980s (Inkeles, 1997, pp. 366-371). But the life satisfaction of Japan in the 1980's was lower than around 2000, although Japan was close to the top of the world economy in those days and now she has been suffering from depression over years. Thus, we need scales constructed from various perspectives or social values in order to understand various cultures in the age of globalization.

Although China had so many battles between small countries (within the area corresponding to the modern China) over thousands of years in their history, once they were synthesized as a large empire, their government employed peoples of various races as high-class bureaucrats. This made it possible for them to develop and maintain a large empire and their culture, often over centuries. This is analogous to the Roman Empire, but it is contrastive to the modern Western countries (and Japan during WWII) that colonized Asian and African countries in

the 19th and 20th centuries. The history shows that trust between different races changes according to social conditions in the short run, although it is relatively stable over time.

After our previous China survey (China 2001 survey [Yoshino, 2006]), there occurred the problem of SARS spreading from Guang-Zhou in China. People inside and outside China criticized the local governments, suspecting that they attempted to hide the serious conditions. This seems to suggest a significant change of China, from secretive attitude to more open attitude for every matter. The secretive attitude was linked to the system of severe punishment on political responsibility. The open attitude is a key to democracy that is necessary for successful capitalism. The then mayor of Beijing got fired because of his mishandling of SARS. The government started encouraging people to inform of the presence of patients. This situation seems to show that China is changing rapidly, but in a Chinese way. Here it may be important to quote Dogan (2000)'s statement "... Erosion of confidence is first of all a sign of political maturity. It is not so much that democracy has deteriorated, but rather the critical spirit of most citizens has improved..."

In spite of prevailing confusion in East Asia (actually in the entire world), I hope that East Asia will advance towards the peaceful development without serious conflicts. For the mutual understanding among Asian countries, one should keep in mind their ways of thinking such as "Mentsu (face)" and "Honne and Tatemae (real intension and principle)" of the Chinese, the Japanese, and the Korean. This is also the case with the Asian countries for their understanding of the West.

Once upon a time, Weber (1904-05) argued that Asian countries were not able to develop capitalism in his theory on religion and capitalism. Now we know so many counter-examples such as Japan, Korea, NIES, and China, against his argument. Some people argued that the Japanese adaptation of Confucius philosophy adapted to Japan functioned as a replacement of Protestant ethics and led Japan to a successful development of capitalism (Morishima, 1984). But the past decades have seen many examples to show that economic success is not linked to a particular ethics, ideology or religion. Now we have more and more data to consider the relationships between economic development, social systems and social values because of the rapid change of social systems in many countries of the world than before.

In 2010 spring, we started a new project "Asia-Pacific Values Survey" and carried out a nationwide face-to-face survey in Jap and USA during November of 2010 to January of 2011. This project will cover at least all the countries and areas of the previous project "Pacific-Rim Values Survey", and possibly other countries such as Philippines, Thailand, and Vietnam.

I hope that our survey data will be helpful for further constructive arguments,

and the mutual understanding for the peaceful development and economic prosperity of the world.

Ryozo Yoshino

Note 1: JAPAN 2010 Survey was carried out before the Tohoku earthquake (March 11, 2011). The disaster, and the incidents at Fukushima nuclear plants, must have significantly influenced the minds and spirits of many Japanese people in one way or another. The United State government immediately started the operation "Tomodachi (friends)" in order to rescue the large number of casualties, support their recovery and control the nuclear plants in Japan, even though some area of the west coast in USA also suffered from the tsunami. We believe that these factors need to be taken into consideration in analyzing data from some of the items in this survey.

Note 2: In the case we find some errors in our reports or data, we will list them in our home page: <http://www.ism.ac.jp/~yoshino/>, where you can see our past surveys too.

Acknowledgement

This study is financially supported by the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS): Grant-in-Aid for Scientific Research (S) No.222230006. We are very grateful for their support over years.

REFERENCES

- Fujita, T., & Yoshino, R. (2009). Social values on international relationships in the Asia-Pacific region. *Behaviormetrika*, Vol.36, No.2, pp.148-165.
- Hayashi, C. (ed.) (1973). *Japanese Americans in Hawaii*. ISM Research Report, No. 33. Tokyo: The Institute of statistical mathematics.
- Hayashi, C. (1992a). Quantitative Social Research—Belief Systems, the way of thinking and sentiments of five nations—. *Behaviormetrika*, Vol. 19, No.2, pp. 127- 170.
- Hayashi, C. (1992b). Belief systems, Japanese way of thinking: Interchronological and international perspectives. Social, Educational and Clinical Psychology, *Proceedings of the 22nd International Congress of Applied Psychology*, 3, pp. 3-34. Lawrence Erlbaum Associates, Publishers.
- Hayashi, C. (1998). The quantitative study of national character: Interchronological and international perspectives. In M. Sasaki (ed.), *Values and attitude across nations and time* (pp. 91-114). Boston: Brill.
- Hayashi, C. (2000). The Future study on national character to quantitative study on civilization from comparative study of national character (in Japanese). *The proceeding of ISM*, Vol.48, No.1, pp. 33-66
- Hayashi, C. & Kuroda, Y. (1997). *Japanese culture in comparative perspective*. London: Praeger.
- Hayashi, C. & Suzuki, T. (1997). *Shakai-chosa to Suryo-ka* [Social Survey And Quantification Methods]. Tokyo: Iwanami-shoten.
- Hayashi, C., Yoshino, R., Suzuki, T., Murakami, M., Hayashi, F., Kamano, S., Miyake, I., & Sasaki, M. (1998). *Kokumin-sei nanaka-koku hikaku* [Comparison of national character of seven countries]. Tokyo: Idemitsu-syoten.
- Hayashi, C., Yoshino, R., Yamamoto, K., Kawai, T., Wakisaka, K., Miyao, S., Mori, K., Mizuno, H., Suzuki, T., & Hayashi, F. (1991). *Research on Japanese Brazilians in 1991*. ISM Research Report, No.74.
- Inkeles, A. (1997). *National character*. Transaction Publications.
- Kuroda, M. (1990). *Restrictions by mother tongue and the international mutual Understanding—survey on Arabic college students*. Toyota foundation.
- Matsumoto, W. (2006). Sense of trust on organizations in East Asia--- analysis for a cross-national comparative study---. *The Japanese Journal of Behaviormetrika*, 33, 1, pp.25-40.
- Mizuno, K., Yoshino, R., Hayashi, C., Nishihira, S., Hayashi, F.(1992), Sakamoto, Y., Murakami, M., Nakamura, T. *Nihonjin no Kokuminsei* [Japanese national character], Vol. 5. Tokyo: Idemitsu-Shoten.
- Sakamoto, Y., Tsuchiya, T., Nakamura, T., Maeda, T., & Fouse, D. (2000). A survey of national character: the 10th nationwide survey (1998). ISM report No.85. The Institute of Statistical Mathematics:Tokyo.
- Yamaoka, K. (2000). Variation in attitudes and values among Japanese Americans and Japanese Brazilians across generations. *Behaviormetrika*, 27, 2, pp. 125-151.
- Yoshino, R. (1992a). Superculture as a frame of reference for cross-national comparison of national character. *Behaviormetrika*, 19, 1, 23-41.
- Yoshino, R. (1992b). The unbiased BIGHT model and its application to the distinction of responses to a free-answer question in a social survey. *Behaviormetrika*, 19, 2, pp. 83-96.
- Yoshino, R. (1995a). *Application of cultural link analysis for comparative social survey*. ISM Research Report, No.76. Tokyo: The Institute of Statistical Mathematics.
- Yoshino, R. (1995b). *Application of cultural link analysis for comparative social survey—*

- manual of cross-national social survey on national character* —. ISM Research Report, No.77. Tokyo: The Institute of Statistical Mathematics.
- Yoshino, R. (1996). Degree of conformity for the cross-national comparative studies. In Hayashi, C. & Scheuch, E. K., *Quantitative Social Research*. Opladen: Reske+Budrich.
- Yoshino, R. (1997). Introduction to an institute of public opinion survey—the Institute of Statistical Mathematics. *The Journal of JAPOR, YORON*, 79, pp. 82-90.
- Yoshino, R. (1998). A social quantum theory—for analysis the study of public Opinion survey—. *Behaviormetrika*, 25, 2, pp. 111-132.
- Yoshino, R. (2000). *The Japanese American on the West coast survey*. ISM Research Report No.84. The Institute of Statistical Mathematics: Tokyo.
- Yoshino, R. (2001). *Kokoro wo hakaru* [Measurement of Mind]. Tokyo: Asakura-syoten.
- Yoshino, R. (2002). A time to trust – a study on peoples' sense of trust from a viewpoint of cross-national and longitudinal study on national character -. *Behaviormetrika*. Vol.29 No.2,pp.231-260.
- Yoshino, R. (2005a). East Asia Values Survey –towards the development of a behaviormetric study on the cultural manifold analysis (CULMAN) —. *The Japanese Journal of Behaviormetrika*, 32, 1, pp.133-146.
- Yoshino, R. (2005b). For the development of trust and economic prosperity- A study of data science on East Asia Values Survey —. *The Japanese Journal of Behaviormetrika*, 32, 1, pp.147-160.
- Yoshino, R. (2006). A social value survey of China --- on the change and stability in the Chinese globalization ---. *Behaviormetrika*, 33, 2, pp. 111-130.
- Yoshino, R. (ed.) (2007). *Higasi-ajia no kokuminsei –dehta no kagaku* [East Asia Value Survey --- Science of Data---]. Bensei-syuppan: Tokyo.
- Yoshino, R. (2009). Reconstruction of trust on a cultural manifold: sense of trust in longitudinal and cross-national surveys of national character. *Behaviormetrika*, Vol.36, No.2, pp.114-147.
- Yoshino, R., Chino, N. & Yamagishi, K. (2007). *Ch.5 A Behaviormetric study of civilization on Data Science*(in Jppanese). Baihuu-kan: Tokyo.
- Yoshino, R., & Hayashi, C. (2002). An Overview of Cultural Link Analysis of National Character. *Behaviormetrika*, Vol. 29, No.2,pp.125-142.
- Yoshino, R. & Khor, D. (1995). Complementary scaling for cross-national analyses of national character. *Behaviormetrika*, 22 (2), pp. 155-184.
- Yoshino, R. Hayashi, C. Suzuki, T. (1995). Kokuminnsei no kokusai-hikaku-chousa no tame no situmon-bun no sakusei (Constrution of questionnaire for cross-national comparative social survey). *Japanese Journal of Behaviormetrika*, Vol. 22, No. 1, 62-79.
- Yoshino, R., Nikaido, K., & Fujita, T. (2009). Cultural manifold analysis (CULMAN) of national character: paradigm of cross-national survey. *Behaviormetrika*, Vol.36, No.2, pp.89-114.
- Yoshino, R., Zheng, Y., Phark, S. (2003). Japanese language census of the East Asia (in Japanese). *The Japanese Journal of Behaviormetrika*, 30, 1, pp.311-52.
- Yoshino, R., Hayashi, F., & Yamaoka, K. (2010). Analysis of cross-national survey data. (in Japanese). Asakura-syoten: Tokyo.
- Zheng, Y., Yoshino, R., & Murakami, M. (2006). The sense of natural environments- a comparative study of Japan and China---. *The Japanese Journal of Behaviormetrika*, 32, 2, pp.55-68.

The following is a list of ISM Research Report Series on our surveys.

(For the list of titles of all the reports in Japanese, see

<http://www.ism.ac.jp/editsec/kenriipo/index.html>)

No. 54. A Statistical Method for Comparative Study of Fundamental Structure of Social Attitude.

(Hayashi, C. [ed.], 1981)

- No. 59. Statistical Methods for Comparative Study of Social Attitude by Surveys. (Hayashi, C. [ed.], 1984)
- No. 70. Toward the Establishment and Development of Statistical Analysis for the Study of Comparative Culture: The Fourth Attitudinal Survey of Honolulu Residents, 1988. (Hayashi, C. and Suzuki, T. [eds.], 1991[1988])
- No. 71. Cultural Link Analysis for Comparative Social Research: A New Approach for the Exploration of Structure in Ways of Thinking Applied to Cross-National Analysis of General Social Attitudes. (Hayashi, C. and Suzuki, T. [eds.], 1991)
- No. 72. Cultural Link Analysis for Comparative Social Research: A Codebook for A Common File of 1987's German Survey, 1987's French Survey, 1987's British Survey, 1988's U.S. Survey, and 1988's Japanese Survey. (Hayashi, C. [ed.], 1992)
- No. 73. Cultural Link Analysis for Comparative Social Research: Cross-Tables by Sex and Age for 1987's German Survey, 1987's French Survey, 1987's British Survey, 1987's U.S. Survey, and 1988's Japanese Survey. (Hayashi, C. [ed.], 1993)
- No. 74. Research on National Character of Japanese Brazilian: 1991~1992. (Yamamoto, K. and Mori, K. [eds.], 1993[1991~92])
- No. 75. A Study of the Japanese National Character: The Ninth Nationwide Survey. (Research Committee on the Study of the Japanese National Character [ed.], 1994).
- No. 76. Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey: A General Report. (Yoshino, R. and Suzuki, T. [eds.], 1995)
- No. 77. Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey: A Manual for International Comparison of the National Character. (Yoshino, R. and Suzuki, T. [eds.], 1995)
- No. 78. Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey: A Codebook of 1992 Italian Survey. (Yoshino, R. and Suzuki, T. [eds.], 1995)
- No. 79. Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey: A List of Responses for Open-Ended Questions of 1992's Italian Survey. (Yoshino, R. and Suzuki, T. [eds.], 1995)
- No. 80. Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey: A Codebook of 1993's Dutch Survey. (Yoshino, R. and Suzuki, T. [eds.], 1995)
- No. 81. Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey: A List of Responses for Open-Ended Questions of 1993's Dutch Survey. (Yoshino, R. and Suzuki, T. [eds.], 1995)
- No. 82. Application of Cultural Link Analysis for Comparative Social Survey: A Codebook for a Common File of 1992's Italian Survey, 1993's Dutch Survey. (Yoshino, R. and Suzuki, T. [eds.], 1995)
- No. 83. A Study of the Japanese National Character: The Tenth Nationwide Survey. (Research Committee on the Study of the Japanese National Character [ed.], 1998)
- No. 84. A Study of Statistical Science on Cultural Transmission: Japanese Americans on the West Coast Survey (JAWCS). (Yoshino, R. [ed.], 2000)
- No. 86. Hawaii Resident Survey 1999-2000 by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2001)

- No. 89. Researches on the National Character of Chinese and Japanese: A Sampling Survey in Beijing, China. (Zheng, Y. [ed.], 2003)
- No. 90. Researches on the National Character of Chinese and Japanese: A Sampling Survey in Shanghai, China. (Zheng, Y. [ed.], 2003)
- No. 91. East Asia Values Survey: Japan 2002 Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2004)

The following reports have also been published by ISM.

- The East Asia Value Survey: China 2002-03 Survey [Beijing, Shanghai & Hong-Kong] by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2004)
- The East Asia Value Survey: Japan 2004A Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2005)
- The East Asia Value Survey: Japan 2004B Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2005)
- The East Asia Value Survey (2002-2005): Data Analysis on Peoples' Sense of Trust. (Yoshino, R. [ed.], 2006)
- The Asia & Pacific Value Survey: China 2005 Survey [Beijing, Shanghai & Hong-Kong] by The Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2007)
- The Asia & Pacific Value Survey: Taiwan 2006 by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. and Horoiwa, A. [eds.], 2007)
- The Asia-Pacific Value Survey: South Korea 2006 Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. and Matsumoto, W. [eds.], 2007)
- The Asia-Pacific Value Survey: USA 2006 Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2007)
- The Asia & Pacific Value Survey: Singapore 2007 Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2008)
- The Asia & Pacific Value Survey: Australia 2007 Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R., and Matsumoto, W. [eds.], 2008)
- The Asia & Pacific Value Survey: India 2008 Survey by the Research Committee of Cross-National Comparative Survey. (Yoshino, R. [ed.], 2009)
- The Asia & Pacific Value Survey: General report. (Yoshino, R. [ed.], 2010)
- A Study of Statistical Science on Health and Culture: Cross-National Comparative Survey on Life – 2006 America CATI Survey – (Yamaoka, K. and Yoshino, R. [eds.], 2008)
- A Study of Statistical Science on Health and Culture: Cross-National Comparative Survey on Life – 2007 German CATI Survey – (Yamaoka, K. and Yoshino, R. [eds.], 2008)
- A Study of Statistical Science on Health and Culture: Cross-National Comparative Survey on Life – 2009 JAPAN CATI Survey – (Yamaoka, K. and Yoshino, R. [eds.], 2010)
- A Study of Statistical Science on Health and Culture: Cross-National Comparative Survey on Life – 2009 France CATI Survey – (Yamaoka, K. and Yoshino, R. [eds.], 2010)

A Study of Statistical Science on Health and Culture: Cross-National Comparative Survey on Life
– 2010 UK CATI Survey – (Yamaoka, K. and Yoshino, R. [eds.], 2011)

Five volumes have been published as a series of “Japanese National Character Survey” by Shisei-dou (Vol.1, 2 & 3) and Idemitsu-syoten (Vol.4 & 5).

Special issues on our longitudinal or cross-national surveys have been published in the following journals.

- The Japanese Journal of Statistical Mathematics, Vol.43, No.1. (1995)
(on Japanese national character survey 1953-1993)
- The Japanese Journal of Statistical Mathematics, Vol.48, No.1. (2000)
(on Japanese national character survey 1953-1998)
- The Japanese Journal of Statistical Mathematics, Vol.53, No.1. (2005)
(on Japanese national character survey 1953-2003)
- Behaviormetrika Vol.29, No.2 (2002) & Vol.30, No.1 (2003)
(on our past longitudinal and cross-national surveys of national character 1953-2001)
- The Japanese Journal of Behaviormetrika, No.32-1(2005) & 33-1 (2006).
(on the East Asia Values Survey 2002-2005).
- Behaviormetrika Vol.36, No.2 (2009) & Vol.37, No.1 (2010)
(on our past longitudinal and cross-national surveys of national character 1953-2001)

The papers of these special issues are available on a free online journal of the Journal of Behaviormetrika (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/bhmk>), the Japanese Journal of Behaviormetrika (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jbhmk/>).

As for our past surveys, see our home pages of the Institute of Statistical Mathematics
<http://www.ism.ac.jp/~yoshino/> and http://www.ism.ac.jp/ism_info_j/kokuminsei.html.)

Note: In the case we find some errors in our reports or data, we will list them in our home page: <http://www.ism.ac.jp/~yoshino/>, where you can see our past surveys too.

目次

ページ

1. 研究計画調書、交付申請書等	・・・	1
2. アジア・太平洋価値観国際比較・日本 2010 調査		
a. 標本抽出計画と回収状況等	・・・	14
b. 調査員への指示書	・・・	20
3. 集計表		
a. 単純集計表（性別・年齢層別）	・・・	27
b. 自由回答データ（問 10a, 問 10b, 問 42, 問 50）	・・・	134
4. 日本調査票と提示カード	・・・	172
5. 日本 2010 調査における項目の出典履歴	・・・	209

The Asia - Pacific Values Survey
JAPAN 2010 SURVEY

	Content	Page
1.	The Objective of This Survey	• • • 1
2.	a. On Sampling and Valid Questionnaire Returns	• • • 14
	b. Interviewer instructions	• • • 20
3.	a. Simple Tabulation & Cross-Tabulation with respect to Gender and Age Categories	• • • 27
	b. Response data of open-ended questions (Q10a, Q10b, Q42, & Q50)	• • • 134
4.	Questionnaire & Show Cards	• • • 172
5.	History of items	• • • 209



1. 研究計画調書、交付申請書等

機関番号	研究種目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
62603	03	—	3801		0001

平成22年度（2010年度）基盤研究（S）研究計画調書

平成 21 年 10 月 29 日
1版

新規

研究種目	基盤研究(S)						
分野	社会科学						
分科	社会学						
細目	社会学						
細目表 キーワード	社会調査法						
細目表以外の キーワード	国民性、国際比較、統計的標本抽出調査						
研究代表者 氏名	(フリガナ)	ヨシノ リョウゾウ					
	(漢字等)	吉野 諒三					
所属研究機関	統計数理研究所						
部局	データ科学研究系						
職	教授						
研究課題名	アジア・太平洋価値観国際比較調査－文化多様体の統計科学的解析						
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	謝金等	その他
	平成22年度						
	平成23年度						
	平成24年度						
	平成25年度						
	平成26年度						
	総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する						
研究計画最終年度前年度応募	—						

研究目的

本欄には、研究の全体構想及びその中で本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。(記述に当たっては、「科学研究費補助金(基盤研究等)における審査及び評価に関する規程」(公募要領56頁参照)を参考にしてください。)

- ① 研究の学術的背景(本研究に関する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を進展させる場合にはその内容等)
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義
- ④ 基盤研究(A)に、本研究と関連する研究課題を応募している場合には、到達目標等の相違点、また、関連のない研究課題を応募している場合には、研究内容等の相違点(該当者は必ず記述してください。)

研究目的(概要) ※当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

われわれの研究の主目的は、各国の人々の意識構造の統計科学的解明にある。特に、以下 a)、b)、c)に重点をおいて研究を遂行する。

- a) 文化の伝播変容を統計科学的に解明するため、アジア・太平洋諸国の人々の意識構造について統計科学的「標本抽出法」に則った面接調査を遂行する。
- b) 特に、21世紀における国際交流の中で、アジア・太平洋諸国民の「信頼感」のあり方に焦点を当て、世界の政治・経済の平和的発展の一助となる基礎情報の収集を推進させる。
- c) 収集した「アジア・太平洋諸国民の意識調査」の情報を中心に、既存の「意識の国際比較調査データ」とともに、コンピューター・ネットワーク等を利用して世界へ一般公開する。

① 研究の学術的背景(国内・国外の研究動向及び位置づけ、着想に至った経緯等)

統計数理研究所では、1953年以来、「日本人の国民性」調査を継続してきた。これは、戦後導入された標本抽出理論の実践的応用の確立を目指すものであり、また戦後の民主主義の発展を目的とした官民の調査機関による世論調査の発展の基盤となった。これに関連して多くの実験調査や様々な統計分析法の研究が生まれ、統計学における実証的データ解析の発展にも刺激を与えてきた(水野他, 1992)。これは日本の独創であり、世界的にも海外の研究者達が、「一般社会調査(米国GSS)」、「世界価値観調査」(Inglehartら)、Eurobarometer(EU委員会)など様々な調査を遂行する契機を与えてきた(吉野, 2003)。

この研究は、国民性をより深い観点から考察する目的で、1970年頃より海外の日系人調査を初めとして、「意識の国際比較調査」へと拡張されてきた(林他, 1998)。調査された国や地域のいくつかは言語や文化を共有しているために全体として比較研究の興味深い対象となり、「連鎖的比較の調査研究(Cultural Link Analysis)」さらに「文化多様体解析(Cultural Manifold Analysis)」(吉野 2005)と呼ばれる方法論が発展し、蓄積されてきたデータは世界的にも貴重な資料として認められ、マスメディア、教科書、政府の白書等にもしばしば用いられている。統計学としては、「データの科学」という新たな実践的パラダイムの展開へ結びついている(林, 2001; 吉野, 2001; 吉野編, 2007)。

本調査研究は、これらの成果を踏まえて、過去の調査研究を最新のデータ収集と解析により、多層的にカバーし、昇華することを意図している。

21世紀初頭の今日、世界秩序の再構成が進み、国家を超えた単位によって構成された国際社会が生まれつつある。それが世界の平和と繁栄へとつながるためには、国家間、民族間の円滑な相互理解が重要である。しかし、現実には異なる文明圏の間での紛争が絶えず、今日の世界的武力緊張に至っている。各々の民族は長い歴史の中でそれぞれに必要な生活習慣、倫理、宗教、人間関係等、民族固有の文化を進展させてきた。この意味での文化が各国固有の政治・経済の基盤にある。各国の文化や国民性を各国が相互に深く理解することが、世界の平和的な政治・経済の発展を促進させる鍵となっている。

他方で、各国内部でも伝統的な社会システムが崩壊しつつあり、職場、家庭、教育現場における人間関係にも大きな変化が見られ、学級崩壊、家庭の崩壊、政治不信など、「信の崩壊」をもたらせた。しかし、これは産業革命初期と同様に過渡期の混乱であり、新たな社会の確立とともに新たな時代の信頼感が確立されるのであろう。そのための基礎情報として、現在の国内外の状況を適確に把握する必要がある。

研究目的(つづき)

② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか

統計的標本抽出調査が可能なアジア・太平洋諸国(日本、中国、台湾、韓国、シンガポール、インド、アメリカ、オーストラリア等)において、各国の標本抽出方法や調査票翻訳の問題などの国際比較可能性の程度を勘案しながら、人々の意識構造の個別訪問面接調査を遂行する。この過程において、これまで開発してきた各種の多変量解析などを活用し、人々の意識構造を人間関係の在り方や「信頼感」を中心に、多層的にデータ解析する。(米国GSS等で活用されている「一般的信頼感」に関する尺度等のみによる単純な分析では、多様な文化の相違を前提とする国際比較には堪えがたいことに留意する。)

他方で、その国際比較という空間の軸に対し、「日本人の国民性」の継続調査の時間軸(時系列比較)と絡め、日本人の意識構造の安定性と変容を、総合的に解明する。

成果は、調査データの詳細は、調査ごとに直ちに「統計数理研究所レポート」として発刊し、研究成果は国内外の学会で発表する。また最終的に収集された国際比較データのセットは、プライバシーの保護を含む、調査の倫理に配慮し、問題の生じない形で一般公開する。

③ 学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

上記①で述べたように、本研究は統計科学的な信頼性の高いデータ収集の方法論やデータ解析の開発をも念頭に置いた半世紀以上にわたる国民性研究の延長上にある。これは統計数理研究所の調査チームのみならず、それを支えてきた官民学の広範な人々の協力の上に確立されてきた、日本の独創である。

日本は高齢化社会の中で労働人口が減少し、種々の社会問題を抱え、今日の世界経済での地位を保ち続けるのは困難となると予想されている。このために特に近隣諸国から外国人労働者の積極的受け入れ等を始めとして、国際交流がますます必然となろうが、これに伴い、日常生活の中でも異文化間摩擦が様々な形で現われて来るに違いない。他方で、近年の「東アジア共同体」の具体化に伴う、EUや南北アメリカ圏との国際関係が構想されている。しばしば国際社会の中で曖昧な態度が批判される日本ではあるが、むしろ、異文化、異民族に対する寛容性を積極的に活用して、異なる文化・政治・経済圏を結ぶ懸け橋となるべく生産的な役割が期待される。その意味でも、異文化間理解、文化変容の研究がますます重要となってくる。

本研究で日本、東アジア、環太平洋を多層的に含む、「アジア・太平洋諸国の国際比較データ」を、統計科学的に信頼できる方法で適正に収集し、それを公開することで、調査データが広く世界の人々に活用され、国内外での異文化間摩擦を回避し、世界の秩序の維持と発展の一助とすることの意義が了解されるであろう。また、調査データの一般公開により、世界の人文社会科学の研究者、統計学者の多様な実証的研究をも促進させることが期待されよう。

④ (基盤研究Aへの同時申請)は、該当せず

補遺 上記①の参考文献

- 林知己夫。(2001)。「データの科学」。朝倉書店。
 林知己夫、鈴木達三、吉野諒三、三宅一郎、佐々木正道、村上征勝、林文、釜野さおり(編集)(1998)。「国民性7ヶ国比較」出光書店。
 水野欽司、鈴木達三、坂元慶行、吉野諒三、林知己夫、西平重喜、村上征勝、中村隆、林文(編集)(1992)。「第五 日本人の国民性」戦後昭和期総集。第三章三節「宗教」執筆。出光書店。
 吉野諒三。(2001)。「データの科学」シリーズ「心を測る」—個と集団の意識の科学—。朝倉書店。
 吉野諒三。(2003)。「日本における国民性研究」(「国民性論—精神社会的展望—」。
 A. Inkeles 著[吉野諒三訳]の附章, pp. 448-470, 吉野原著部分。) 出光書店。
 吉野諒三。(2005)。「東アジア価値観調査—文化多様体解析(CULMAN)に基づく計量文明論の構築へ向けて。行動計量学, Vol. 32, No. 1, pp. 133-146。
 吉野諒三編(2007)。「東アジア国民性比較—データの科学—」。勉誠出版。

研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成22年度の計画と平成23年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。また、研究体制の全体像を明らかにするために、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科学研究費への応募資格を有しない企業の研究者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても必要に応じて記述してください。

研究計画・方法（概要） ※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。

本調査プロジェクトの概要は、以下のとおりである。

- 1) アジア・太平洋の諸国における統計的標本抽出調査（個別訪問面接法）によるデータ収集を遂行する。（平成22～24年度）
- 2) この国際比較データと、半世紀以上にわたる「日本人の国民性」調査の時系列データを交絡させる。（平成25年度）
- 3) これらの新たに収集されたデータを、既存の関連調査データとともに、総合的に分析することによって、空間的・時間的比較の枠組みの中で、日本人の意識構造の安定性と変容を実証的に浮かび上がらせる。調査データの一般公開を推進させる。（平成26年度）

研究体制は、全体として、調査企画、調査票の作成、標本抽出法の検討等は、研究代表者が研究分担者及び連携研究者とともに、密接な協力のもとで遂行する（予算執行の事務処理の便宜上、分担者と連携研究者と弁別しているが、本研究においては、従来と同様、研究チーム全員が本格的に関与して遂行する）。収集データのクリーニング作業、報告書の取りまとめ、調査報告書などの刊行と国内外への配布作業等は、代表者（吉野）と分担者（土屋）の管理のもとで、補助作業員を雇用して遂行させる。データ解析は、各人独自に進めるが、適宜、国内外の学会発表などを利用して、互いに解析結果を検討する。その結果をうけて、研究代表のもとで、最終報告書を作成する。

平成22年度は、年度の前半では、以下の1)～5)を遂行する。

- 1) 基礎資料（アジア・太平洋諸国の関連調査データ、文献等）を収集・整理する。同時に、我々が過去に収集してきた一連の国際比較調査データや報告書の再整理、国内外の機関による関連する調査データや報告書の内容を整理、検討する。
- 2) アジア・太平洋の各地域の調査環境について現状を再確認する。各地の現地調査研究者と連携しながら、統計的標本抽出方法の実践的検討を行い、その遂行可能性を確認し、同時に当該地域で国際比較の意味のある調査項目の候補を選定する。
- 3) 国内外の調査関連の研究者との連携により、調査票のトピックの検討と、質問項目の具体案の作成、推敲をする。過去の関連項目の収集や、新聞作成の検討を重ねる。
- 4) 特に本年度後半の国際比較版・日本調査用の調査票の案を作成し、海外研究者の Alex Inkeles (スタンフォード大学), Mattei Dogan (UCLA 及びパリ大学), Yuan Wei (中国人民大学副学長), Chan Lai Kow (香港城市大学), Shia Ben Chang (台湾輔仁大学副学長), Yu-Xian Kao (国家統計局) 等の協力の下で検討を重ね、日本調査のプリテスト用調査票を作成、確定する。
- 5) さらに、米国調査のために、日本調査のプリテスト調査票を複数のバイリンガルにより、翻訳、再翻訳を繰り返し、米国のプリテスト調査票を作成する（バック・トランスレーションによる検討）。

さらに年度の後半では、以下6)及び7)のように日本と米国本土における全国レベルの標本抽出による面接調査を遂行する。即ち、

- 6) 日本調査
 - 9月下旬 都市部と地方部での小規模サンプルによるプリテスト実施
 - 10月上旬 プリテストの結果検討の後、本調査用の調査票の最終版を確定
 - 10月中旬 日本全地域での本調査実施

研究機関名	統計数理研究所	研究代表者氏名	吉野諒三
-------	---------	---------	------

研究計画・方法（つづき）

調査対象：日本に居住し、日本国籍をもつ成人の男女全体を母集団とする。

計画サンプル数は2000名（目標有効回収率60%程度、実数1200名以上を期待する。）

現状の調査環境では難しいが、各種の工夫を試行し、その結果自体を貴重な情報とする。）

調査法：住民票や選挙人名簿等から無作為層別2段抽出した対象（個人）に、訪問面接により、調査票に基づいた聞き取り調査を遂行する。名簿閲覧が不能の場合は、エリア・サンプリング等を工夫する。（調査は各地域の大学の協力により、また場合によっては調査代理機関が遂行する。）

調査項目：過去の統計数理研究所の「日本人の国民性」や、「意識の国際比較調査」、「東アジア価値観国際比較」、「環太平洋価値観国際比較調査」等を参考に、本研究で対象となる各国や地域の比較の意義のある、人々の多面的・多次元な一般的意識構造（人間関係、宗教、教育、健康、家庭、男女の役割 etc.）とともに、特に対人関係、社会的ネットワーク（ソーシャル・キャピタル）、「信頼感」、集団内や集団間の「信頼感」、社会制度やリーダーに対する「信頼感」を主とした質問項目を作成する（約60項目）。ただし、「信頼感」の測定可能性等の問題点に配慮し、多面的・多次元的な指標や尺度構成を考案する。

7) 米国調査。

9月下旬 都市部と地方部での小規模サンプルによるプリテスト実施

10月上旬 プリテストの結果検討の後、必要ならば修正を加え、本調査用の調査票の最終版を確定する。この際、日本調査票との整合性と各国の特殊性の双方を勘案する。

10月中旬 米国全地域での本調査実施

調査対象：米国本土（ハワイやアラスカを除く）に居住し、米国籍をもつ成人の男女。

計画サンプル数は有効回収数800名以上期待（予算、コスト、現実的な回収率を考慮する。）

調査法：まず、最新のセンサス・データに基づき、米国の該当する全地域から統計的に無作為に地点を抽出する。次に各地点では、住民票や選挙人名簿等から無作為に抽出した対象（個人）に、訪問面接により、調査票に基づいた聞き取り調査を遂行する。名簿閲覧が不能の場合は、エリア・サンプリング等を工夫する。米国の治安問題を含む、調査環境の質の低さに対して、慎重な検討が必要である。（調査は、統計的に厳密な面接調査の遂行に十分な実績があり、信頼できる米国の調査代理機関に遂行を依頼する。一部地域で面接調査に随行し、調査の質の評価を試みることも検討する。）

以上の過程を経て、データ集計と報告書作成の作業に入る。

11月上旬～12月

a) 日本及び米国の調査回答データのクリーニング作業と、問題点がある場合の検討と対処

b) 確定されたデータの磁気媒体へのデータ入力

1月 日本及び米国調査の回収データの属性別（性・年齢層）単純集計表作成

2月 一次的データ分析・・・過去の関連データ、特に本調査データと時系列的データとして比較できるデータと対照させ、傾向を吟味する。

3月 現地研究者と連絡しあい、調査結果の解釈について検討し、第一次報告書（速報）をまとめる。印刷、出版、各方面への送付の作業を進行させる。

平成23年度-25年度は、22年度の日米調査を受けて、同様に各国・地域の面接調査を推進させる。各年度の各国の調査は、前年度までの結果を検討しながら推進させ、第一次報告書を作成する。

平成23年度

中国（北京・上海・香港）および台湾調査のために、以下の1)と2)の検討作業の後、前年度の1)から7)に対応する作業を進行し、報告書を作成、各方面へ送付する。特に、a)調査国・地域の関連基礎資料やデータを収集・整理、及び b)調査国・地域の標本抽出の実践的検討を慎重に行い、同時に、22年度の日米調査の調査項目の是非を、国内外の調査関連の研究者との連携により、検討、確認する。（特に、中国本土は、2008年オリンピック前後からの都市部の急激な変化に対応した標本抽出方法を再検討する必要がある。）

研究計画・方法（つづき）

平成 24 年度

韓国、シンガポールおよびオーストラリア調査のために、前年同様に、必要な検討作業の後、22年度の1) から7)に対応する作業を進行し、報告書を作成、各方面へ送付する。ただし、オーストラリアは、その国土の特異性(広大な砂漠があり、人口は限定された都市部に集中している)ことに十分な配慮を施し、より適正な確率的標本抽出方法の具体策を決定する。

平成 25 年度

インド調査のために、前年同様に、必要な検討作業の後、22年度の1) から7)に対応する作業を進行する。

他方で、タイ、マレーシア、フィリピンの各国の都市と地方の一部における面接調査を、統計技術的な問題やテロ等の治安問題を勘案しながら、小規模でも可能な範囲で遂行する(注：タイ、マレーシア、フィリピンでは国勢調査すら完全には遂行されて地域もあり、通常、全国レベルの標本抽出のもととなる詳細なリストが存在せず、一部地域の調査データからの推計に頼らざるを得ない。)

上記の海外調査に並行して、日本の時系列調査として、「第13回日本人の国民性調査」を遂行する。この日本調査は過去半世紀にわたる継続調査項目を主とするK型調査と、将来の変化を見込んだ項目を導入したM型調査との2本の平行調査で構成される。これは、国際比較版の22年度日本調査とリンクさせることにより、調査データの空間的解析と時間的解析の比較の要となる。

作業や時間的なスケジュールは、前年度に準じ、最終的に各調査の報告書を作成し、各方面へ送付する。

平成 26 年度

22年～25年度に収集した各国の調査データを総合的に分析し、最終報告書の作成と調査データ公開を中心として作業する。

- 4月～9月
- 1) 「アジア・太平洋価値観国際比較調査」最終報告書用分析を進める。
 - 2) 前年度に遂行した「第13回日本人の国民性調査」の詳細な時系列解析を進める。
 - 3) 上記の国際比較と時系列比較を交絡させ、各国の人々の意識構造の安定性と変容を浮き彫りにする。特に、各国の「信頼感」のあり方に焦点を当てた分析報告書をまとめる。

- 9月～12月 「アジア・太平洋価値観国際比較調査」データのコンピューター・ネットワークを利用した公開作業を推進させる。同時に、国内外での学会やマスコミを通じて、最終的研究成果の発表を行う(注. 各国の調査データの解析結果の発表は、毎年、国内外の学会にて発表する)。

状況に応じて、各国のデータ・アーカイブを通じたデータ公開の方策も考慮する。

- 1月～3月 「アジア・太平洋価値観国際比較調査」総合報告書をまとめ、統計数理研究所リポート等の形で発刊し、広く国内外に配布する。

研究機関名 統計数理研究所

研究代表者氏名 吉野諒三

これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科学研究費補助金、所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、科学研究費補助金とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

- ① それぞれの研究費毎に、研究種目名（科学研究費補助金以外の研究費については資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください。（平成20年度又は平成21年度の科学研究費補助金の研究進捗評価結果がある場合には、基盤S-9「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄に記述してください。）
- ② 科学研究費補助金とそれ以外の研究費は線を引いて区別してください。

本研究は、統計数理研究所による1953年以來の「日本人の国民性」調査及び1970年以來の「意識の国際比較調査」の一連の研究の流れの中にある。この間、機関研究としてのみならず、多方面からの財政的支援を受けている。以下は、本申請研究の代表者が直接携わったプロジェクトのうち、比較的多額の御支援を受けた、文部科学省（もしくは旧文部省）あるいは日本学術振興会による科学研究費補助金による近年の主要な調査プロジェクトのみを列挙する。

- 1) 特別推進研究 (1986-90) 「意識の国際比較方法論の研究」(林知己夫[代表]、三宅一郎、佐々木正道、林文、吉野諒三) 12,950万円
- 2) 国際学術研究 (1988-90) 「意識の国際比較方法論の研究 一連鎖的比較方法論の確立とその展開」(林知己夫[代表]、佐々木正道、林文、吉野諒三他) 1,791万円
- 3) 日本学術振興会・日米共同研究費「日本人とアメリカ人」(1990) 林知己夫[代表]、吉野諒三、佐々木正道、林文、A. Inkeles、M. Lipset、H. Scheumann 他) 250万円
- 4) 試験研究 A(1) 「意識の国際比較における連鎖的調査方法論の実用化に関する研究」(1992-94) 吉野諒三 [代表]、鈴木達三、林知己夫、佐々木正道、林文 3,840万円
- 5) 試験研究 A(1) (1996-97) 「社会構造と国民性の形成過程に関する研究」(佐々木正道 [代表]、吉野諒三、林知己夫、鈴木達三、林文、山岡和枝) 2,250万円
- 6) 基盤研究 A(2) (1998-2000) 「国民性の意識調査データに基づく文化の伝播変容のダイナミズムの統計科学的解析」(吉野諒三 [代表]、林知己夫、林文、山岡和枝、村上征勝) 2,420万円
- 7) 基盤研究 A(2) (1999-2001) 「文化の伝播変容の統計科学的解析—ハワイ日系人・非日系人国際比較調査—」(吉野諒三 [代表]、林知己夫、林文、山岡和枝、F. Miyamoto 他) 1,808万円
- 8) 基盤研究 A(2) (2002-05) 「東アジア価値観国際比較調査—「信頼感」の統計科学的解析—」(吉野諒三 [代表]、村上征勝、馬場康維、土屋隆裕、前田忠彦、林文、山岡和枝、鄭躍軍他) 3,280万円
- 9) 基盤研究 A (2006-09) 「環太平洋価値観国際比較調査—「信頼感」の統計科学的解析—」(吉野諒三 [代表]、馬場康維、土屋隆裕、前田忠彦、松本渉、林文、山岡和枝、鄭躍軍他) 3,210万円

上記の1)と2)では、文化の「連鎖的比較方法論 CLA」を開発し、3)では日米の比較研究の中で国際的かつ学際的研究テーマについてCLAの実践的検討を行い、その有効性を確認した。4)では、それらを発展し、総括した。5)は特定のテーマに焦点を当てた国内での実践的応用を示し、さらに6)及び7)では海外の日系人に焦点を当て、既存の「日本人の国民性調査」の時系列的データと「意識の国際比較調査データ」との関連の中で、「文化の伝播変容」に関して時間・空間的变化を追求した。この中で、日本人や日系人固有の対人関係（義理人情）や宗教意識（信心を持たない人々も「宗教的態度が大切」と考えている等）、回答傾向（極端な回答を避ける等）が計量的に明瞭になってきた。8)はCLAを東アジア圏に適用し、東アジアの人々の意識構造を探った。9)ではCLAを発展させて、「文化多様体解析 CULMAN」を展開させ、米国、豪州と東アジア諸国の意識構造の多様性、階層構造を解析した。

研究機関名	統計数理研究所	研究代表者氏名	吉野諒三
-------	---------	---------	------

これまでに受けた研究費とその成果等（つづき）

特に上記の8) および9) の成果が、本応募申請研究へ直接つながるものである。

広範にわたる調査結果や分析の詳細を一言でまとめるのは難しいが、敢えて上記の一連の研究の統計学的方法論に限って要点を述べれば、次の3点にまとめられる。

- 1) 各国や各地域では、名目上は同じ「標本抽出調査」でも、実際は社会的・歴史的事情により異なる、各々に固有の統計的標本抽出調査が用いられており、国際比較の文脈では、単純な回答数値の比較のみで議論するのは危険であること。
- 2) 国際比較では、異なる言語を用いて「同じ」と想定される質問項目を回答者に施すのであるが、同一言語でも微妙な表現の差異で回答分布に10～15%程度の差異を生み出すこともある（バックトランスレーションによる検討）。
- 3) 上記の1)、2) のような問題点があるため、単一質問項目に対する回答数値を皮相的に国際比較するのは危険であるが、複数の項目群を活用した統計的（計量心理学的）尺度構成や多次元データ解析法を適切に用いれば、各国の特徴を比較すべき国々の全体の中で安定したパターンとして浮かび上がることができるのを確認した。我々はこれを、ノイズのある現実的データから、より信頼性の高い情報を引き出す探索的データ解析の方法論またはパラダイムと位置づけ、「データの科学」と称するに至った。

われわれはこういった知見の上に、日本人を含め、各国の人々の意識構造を研究するための文化多様体解析(Cultural Manifold Analysis [CULMAN])という方法論を開発するに至った。

上記の成果に関連する比較的近年の国内外での主要な出版物の一部には、以下のようなものがある。

- 1) 「第5 日本人の国民性」 出光書店. 1993.
- 2) 「国民性七か国比較」出光書店. 1998.
- 3) 「Quantitative Social Research in Germany and Japan」Leske-Buddrich. 1996.
- 4) 「Data Science, Classification and Related Methods」 Springer-Verlag. 1998.
- 5) 「Values and Attitude across Nations and Time」 Brill. 1998.
- 6) 「心を測る」——個と集団の意識の科学—— データの科学シリーズ. 朝倉書店. 2001
- 7) 「東アジア国民性比較—データの科学—」. 勉誠出版. 2007.

一方、調査データ公開に関しては、情報公開の精神とプライバシーの保護とのバランスを(財)日本世論調査協会等の関連機関とともに長年にわたり慎重に検討を進めてきたが、官学産の各方面の利益につながると思われる形で、我々が過去に収集してきた調査データを含め、報告書、書籍、コンピューター・ネットワーク上等での公開を順次、遂行している。

特に、調査の結果はその都度、統計数理研究所研究所リポート等として発刊され、国内外に広く配布されてきた。関連する近年の国内外での主要な出版物の一部は、本申請書の研究目的の参考文献欄や、後述の業績表に記されている。これらは学術誌における特集号を含む。また、しばしばマスメディアの記事(朝日新聞やNHKなどの報道機関、Newsweek誌日本版、Christian Science Monitorインターネット版等)、教科書、政府の白書等にも引用されてきた。海外の各国の政府関係者も基礎資料として活用しているようである。

国際学会に関しては、国際社会学会(International Sociological Association, ISA)、国際社会学機構(Institution of International Sociology, IIS)、国際分類学会、計量心理学会、国際政治学会等を中心に、研究メンバー全体として研究成果の発表を継続してきた。長年、本研究のリーダーであった故・林知己夫は国際統計学会や国際分類学会の会長を歴任し、研究チームの佐々木正道は国際社会学機構の会長を務め、各人とも各学会の世界大会においてKeynote(招待講演)などで、本調査研究にもとづき、世界への政策立案の基礎となる提言を繰り返してきた。



研究課題名 **アジア・太平洋価値観国際比較調査
—文化多様体の統計科学的解析—**

統計数理研究所・データ科学研究系・教授

吉野 諒三

研究分野：社会学、国際関係論、社会心理学

キーワード：社会調査法、社会集団・社会組織、国際社会・エスニシティ

【研究の背景・目的】

統計数理研究所では、1953年以來、「日本人の国民性」調査を継続してきた。この研究は1970年頃より国際比較調へと拡張され、「連鎖的比較 (Cultural Link Analysis)」や「文化多様体解析 (Cultural Manifold Analysis)」と呼ばれる方法論が発展し、「データの科学」という実践パラダイムの展開へ結びついている。

21世紀初頭の今日、世界秩序の再構成が進み、国家を超えた単位によって構成された国際社会が生まれつつある。それが世界の平和と繁栄へと繋がるためには、国家間、民族間の円滑な相互理解が重要である。その成功のためには、現在の国内外の状況を適確に把握する必要がある。われわれの研究の主目的は、各国の人々の意識構造の統計科学的解明にある。

【研究の方法】

特に、以下 a)～c) に重点をおいて研究を遂行する。

a) 文化の伝播変容を統計科学的に解明するため、アジア・太平洋諸国の人々の意識構造について統計的標本抽出法に則った面接調査を遂行する。

b) 特に、21世紀における国際交流の中で、アジア・太平洋諸国民の「信頼感」のあり方に焦点を当て、世界の政治・経済の平和的発展の一助となる基礎情報の収集を推進させる。

c) 収集した「アジア・太平洋諸国民の意識調査」の情報を中心に、既存の「意識の国際比較調査」データとともに世界へ一般公開する。

【期待される成果と意義】

日本は少子高齢化社会の中で労働人口が減少し、

外国人労働者の積極的受け入れ等を始め、国際交流が必然となるが、これに伴い、日常生活の中でも異文化間摩擦が様々な形で現われて来るに違いない。また、近年の「東アジア共同体」の具体化に伴う、EUや南北アメリカ圏との国際関係が構想され、異文化間理解、文化変容の研究がますます重要となってくる。

本研究で「アジア・太平洋諸国の国際比較データ」を、統計的に信頼できる方法で収集し公開することで、調査データが広く世界の人々に活用され、国内外での異文化間摩擦を回避し、世界の秩序の維持と発展の一助となり、また、世界の人文社会科学の研究者、統計学者の多様な実証研究をも促進させることを期待する。

【当該研究課題と関連の深い論文・著書】

吉野諒三. (2005). 東アジア価値観調査—文化多様体解析 (CULMAN) に基づく計量文明論の構築へ向けて. 行動計量学, 32, 1, pp. 133-146.

吉野諒三編 (2007). 「東アジア国民性比較—データの科学—」. 勉誠出版.

Yoshino, R., Nikaido, K., & Fujita, T. (2009)

Cultural manifold analysis (CULMAN) of national character. Behaviormetrika, 36, 2, 89-114.

【研究期間と研究経費】

平成22年度—26年度
114,100千円

【ホームページ等】

<http://www.ism.ism.ac.jp/~yoshino/>
http://www.ism.ac.jp/souran/kenkyusya/yoshino_ryozo.html



Title of Project : Asia Pacific Values Survey--- Cultural Manifold Analysis (CULMAN) on peoples' sense of trust ---.

Department of Data Science
The Institute of Statistical Mathematics
Professor of Survey Research

Ryozo Yoshino

Research Area : sociology, international relations, social psychology

Keyword: social survey, social organization, national character, ethnicity

[Purpose and Background of the Research]

The Institute of Statistical Mathematics has been conducting a longitudinal nationwide survey on the Japanese national character since 1953. The survey, called "Nihonjin no Kokuminsei Chosa" (Japanese National Character Survey), stimulated many countries to carry out the same sort of time series surveys such as the World Value Survey, Eurobarometer, General Social Survey of USA, ALLBUS of Germany, CREDOC of France, etc.

Since 1971, our survey has been extended to a cross-national comparative study for more advanced understanding of Japanese national character. The focus of our cross-national surveys is the investigation of the statistical comparison of peoples' social values and their ways of thinking and feeling: cultural identities and people's attitudes toward economy, freedom of speech, interpersonal relationships, leadership, politics, public acceptance of science and technology, religion, social security, etc. These aspects may clarify certain similarities or dissimilarities that are represented by psychological distances between countries in certain statistical analyses of responses.

[Research Methods]

The cross-national survey involves particular methodological problems to compare response data collected under different conditions. Thus, an important problem of our study is to investigate those conditions under which meaningful **cross-national comparability** of social survey data is guaranteed. As our approach towards this problem over decades, we have been developing the methodologies called **CLA (Cultural Linkage Analysis)** and **CULMAN (Cultural Manifold Analysis)**. The main components of CLA are 1) a spatial link for cross-national comparison, 2) a temporal link inherent in longitudinal analysis, and 3) an item-structure link inherent in the commonalities and differences in item response patterns within and across different cultures. CULMAN is a development introducing hierarchical structures into the three types of cultural linkages.

[Expected Research Achievements and Scientific Significance]

In CULMAN we utilize the back-translation technique and statistical pattern analyses such as Hayashi's Quantification Method or Yoshino's Super-culture Model. Although a simple cross-national tabulation of people's responses with respect to a single item may not be reliable because people's responses may occasionally be sensitive to slight differences in the wording of certain questions, certain pattern analyses or scaling on a set of items can be reliable.

On the other hand, we have found some response tendencies particular to certain countries. For example, the Japanese tend to avoid polar answer categories and to choose intermediate categories, whereas the French generally tend to give negative responses to any question.

We believe that our methodologies will be useful to analyze not only people's sense of trust but public opinion polls or social survey data in general.

[Publications Relevant to the Project]

- Yoshino, R. (ed.) (2007). East Asia values survey --- science of data. Tokyo: Bensei-syuppan.
Yoshino, R., Nikaido, K., & Fujita, T.(2009). Cultural manifold analysis (CULMAN) of national character. *Behaviormetrika*, 36, 2, 89-114.
Yoshino, R. (2009) Reconstruction of trust on a cultural manifold: sense of trust in longitudinal and cross-national surveys of national character. *Behaviormetrika*, 36, 2, 115-147.
Fujita, T., & Yoshino, R. (2009). Social values on international relationships in the Asia-Pacific region. *Behaviormetrika*, 36, 2, 149-166.

[Term of Project] FY2010-2014

[Budget Allocation] 114, 100 Thousand Yen

[Homepage Address and Other Contact Information]

<http://www.ism.ism.ac.jp/~yoshino/>

http://www.ism.ac.jp/souran/kenkyusya/yoshino_ryojo.html

研究の目的

本調査プロジェクトの概要は、以下のとおりである。

- 1) アジア・太平洋の諸国における統計的標本抽出調査（個別訪問面接法）によるデータ収集を遂行する（平成 22-24年度）。
- 2) この国際比較データと、半世紀以上にわたる「日本人の国民性」調査の時系列データを交絡させる（平成 25年度）。
- 3) これらの新たに収集されたデータを、既存の関連調査データとともに、総合的に分析することによって、空間的・時間的比較の枠組みの中で、日本人の意識構造の安定性と変容を実証的に浮かび上がらせる。最終的に、調査データの一般公開を推進させる。

本年度（～平成23年3月31日）の研究実施計画

本年度は、以下の1)～8)を遂行する。

- 1) 基礎資料（アジア・太平洋諸国の関連調査データ、文献等）を収集・整理する。同時に、我々が過去に収集してきた一連の国際比較調査データや報告書の再整理、国内外の機関による関連する調査データや報告書の内容を整理、検討する。
- 2) アジア・太平洋の各地域の調査環境について現状を再確認する。各地の現地調査研究者と連携しながら、統計的標本抽出方法の実践的検討を行い、その遂行可能性を確認し、同時に当該地域で国際比較の意味のある調査項目の候補を選定する。
- 3) 国内外の調査関連の研究者との連携により、調査票のトピックの検討と、質問項目の具体案の作成、推敲をする。過去の関連項目の収集や、新聞作成の検討を重ねる。
- 4) 国際比較版・日本調査用の調査票の案を作成し、プリテスト等の検討を経て確定する。
- 5) さらに、米国調査のために、日本調査用の調査票を複数のバイリンガルにより、翻訳、再翻訳を繰り返し、米国語の調査票を作成する（バック・トランスレーションによる検討）。
- 6) 日本調査の本調査遂行
- 7) 米国調査の本調査遂行
- 8) データ・クリーニング作業の検討を経て、集計と報告書作成の作業遂行。以上の作業の結果をまとめ、現地研究者と連絡しあい、調査結果の解釈について検討し、第一次報告書(速報)をまとめる。報告書の印刷、出版、各方面への送付の作業を進行させる。

主要な物品の内訳（1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの）

品名	仕様 (製造会社名・型)	数量	単価 (円)	金額 (円)	納入予定時期
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月

2. アジア・太平洋価値観国際比較・日本 2010 調査

a. 標本抽出計画と回収状況等

2011年2月9日新情報センターからの報告要旨

生活と文化に関する世論調査 (アジア・太平洋価値観国際比較 2010年日本調査) 調査実施状況報告書

1. 調査対象
 - (1) 母集団 日本に住居する20歳以上の男女日本人
 - (2) 標本数 男女1,800人
 - (3) 抽出法 層化2段無作為抽出法(120地点)
2. 調査時期 平成22年12月2日(木)～12月12日(日)
調査予備期間 12月13日(月)～12月19日(日)
3. 調査方法 調査員による個別面接聴取法
4. 回収結果
 - (1) 有効回収数(率) 852人(47.3%)
 - (2) 調査不能数(率) 948人(52.7%)
5. 不能内訳

転居	76	4.2%
長期不在	36	2.0%
一時不在	280	15.6%
住所不明	18	1.0%
拒否	495	27.5%
その他	43	2.4%

通常では、拒否は一時不在より少ないことが多いが、本調査では拒否が不能の半数を超えた。また、一時不在の数字には、調査員から「居留守」と報告があったケースも含まれている。

調査員の稼働日については、5日以上稼働した調査員(最大は8日)が120地点中57地点あり、調査員の稼働が少なかったという状況ではない。

6. その他報告事項

(1) 対象者の年齢について

抽出した対象者の生年月日と対象者の回答が1～2歳違っている回答が数件あるが、抽出時の記入ミスの可能性もあり、調査票回答データの修正はしていない。

以上

NO. 4997 生活と文化に関する世論調査
 (アジア・太平洋価値観国際比較 2010年日本調査)

調査地域…全国
 標本数…1800
 地点数…120
 調査対象…20歳以上の男女

上段…標本数、中段…地点数、下段…地点番号

	東京23区	他の政令 指定都市	20万以上 の市	10万以上 の市	10万未満 の市	郡部	計
北海道		30 (2) 0111~0112	15 (1) 0121	15 (1) 0141	15 (1) 0151	15 (1) 0161	90 (6)
東北		15 (1) 0211	30 (2) 0221~0222	15 (1) 0241	45 (3) 0251~0253	30 (2) 0261~0262	135 (9)
関東	120 (8) 0301~0308	105 (7) 0311~0317	150 (10) 0321~0330	105 (7) 0341~0347	75 (5) 0351~0355	30 (2) 0361~0362	585 (39)
北陸		15 (1) 0411	15 (1) 0421	15 (1) 0441	30 (2) 0451~0452	15 (1) 0461	90 (6)
東山			15 (1) 0521	15 (1) 0541	30 (2) 0551~0552	15 (1) 0561	75 (5)
東海		45 (3) 0611~0613	45 (3) 0621~0623	45 (3) 0641~0643	30 (2) 0651~0652	15 (1) 0661	180 (12)
近畿		90 (6) 0711~0716	90 (6) 0721~0726	30 (2) 0741~0742	60 (4) 0751~0754	15 (1) 0761	285 (19)
中国		30 (2) 0811~0812	15 (1) 0821	30 (2) 0841~0842	15 (1) 0851	15 (1) 0861	105 (7)
四国			15 (1) 0921	15 (1) 0941	15 (1) 0951	15 (1) 0961	60 (4)
九州		30 (2) 1011~1012	45 (3) 1021~1023	30 (2) 1041~1042	60 (4) 1051~1054	30 (2) 1061~1062	195 (13)
計	120 (8)	360 (24)	435 (29)	315 (21)	375 (25)	195 (13)	1800 (120)

整理 №	地点 №	県名	調査地点名	標本数	完了数	事故数	転居	長期不在	一時不在	住所不明	拒否	その他
1	0111	北海道	札幌市 東区 北二十三条東6丁目4~5, 7丁目~	15	11	4			1			3
2	0112	北海道	札幌市 西区 八軒七条東5丁目1~	15	8	7	1		4			2
3	0121	北海道	旭川市 東光十九条5丁目, 十八条5丁目~	15	10	5		1				4
4	0141	北海道	釧路市 興津2丁目18~	15	7	8			2			6
5	0151	北海道	千歳市 自由ヶ丘1丁目1~	15	6	9	2	1	2			4
6	0161	北海道	空知支庁 長沼町 字馬追(13, 14, 15区~)	15	7	8		1	2	1		4
7	0241	青森県	弘前市 大字 桔梗野1丁目, 2丁目~	15	9	6			1			5
8	0251	青森県	三沢市 桜町2丁目6~	15	11	4	2		1			1
9	0261	岩手県	胆沢郡 金ヶ崎町 西根(南町, 表小路, 本町~)	15	9	6		1				4
10	0211	宮城県	仙台市 青葉区 八幡7丁目15~17, 20~	15	10	5	1		1			3
11	0252	宮城県	登米市 登米町 大字 日根牛(小川向, 北沢~)	15	6	9	1					7
12	0221	秋田県	秋田市 河辺岩見(小平岱, 下小平岱~)	15	9	6	1	1	1			3
13	0253	山形県	寒河江市 八幡町3, 4, 6, 山岸町~	15	10	5						5
14	0222	福島県	いわき市 四倉町 上仁井田(干蔵, 鬼越~)	15	8	7	1	1	1			4
15	0252	福島県	伊達郡 桑折町 大字 北半田(御免町, 町下~)	15	6	9		1				8
16	0321	茨城県	水戸市 加倉井町133~	15	7	8	1		1			6
17	0341	茨城県	土浦市 おお野6丁目, 7丁目~	15	8	7			4			3
18	0351	茨城県	笠間市 笠間1155~	15	6	9	2		2			4
19	0342	栃木県	小山市 大字 大本30~	15	10	5	1		3			1
20	0352	栃木県	矢板市 石関204~	15	9	6						6
21	0322	群馬県	前橋市 上小出町2丁目23~26, 38~	15	6	9			2			6
22	0361	群馬県	邑楽郡 邑楽町 大字 中野1846~	15	8	7			2			4
23	0311	埼玉県	さいたま市 中央区 上落合9丁目10~	15	6	9			7			2
24	0323	埼玉県	川越市 大字 南大塚684~	15	6	9			3			5
25	0324	埼玉県	所沢市 大字 上山口1505~	15	7	8			1			6
26	0325	埼玉県	越谷市 大林550~	15	4	11			3			6
27	0343	埼玉県	戸田市 笹目6丁目18~	15	5	10		1	2			5
28	0353	埼玉県	鳩ヶ谷市 大字 辻680~	15	5	10	2	1	5			2
29	0312	千葉県	千葉市 稲毛区 宮野木町1793~1812	15	7	8		1				2
30	0326	千葉県	船橋市 咲が丘4丁目29~	15	8	7			3			4
31	0344	千葉県	木更津市 畑沢南1丁目6, 9, 18~26	15	6	9		1	3			5
32	0354	千葉県	東金市 季美の森東1丁目, 2丁目~	15	3	12		1	3			8
33	0327	千葉県	柏市 宿蓮寺16~	15	7	8	1		3			4
34	0345	千葉県	鎌ヶ谷市 富岡2丁目6~9, 10~	15	5	10		1	4			5

整理 No.	地点 No.	県名	調査地点名	標 本 数	完 了 数	事 故 数	転 居	長 期 不 在	一 時 不 在	住 所 不 明	拒 否	そ の 他
35	0301	東京都	港区 三田4丁目17~	15	5	10		1	4		5	
36	0302	東京都	江東区 枝川1丁目8~	15	3	12	1		4		5	2
37	0303	東京都	大田区 大森西7丁目4番2, 28~	15	2	13	1		11		1	
38	0304	東京都	世田谷区 弦巻4丁目18番15~	15	6	9			6		3	
39	0305	東京都	杉並区 荻窪4丁目20~	15	3	12			8		4	
40	0306	東京都	荒川区 東尾久3丁目14~	15	6	9	1		5		2	1
41	0307	東京都	練馬区 東大泉1丁目17~	15	6	9			3		6	
42	0308	東京都	葛飾区 金町3丁目24~	15	5	10	1		4		4	1
43	0328	東京都	八王子市 南大沢2丁目11~	15	2	13	2		8		3	
44	0329	東京都	町田市 鶴間553~640	15	7	8		1			7	
45	0346	東京都	小金井市 真井南町2丁目10~	15	3	12			4	1	7	
46	0355	東京都	東大和市 湖畔1丁目911~	15	7	8	1		2		5	
47	0313	神奈川県	横浜市中区 西竹之丸18~	15	3	12					10	2
48	0314	神奈川県	横浜市 港北区 榎町2丁目2~	15	6	9	1	1			7	
49	0315	神奈川県	横浜市 栄区 桂台西2丁目1, 12~	15	6	9	1				8	
50	0316	神奈川県	川崎市 中原区 上丸子天神町71~	15	5	10			5		5	
51	0317	神奈川県	相模原市 中央区(旧相模原市) 上溝7丁目3~	15	5	10			4		6	
52	0347	神奈川県	鎌倉市 榎原1丁目1~	15	4	11	1		3		7	
53	0330	神奈川県	藤沢市 石川6丁目2~	15	6	9		1	3		5	
54	0362	神奈川県	中郡 大磯町 高麗2丁目12~	15	7	8	1		2		5	
55	0411	新潟県	新潟市 東区(旧新潟市) 中野山5丁目3, 5~	15	10	5	1		1		3	
56	0451	新潟県	胎内市 大字つづじが丘111~	15	8	7			1	1	5	
57	0461	新潟県	三島郡 出雲崎町 大字尾瀬14~	15	12	3					2	1
58	0441	富山県	高岡市 瑞穂町2, 3, 6~	15	8	7	1	1			4	1
59	0421	石川県	金沢市 粟崎町3丁目1~	15	7	8	1		2	2	2	1
60	0452	福井県	鯖江市 旭町3丁目, 4丁目~	15	10	5		1	2		2	
61	0551	山梨県	甲斐市 西八幡3702~	15	8	7	1		2		4	
62	0521	長野県	長野市 上松1丁目6~	15	8	7	2		1		4	
63	0561	長野県	上伊那郡 辰野町 大字辰野23~	15	14	1			1			
64	0541	岐阜県	多治見市 平和町6・7・8丁目~	15	8	7	2			1	2	2
65	0552	岐阜県	関市 鑄物師屋6丁目, 7丁目~	15	11	4	1				3	
66	0611	静岡県	浜松市中区(旧浜松市) 住吉1丁目3~	15	9	6	1		2		3	
67	0641	静岡県	富士宮市(旧芝川町) 内房3720~	15	11	4	2		1		1	
68	0651	静岡県	袋井市 村松1553~	15	10	5	2	1	1		1	

整理 No.	地点 No.	県名	調査地点名	標本数	完了数	事故数	転居	長期不在	一時不在	住所不明	拒否	その他
69	0612	愛知県	名古屋市中村区 沖田町268~	15	6	9		1	2		6	
70	0613	愛知県	名古屋市長区 万福山1丁目301~	15	4	11		1	2		8	
71	0621	愛知県	岡崎市 日名西町1番地~	15	9	6	1		4		1	
72	0622	愛知県	豊田市 瑞穂町1-2-3・4丁目~	15	7	8	2		4		2	
73	0642	愛知県	小牧市 安田町27~	15	8	7			1		6	
74	0652	愛知県	豊明市 西川町横井1~	15	7	8			6		2	
75	0661	愛知県	海部郡 大治町 大字三本木字屋形5~	15	7	8			1	2	5	
76	0623	三重県	津市(旧安濃町) 安濃町曾根190~	15	6	9	1		1	1	6	
77	0643	三重県	鈴鹿市 住吉5丁目5~	15	6	9		1		2	5	1
78	0751	滋賀県	野洲市 小篠原216~	15	7	8	2		4		2	
79	0711	京都府	京都市 下京区 福本町、夷之町~	15	8	7	1		5		1	
80	0752	京都府	福知山市(旧大江町) 大江町南有路66~2900	15	6	9		1	2		6	
81	0712	大阪府	大阪市 福島区 鷺洲3丁目1(鷺洲第2団地2号棟~)	15	7	8	2		1		4	1
82	0713	大阪府	大阪市 城東区 古市2丁目2~	15	6	9			4		4	1
83	0714	大阪府	大阪市 平野区 西脇1丁目12~	15	4	11			3		8	
84	0715	大阪府	堺市 南区(旧堺市) 鴨谷3丁目2番(鴨谷台団地11棟~)	15	10	5		2	2		1	
85	0721	大阪府	豊中市 東豊中町6丁目16~	15	7	8	2		2		4	
86	0722	大阪府	枚方市 町楠葉1丁目3、18~	15	9	6	1		2		3	
87	0741	大阪府	河内長野市 旭ヶ丘7、19、20~	15	7	8		1	1		6	
88	0723	大阪府	東大阪市 御厨3丁目2~9	15	9	6	1		2		3	
89	0716	兵庫県	神戸市 北区 藤原台中町8丁目3~	15	2	13	1		4		8	
90	0724	兵庫県	明石市 太寺天王町2811~	15	10	5					5	
91	0725	兵庫県	西宮市 上田西町1~	15	8	7	1	1			5	
92	0753	兵庫県	赤穂市 加里屋39~	15	11	4	1				3	
93	0761	兵庫県	加古郡 稲美町 加古4280~	15	9	6	2		1		2	1
94	0754	奈良県	天理市 新泉町29~	15	8	7	1		2	1	2	1
95	0742	奈良県	橿原市 久米町588~	15	3	12			6	1	5	
96	0726	和歌山県	和歌山市 栗223~	15	3	12			4	1	7	
97	0861	鳥取県	東伯郡 琴浦町 大字下伊勢211~	15	8	7			5		2	
98	0841	島根県	出雲市 今市町395~	15	10	5		1	1		1	2
99	0811	岡山県	岡山市 中区(旧岡山市) 滝吉1496~2388	15	9	6	1		1		4	
100	0851	岡山県	高梁市 横町1076~	15	5	10	2	1	2	1	4	
101	0812	広島県	広島市 西区 東観音町8~	15	10	5			2		3	
102	0821	広島県	福山市 三吉町3丁目1、3~	15	9	6			3		1	2

整理 No.	地点 No.	県名	調査地点名	標 本 数	完 了 数	事 故 数	転 居	長 期 不 在	一 時 不 在	住 所 不 明	拒 否	そ の 他
103	0842	山口県	山口市 嘉川5107~	15	6	9					9	
104	0961	徳島県	板野郡 北島町 中村(御供田, 江ノ向~)	15	8	7	1				4	2
105	0921	香川県	高松市 伏石町1230~	15	10	5	1	1			3	
106	0941	愛媛県	今治市 常盤町8丁目1~	15	5	10	1	5	1		3	
107	0951	高知県	須崎市 東古市町, 西古市町, 南古市町~	15	9	6		2			4	
108	1011	福岡県	北九州市 八幡東区 春の町4丁目2~	15	4	11	2	2	3		3	1
109	1012	福岡県	福岡市 南区 若久1丁目25~	15	2	13			11		2	
110	1051	福岡県	宗像市 公園通り3丁目1~	15	7	8	1		2		4	1
111	1061	福岡県	田川郡 福智町(旧赤池町) 赤池524~	15	8	7	1		1	1	3	1
112	1021	佐賀県	佐賀市 八戸1丁目3~6, 2丁目2~	15	7	8	2				6	
113	1041	長崎県	諫早市 原口町257~	15	5	10					10	
114	1022	熊本県	熊本市 荻葉2丁目4, 7, 8~	15	9	6	1	1	1	1	2	
115	1052	熊本県	人吉市 下原田町1279~	15	7	8	1				6	1
116	1053	大分県	宇佐市 大字麻生276~	15	9	6		1	2		3	
117	1062	宮崎県	東臼杵郡 門川町 大字門川尾末1698~	15	8	7	3				3	1
118	1023	鹿児島県	鹿児島市 荒田1丁目8, 9, 13~	15	4	11		1	4		5	1
119	1042	鹿児島県	鹿屋市(旧串良町) 串良町細山田4960~	15	10	5			2		2	1
120	1054	沖縄県	宜野湾市 喜友名1丁目10~	15	8	7			4		3	
				1800	852	948	76	36	280	18	495	43

47.3% 52.7% 4.2% 2.0% 15.6% 1.0% 27.5% 2.4%

生活と文化に関する世論調査

【調査要領】

平成22年12月

(社)新情報センター 0120-00-5231

I 調査の目的

この調査は、「統計数理研究所」からの委託を受けて実施する。事前挨拶ハガキや挨拶状には、【調査主体】を明示している。

調査は、「アジア・太平洋価値観国際比較研究2010」の一環として、生活や文化に関する、アジア・太平洋諸国の人々の意識、価値観、態度等を比較することを目的に実施するもので、日本調査は平成16年調査に引き続いての実施となる。また、同じ調査をアメリカでも12月から2011年1月にかけて、1,000人の方々に実施している。

なお、この調査は、新情報センターのホームページで協力依頼を掲載するだけでなく、調査主体である統計数理研究所のホームページ (http://www.ism.ac.jp/survey/index_j.html) にも調査の概要を掲載し、対象者への協力依頼を行っている。

また、調査結果(集計結果)は、平成23年11月頃統計数理研究所のホームページにて公表する予定である (<http://www.ism.ac.jp/~yoshino/index.htm>)。

II 調査の対象

平成22年12月1日現在、満20歳以上の男女個人(平成2年11月30日以前に生まれた者)

III 調査方法と調査期間

個別面接聴取法、調査期間は、12月2日(木)～12月12日(日)

IV 特に注意すること

◆この調査では、全対象者(完了・不能を問わない)について、調査票を作成する。以下を確認して、間違えないようにすること。

この調査では【訪問状況記録表】の代わりに、対象者ごとに、調査票の表紙の訪問記録欄に、訪問した際の状況(訪問日、訪問時間・分<24時間制>、接触状況、対応方法(コード番号で記入))を毎回記入する。

*この訪問状況記録も納品物の1つとなっているため、漏れなく記録すること。

・調査不能者も調査票に地点番号、対象番号を記入し、訪問ごとに記録する。

・訪問記録は、対象者からの依頼があった場合を除いて、原則3時間以上の間隔がある訪問を記録する。

*同日に、3時間以上の間隔を置いて3回訪問した場合は、3回とも記入する。

(例：9:30、14:00、18:00の訪問では、すべて記入する)

・万が一、9回以上の訪問をする場合は、別紙にて所定項目を記録し、提出すること。

V 調査の手順

1) 調査の説明(内容、方法の理解)

2) 事前依頼ハガキの投函と対象者宅への訪問・面接調査 → 【2～4ページ VII・VIII】

3) 調査票の点検、提出書類の整理 → 【4ページ VIII】

4) 調査書類の提出(返送)

Ⅷ 調査方法についての注意

1) 訪問についての注意点

- ア 訪問する前に、調査票と調査要領をよく読んで、内容・方法を理解する。
- イ あらかじめ自宅で調査票に地点番号（4ケタ）、対象番号（2ケタ）を対象者名簿から調査票に転記しておく。特に地点番号は地区集計に必要な数字であるため、間違いのないように注意する。
- ウ 対象者名簿は調査地域に持ち込めないため、必要事項の暗号化を行ない「MEMO用紙」に転記する（別紙「個人情報の管理方法について」参照）。また、同時に挨拶状の左上部に「〇〇（フルネーム）様」と記入しておくこと、現地での対象者確認の際に有用である。
- エ 事前挨拶ハガキの発送手続き後、数日以内に、対象者名簿に抽出された対象者宅を訪問する。訪問したら、初めに必ず写真付調査員証を提示する。挨拶状や統計数理研究所パンフレットを提示し、「先日挨拶ハガキをお送りいたしました調査の件でお伺いしました。〇〇（名前）様はいらっしゃいますか。」と調査対象者本人の氏名を確認した上で、訪問した目的、調査の趣旨を説明し協力を依頼する。調査対象者本人が在宅していれば、その場で協力を依頼する。必要があれば「事前挨拶ハガキの見本（予備の1枚）」を提示する。
- オ 対象者本人が不在であれば、対象者の在宅時間を聞いて、再訪問を約束する。対象者の在宅が不規則で、家族にも予想がつかないなど、対象者本人と会うことが困難な場合は、「お差しつかえなければ…」と電話番号を教えてくださいよう依頼し、ご家族の取次ぎなどを丁寧に依頼する。
例：「次にお伺いする日程のご相談のため、電話番号を教えてくださいありがとうございますのですが…」
- カ 対象者本人もしくは家族に会えなかったら、平日のみならず、土日の午前、午後、夕刻など訪問日時を変えて最低3回以上訪問し、本人に会う努力を行うこと（不在で会えない人を減らすために、訪問日時を工夫する）。
- キ 調査票1ページに、訪問毎に訪問記録を記入する。
- ク 言葉づかい、態度、服装には気をつけて非礼にならないようにする。

2) 「不在票」の使い方（誰にも会えない場合）

- ア 対象者には事前に調査依頼の挨拶ハガキを送付しているので、最初の訪問時に誰にも会えない場合は、必ず不在票を郵便受け等に入れること。
その際、不在票の左上に対象者の氏名を記入し、「再訪問のおしらせ」に✓をした上で次回訪問の日時を記入する。さらに、余白にできるだけ「おはがきでご依頼させていただいている件です。何卒よろしくお願ひいたします。」等と手書きで加筆すると効果的である（手書きをすると対象者の印象が良くなることもあるが、雑な走り書きでは印象が悪くなるので、丁寧に書くこと）。
- イ 2回目の訪問以降は、状況に応じて不在票を使用する。「何回も来ていただいて悪いので…」と協力してくれる対象者も多いので、できるだけメッセージを書いて活用すること。
- ウ 最終訪問時には、「調査終了のおしらせ」に✓をした上で、必ず不在票を入れること。対象者から「調査員が来るのを待っていたのに来なかった」というクレームがないようにするための措置である。

3) 面接についての注意点

- ア 調査は口問口答法で行い、面接時には対象者本人以外の人が同席することは避ける。
他人に代わって答えてもらったり、調査票を留め置いてはいけない。
- イ 質問は調査票の順序、指定（矢印）に従って進めること。質問に入った段階で、まごつくことのないように前もって調査票をよく読んでおくこと。
- ウ 質問文は文章の通り読み上げること。選択肢を読み上げたり、例を挙げてはいけない。
質問文を読み上げるスピードは、普段、会話する時よりも少しゆっくりと読み上げること。
質問の意味が相手にわからないようであれば、再度ゆっくり読み返すこと。
- エ 調査票は対象者に見せてはいけない。見せてよいのはカード（回答票）だけである。
- オ カード（回答票）を用いない質問では、調査票の回答分類を対象者に見せてはいけない。

VI 調査書類	【部 数】		【部 数】
1) 調査票	(15部)	9) 事前挨拶ハガキの見本	(1部)
2) あいさつ状	(15部)	10) 個人情報の管理方法について	(1部)
3) 調査要領	(1部)	11) MEMO用紙	(1部)
4) カード(回答票)	(〃)	12) 調査員精算書	(1部)
5) 事前挨拶ハガキ	(16枚)	13) 経 歴 書	(1部)
6) 不在票(さくら色)	(15部)		
7) 統計数理研究所パンフレット	(1部)		
8) 謝礼品(図書カード500円)	(14枚)		

※対象者名簿は11月上旬にすでに渡している。**対象者名簿は自宅外に一切持ち出さないこと!**

※調査書類に足りないものがないか、よく確認すること。特に、**謝礼品(図書カード500円)はすぐに数を確認し、過不足がある場合には、至急担当者まで連絡すること。**なお、謝礼品は調査を完了した場合のみ手渡すこと。

※抽出者と担当調査員が同じ場合、抽出時の費用も、今回の調査員精算書につけてください。

※**他の調査と書類を混同しないようによく確認して調査を行うこと(特に不在票、事前挨拶ハガキ)**

平成22年6月より、当社の個人情報(対象者名簿)の管理方法が変更になっている。対象者名簿は自宅外に一切持ち出しをせず、調査地域では「MEMO」と書かれた用紙のみを使用して調査を行うこと。詳細については、別紙「個人情報の管理方法について」をよく読み、指示に従うこと。

◎ 監査について

- ・調査協力者に、電話による確認を行うため、電話番号を覚えてもらうように努めてください。
- ・対象者の住所・氏名(フルネーム、カタカナでも可)を必ず確認してMEMO用紙に記入の上、自宅で対象者名簿に記入すること。
- ・対象者に疑念を持たれないように、“電話番号を聞く目的は、調査が適正に行われたかの確認のために、本社(新情報センター)からご連絡をさせていただく可能性があるため”という旨を伝えること。
- ・調査の確認が一定数に達しない場合は、現地監査を実施する場合がある。

Ⅶ 事前挨拶ハガキの投函

- 1) 手元の対象者名簿を確認して、事前挨拶ハガキに対象者の宛名を丁寧に書き、調査開始日12月2日の数日前までに、最寄りの郵便局にて、『料金別納郵便』で郵送料を支払い発送する。必ず領収書ももらい精算書に添付のこと。

※対象者名簿の「住所欄」に“参考郵便番号”を記載している。筆頭住所の郵便番号であるため、**字名が変わった場合は郵便番号が異なることが予想される。字名が変わった場合は、必ず郵便番号を調べて記入すること。**

官製ハガキではないので、そのままポストに投函しないよう注意!

※料金別納郵便とは

10通以上の郵便物を同時に差し出す際に、個々の郵便物に郵便切手を貼ることなく、料金を一括して支払うことのできるサービス。官製ハガキではないので、絶対にそのままポストへ投函しないこと!

- 2) 事前挨拶ハガキの予備は対象者への提示用として使用するが、書き損じがあった場合は、投函用として使用しても構わない。但し、その場合、対象者への提示用として使用するの**は書き損じたハガキではなく、事前挨拶ハガキのコピー(見本)を使用すること。また書き損じたハガキは個人情報となるので、自分で処分せず、必ず返却すること。**

4) 調査票の記入上の注意点、自宅での対象者名簿等の記入上の注意点

- ア 質問の回答数に注意すること。回答数の指定がない質問は必ず回答は1つである。
- イ 「その他」に該当すると思われる場合は()内に具体的に回答を記入する。分類困難な回答は欄外に具体的に注記しておく。
- ウ 職業欄については、対象者の具体的な仕事の内容を聞き、[]に記入して、該当に○をする。
(【調査要領】P7の「職業分類表」の分類例に基づき、具体的に記入する)
- エ 調査票の記入にあたっては、濃い鉛筆(HB以上)を使用し、該当するコード番号(数字)をはっきりと○で囲む。
- オ 地点番号(4ケタ)、対象番号(2ケタ)を対象者名簿から調査票に転記する。
- カ 対象者から電話番号を教えられた場合は、MEMO用紙に暗号化して記入しておき、帰宅後に対象者名簿に転記する。
- キ 対象者名簿に対象者の職業、電話番号、担当調査員氏名(コード番号)、稼動日数、地点までの片道所要時間、粗品残数を記入する。不能となった理由はできるだけ具体的に記入する。
- ク 提出する前に、記入漏れなどないか再度点検する。

5) その他の注意点

- ア 調査期間を厳守すること。急病や天変地異など、やむを得ぬ理由で提出(返送)日時に遅延、または調査の続行が不可能な場合は別の調査員に引き継いでもらうので、直ちに担当者に連絡する。
- イ 説明を受けた後で、不明な点があった場合は直ちに担当者に連絡すること。
- ウ 調査を実施するにあたっては、指示された調査方法や期限を厳守すること。万一、指示された方法と異なる方法で実施した場合は、交通費を含め、調査手当を支払えない場合があるので注意する。
- エ カード(回答票)、完了した調査票と不能調査票は、対象番号の若い順に並べて、対象者名簿に挟んで提出すること。
- オ 抽出時に使用した役所指定の転記用紙、その他の個人情報を記入した書類がある場合は、対象者名簿に挟んで提出すること。残った書類とは明確に分けること。

IX 個人情報保護についての注意

- ※ 調査票などの個人情報は、紛失や置き忘れ、盗難、漏えいのないよう厳重に管理し、万一の場合は速やかに担当者に連絡して指示を仰ぐ。
1. 調査中は必要な物以外携行しない。
 2. 調査書類はわずかな時間でも手放さない。
 3. 調査票は対象者及び第三者に見せてはいけない。調査事項について知り得た事実を、第三者に漏えいしてはならない。
 4. 調査は説明を受けた調査員本人以外が行ってはいけない。また、調査時に友人・知人等に同行してもらうことは絶対にしない。

X 各質問等についての注意

- ※ 質問数が多いので、対象者からのクレームも予想される。できるだけ説得し、最後まで回答してもらうように努めてください。
- ※ カードに載っていない選択肢や、カードを使わない質問で質問文で読み上げない選択肢(8.その他()、9. DK など)は、調査票上1文字下げて記載してあるので、留意する。
- ※ 該当質問にいく場合は、それぞれの指示、矢印に従って間違えないように答えてもらう。
- ※ フェイス質問は、「対象者本人が記入してもよい」となっているが、できるだけ面接聴取法で行ってください。万が一、対象者がフェイス質問を記入した場合は、必ず対象者名簿の備考欄に、その旨を記入すること。
- ※ 自発的回答で「その他」に該当する回答があった場合、具体的に記入するが、記入欄が小さい場合は、余白も使って記入してください。

<各質問についての注意>

問7……………子どもの人数を数字で記入する。「わからない」は「99」に○をする。

問10a・b……………対象者の回答を具体的に記入する。回答者が複数あげた場合は、すべて記入する。例をあげたりして対象者を誘導しないように注意する。なお、「わからない」は「9」に○をする。

問10bの信用しない職業で、回答者が「泥棒」「詐欺師」など、通常は職業とは見なせない回答をした場合でも、そのままの回答を記録する。

問11……………できるだけ「3つ」選択してもらう。

問18……………該当しない場合、わからない場合は「9」に○をする。

問18a「あなた自身の家族や子供」→ 回答者が「自分の家族や子供はいない」と言った場合などは、「9. わからない・該当せず」に○をつける。ただし、本当は家族や子供がいなくとも、回答者が重要性の度合い(1~7)を回答した場合は、その点数に○をする。

b「職業や仕事」→ 同様に、本人が定年退職していたり仕事についていなくなったりして自発的に「関係ない」といった場合は「9. わからない・該当せず」とするが、そうでなければ仕事についていなくとも回答者が重要性の度合い(1~7)を回答した場合は、その点数に○をする。

d「友人、知人」とe「両親、兄弟、姉妹」も同様。

問19・問20……………両方とも同じ[カード13]を使う。

問21……………a~jの項目について、それぞれ「(次に)・・・はいかがですか。」と順に聞き、それぞれ「1あり」「2なし」を答えてもらう。「少しある」や「軽いがある」などはすべて「1ある」とする。
「k その他、健康上の悩み」については、a~j以外に対象者が自分から症状をあげた場合、「1」に○をし、その内容を()内に記入すること。

a~kのすべての質問に答えられない人のみ「9 わからない」に○をする。

問22……………この質問では、カードに「9 その他」、「10 相談できる人がいない」も載っている。「11 特に悩みはない」は自発的回答があった場合、○をする。

問23……………この質問は明らかに本人等が重い病気の場合は質問しないでもよい(問21での回答も参考となる)。

問27……………質問文中の文章が否定的になっているので、回答者が「そう思う」などといった場合、「」内の意見どおりに「人間らしさはへる」と思うのか、「人間らしさはへらない、かわらない」と思うのか、間違いやすいので注意する。

問28……………問27の質問構成に似ているが、カードは使用しない質問である。

問32……………質問文中の文章が否定文になっているので、回答者が「そう思う」などといった場合、「」内の意見どおりに「人の心の豊かさ(人間らしさ)はへらない」と思うのか、「人の心の豊かさ(人間らしさ)はへる」と思うのか、間違いやすいので注意する。

問34……………必ず項目を2つあげてもらうようにして、あげられた項目の「1」に○をする。あげられなかった項目については「2」に○をすること。

「8 その他」は原則として回答はありえない。

回答をまったく(2つとも)あげられない人にも「9 わからない」に○をすること。

- 問 41a～d…カードは選択肢のみの掲載であるため、a～dまで、質問文を1つずつ読み上げて、回答してもらう。
- 問 42、問 50……………問 42 は日本文化ときいて思い浮かぶことを、問 50 は一番大切だと思うものを答えてもらう。対象者の回答をできるだけそのまま具体的に記入する。例をあげたりして対象者を誘導しないように注意する。なお、「わからない」は「9」に○をする。
- 問 43 b……………対象者の回答がどれに分類してよいか分からない場合などは、「仏教系」「神道系」「キリスト教」かを聞き、回答に○をする。「仏教系」と「神道系」の両方を自発的に回答する場合は、できるだけ1つ答えてもらう。ただし、神仏混合系や、本当に2つに宗教に深く関与している場合は、その他の宗教（ ）に記入する。
- 問 54……………複数回答の質問であるが、調査票は選択肢ごとに「1 はい」「2 いいえ」に○をする形式となっている。「その他」の選択肢もカードに載っている。対象者から「どれにも入っていない」といわれた場合は、すべての「2」に○をする。

<フェースシート>

- F 2……………満年齢を記入後、該当する番号に○をする。
- F 4……………具体的な職業、職種を記入後、該当する番号に○をする。
詳細は〔職業分類表〕を参照。
- F 5……………世帯収入は、回答拒否の場合は「8」に○をする。
- F 6……………同居人数は、対象者本人も含めて答えてもらい、数字で記入する。
- F 7……………一緒に住んでいる人をすべて答えてもらう。一人暮らしの場合は「1 本人だけ」に○をする。F 6 の同居人数と矛盾がある場合は対象者に確認すること。

面接時間…面接調査でかかった時間を（分）単位で記入する。

以上

[職業分類表]

1) 対象者が自分で仕事をしているか、雇われて働いているかでまず分ける。

これは大きく分けて次の4つとする。

- I 自営業主 (自分で、または共同で事業を営んでいる人)
- II 家族従業者 (家族の誰かが営んでいる事業を手伝っている人。給料をもらっているかどうかは関係ない)
- III 雇 用 者 (雇われて働いている人)
- IV 無 職

2) この4つをさらに細かく分けて、次のように分類する。

I 自 営 業 主	農林漁業	農業、畜産業(養鶏業含む)、造園業(植木業含む)、林業、漁業(養殖業含む)。果樹園栽培や造林業のほか、伐り出して運んだり、山で狩猟する人も含む。
	商工・サービス業	小規模の商業、工業、サービス業、町工場、土木建築業、飲食店、各種の卸・小売店などを営むもしくは共同経営(規模は従業員30人前後をメドとし、それをこえた事務所の経営者は管理職とする。) 例) 八百屋、工務店、飲食店、質屋、保険代理店、貸事務所、アパート業、下宿屋、不動産屋、運送店、浴場、看板屋、大工棟梁、クリーニング店、美容院、運送店、パチンコ店、旅館、ホテルなどの経営者。 *大工などの親方の下で働いている職人は【雇用の労務職】 *店の構えはなくても自分で商売をやっている場合は、ここに該当する。
II 家 族 従 業 者	自由業	医学・法律・会計・宗教・芸能・教育などの分野の自営者。 例) [医] 開業医、助産師、接骨師、マッサージ師、鍼灸師など。 [法律] 弁護士、会計士、税理士、司法書士など。 [宗教] 牧師、僧侶、神官、宮司、僧侶、易者など。 [芸能] 画家、作曲家、楽団員、劇団員、作家、タレント、プロスポーツ選手、芸人など。 [教育] お花、お茶、舞踊、編物、そろばんなどの先生(経営者)、私立幼稚園、学校、塾などの経営者。 [その他] 通訳、翻訳家など *世間でいう自由業という答えをそのまま鵜呑みにしないこと。 *セールスマンなどが自由業に入ってしまう恐れがあるので、必ずよく聞いてから分類する。 *病院勤務の医師は【雇用の専門技術職】 *楽団員、劇団員などは自営ではないが、ここに該当する。
	農林漁業・商工サービス業・自由業	Iの自営業主の家族で、自分の家の仕事を継続的に手伝っている者。 ひまなときに少し手伝うとか、忙しいときだけ手伝うという者は含めない。 自由業の家族従業者は少ないと思われる。
III 雇 用 者	管理職	官公庁・大企業は課長以上、中小企業(300人未満)・団体は部長以上、重役、団体役員、あるいはこれと同等の立場にいる人。 例) 大学学部長、駅長、校長、船長、地方公共団体の三役(市町村長・助役・収入役)、議員、重役、収入のある団体役員理事など。 *官公庁の課長補佐、民間の部次長、学部長でない大学教授、助教授、教頭などは含めない。
	専門技術職	大学卒業以上の専門的知識を必要とする職種に従事している勤め人。 例) 病院勤務医師、大学教授・助教授(大学講師以上)、研究所研究員、裁判官、検察官、航空機の機長など。 *「技術です」と言われて簡単にここに入れないこと。 *工員の人は【雇用の労務職】
	事務職	事務的、技術的職種に従事している勤め人。 例) 事務系会社員、事務系公務員、システムエンジニア、新聞記者、営業社員、技術社員、事務機械の操作員(タイピスト・オペレーター)、新聞記者、看護師、栄養士、ケアマネージャー、学校(小・中・高)の教員、保育士、自衛官の尉官以上、事務系警察官など。
	労務職	肉体労働、単純労働、生産工程・販売・サービスに従事している勤め人。 例) 各種販売員、店員、大工(被用)、美容師(被用)、理髪師(被用)、配達員、家政師、介護士、職人、運転手、電話交換手、外勤警察官、守衛、保険外交員、車掌、ウエイトレス・ウエイター、工員、調理師、自衛隊の下士官以下など。
IV 無 職	主婦	主婦でほんの内職程度の仕事をしている場合は無職とする。
	学生	定時制学校に通うなどの勤労学生は勤め人とし、その「仕事」で分類する。
	その他	例) 失業者、老給(年金)生活者、生活保護、金利生活者、家事手伝い、無職の老人、予備校生など。 *アパート経営・下宿の大家は【自営業主の商工サービス業。】

3. 集計表

a. 単純集計表 (性別・年齢層別)

F1 [性別] (DO NOT ASK)

1. 男性

2. 女性

	1	2	Total%	N
Total	43.5	56.5	100	852
20-24	45.9	54.1	100	37
25-29	38.5	61.5	100	39
30-34	40.6	59.4	100	64
35-39	37.1	62.9	100	62
40-44	43.6	56.4	100	55
年齢 45-49	41.1	58.9	100	73
50-54	39.2	60.8	100	74
55-59	51.4	48.6	100	74
60-64	46.8	53.2	100	109
65-69	48.9	51.1	100	94
70 or Older	42.1	57.1	100	171

問 1 日本人全体の生活水準は、これから先の 5 年間によくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

1. 非常によくなるだろう
2. ややよくなるだろう
3. 変わらないだろう
4. ややわるくなるだろう
5. 非常にわるくなるだろう

8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	8	9	Total%	N
	Total	0.2	9.3	43.2	37.0	8.7	0.1	1.5	100	852
性別	男性	0.5	11.3	38.0	37.5	11.3	0.3	1.1	100	371
	女性	-	7.7	47.2	36.6	6.7	-	1.9	100	481
年齢	20-24	-	8.1	54.1	29.7	8.1	-	-	100	37
	25-29	-	10.3	48.7	38.5	-	-	2.6	100	39
	30-34	-	12.5	56.3	28.1	3.1	-	-	100	64
	35-39	-	8.1	50.0	37.1	4.8	-	-	100	62
	40-44	-	5.5	43.6	34.5	16.4	-	-	100	55
	45-49	1.4	13.7	35.6	39.7	9.6	-	-	100	73
	50-54	-	12.2	35.1	44.6	8.1	-	-	100	74
	55-59	-	4.1	33.8	51.4	9.5	-	1.4	100	74
	60-64	-	4.6	39.4	38.5	16.5	1.1	0.9	100	109
	65-69	-	6.4	42.6	36.2	11.7	-	2.1	100	94
	70 or Older	0.6	13.5	45.6	31.0	4.7	-	4.7	100	171

問2 今後、日本のために、一番に友好を深めていくべき国や地域は、次の中ではどこでしょう。
1つだけ選んでください。

1. アメリカ合衆国
2. EU (ヨーロッパ連合)
3. 中国 (本土)
4. 韓国
5. インド
6. シンガポール
7. オーストラリア
8. その他 (記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N
性別	Total	50.0	4.2	25.6	3.9	8.0	0.7	1.3	1.1	5.3	100	852
	男性	48.2	4.0	28.8	3.5	11.3	0.5	0.8	1.1	1.6	100	371
	女性	51.4	4.4	23.1	4.2	5.4	0.8	1.7	1.0	8.1	100	481
年齢	20-24	40.5	18.9	27.0	5.4	5.4	-	-	-	2.7	100	37
	25-29	38.5	10.3	20.5	5.1	17.9	2.6	2.6	-	2.6	100	39
	30-34	42.2	6.3	28.1	7.8	7.8	1.6	-	1.6	4.7	100	64
	35-39	51.6	3.2	25.8	6.5	4.8	1.6	-	-	6.5	100	62
	40-44	38.2	5.5	41.8	-	7.3	1.8	-	1.8	3.6	100	55
	45-49	43.8	5.5	30.1	4.1	12.3	1.4	1.4	-	1.4	100	73
	50-54	44.6	5.4	31.1	6.8	8.1	-	-	1.4	2.7	100	74
	55-59	59.5	4.1	23.0	1.4	5.4	-	2.7	-	4.1	100	74
	60-64	46.8	0.9	30.3	3.7	8.3	0.9	1.8	0.9	6.4	100	109
	65-69	56.4	1.1	19.1	3.2	8.5	-	1.1	3.2	7.4	100	94
70 or Older	60.2	1.8	17.5	2.3	6.4	-	2.3	1.2	8.2	100	171	

問 3 もし、もういちど生まれ変われるとしたら、日本以外の国や地域で、次の中ではどこに生まれたいですか。1つだけ選んでください。

1. 中国 (本土)
2. 韓国
3. 台湾
4. 香港
5. インド
6. シンガポール
7. オーストラリア

88. その他 (記入)

99. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	88	99	Total%	N
	Total	2.9	4.6	2.3	2.6	2.6	10.8	52.2	7.4	14.6	100	852
性別	男性	3.5	4.0	2.4	2.7	3.5	12.1	49.9	9.7	12.1	100	371
	女性	2.5	5.0	2.3	2.5	1.9	9.8	54.1	5.6	16.4	100	481
年齢	20-24	-	10.8	-	2.7	2.7	10.8	64.9	5.4	2.7	100	37
	25-29	-	-	2.6	-	5.1	23.1	61.5	-	7.7	100	39
	30-34	1.6	6.3	3.1	6.3	4.7	17.2	48.4	9.4	3.1	100	64
	35-39	-	12.9	1.6	1.6	-	12.9	61.3	3.2	6.5	100	62
	40-44	1.8	7.3	-	-	3.6	14.5	61.8	1.8	9.1	100	55
	45-49	2.7	5.5	-	2.7	4.1	8.2	67.1	2.7	6.8	100	73
	50-54	1.4	5.4	-	2.7	1.4	8.1	67.6	5.4	8.1	100	74
	55-59	2.7	-	2.7	4.1	1.4	13.5	60.8	8.1	6.8	100	74
	60-64	4.6	2.8	3.7	0.9	4.6	11.9	48.6	6.4	16.5	100	109
	65-69	5.3	2.1	2.1	2.1	1.1	8.5	38.3	18.1	22.3	100	94
	70 or Older	4.7	3.5	4.7	3.5	1.8	5.3	35.7	9.4	31.6	100	171

問 4 では、もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに生まれてきたいと思いますか。

1. 男に
2. 女に
8. その他（記入)
9. わからない

	1	2	8	9	Total%	N	
Total	50.7	45.2	0.9	3.2	100	852	
性別	男性	89.2	6.7	0.8	3.2	100	371
	女性	21.0	74.8	1.0	3.1	100	481
年齢	20-24	43.2	51.4	-	5.4	100	37
	25-29	43.6	51.3	-	5.1	100	39
	30-34	50.0	50.0	-	-	100	64
	35-39	46.8	53.2	-	-	100	62
	40-44	60.0	38.2	1.8	-	100	55
	45-49	52.1	45.2	1.4	1.4	100	73
	50-54	44.6	48.6	1.4	5.4	100	74
	55-59	51.4	45.9	2.7	-	100	74
	60-64	54.1	41.3	1.8	2.8	100	109
	65-69	54.3	39.4	-	6.4	100	94
70 or Older	50.3	43.9	0.6	5.3	100	171	

問 5 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

1. 普通より尊ぶ方
2. 普通より尊ばない方
3. 普通
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	54.2	11.2	33.6	0.1	0.9	100	852
性別	男性	53.4	14.3	30.7	0.3	1.3	100	371
	女性	54.9	8.7	35.8	-	0.6	100	481
年齢	20-24	37.8	16.2	37.8	-	8.1	100	37
	25-29	46.2	15.4	35.9	-	2.6	100	39
	30-34	37.5	20.3	42.2	-	-	100	64
	35-39	50.0	14.5	35.5	-	-	100	62
	40-44	38.2	9.1	50.9	-	1.8	100	55
	45-49	43.8	20.5	35.6	-	-	100	73
	50-54	48.6	13.5	36.5	-	1.4	100	74
	55-59	58.1	8.1	33.8	-	-	100	74
	60-64	56.9	9.2	33.0	-	0.9	100	109
	65-69	71.3	4.3	23.4	1.1	-	100	94
	70 or Older	66.7	6.4	26.3	-	0.6	100	171

問 6 子供がないときは、血のつながりがない他人の子供を、養子にとって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

1. つがせた方がよい
2. つがせる必要はない
3. 場合による
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	19.4	54.2	21.2	0.2	4.9	100	852
性別	男性	24.5	50.1	20.2	-	5.1	100	371
	女性	15.4	57.4	22.0	0.4	4.8	100	481
年齢	20-24	18.9	59.5	16.2	-	5.4	100	37
	25-29	7.7	48.7	38.5	-	5.1	100	39
	30-34	20.3	50.0	29.7	-	-	100	64
	35-39	24.2	48.4	22.6	1.6	3.2	100	62
	40-44	14.5	58.2	25.5	-	1.8	100	55
	45-49	20.5	54.8	20.5	-	4.1	100	73
	50-54	16.2	60.8	20.3	1.4	1.4	100	74
	55-59	13.5	63.5	23.0	-	-	100	74
	60-64	19.3	61.5	11.0	-	8.3	100	109
	65-69	21.3	51.1	20.2	-	7.4	100	94
	70 or Older	24.0	46.8	20.5	-	8.8	100	171

問7 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。

人

99
わからない

	0	1	2	3	4	5	6	99	Total%	N	
Total	0.2	1.1	41.8	50.7	1.9	0.7	0.1	3.5	100	852	
性別	男性	-	1.9	45.8	46.9	1.6	0.3	0.3	3.2	100	371
	女性	0.4	0.4	38.7	53.6	2.1	1.0	-	3.7	100	481
年齢	20-24	-	-	45.9	45.9	2.7	-	-	5.4	100	37
	25-29	-	5.1	61.5	28.2	-	-	-	5.1	100	39
	30-34	-	-	62.5	34.4	-	-	-	3.1	100	64
	35-39	-	-	54.8	40.3	1.6	-	-	3.2	100	62
	40-44	-	3.6	49.1	41.8	-	-	-	5.5	100	55
	45-49	-	4.1	56.2	35.6	-	-	-	4.1	100	73
	50-54	-	-	44.6	52.7	-	-	-	2.7	100	74
	55-59	-	-	33.8	54.1	6.8	1.4	-	4.1	100	74
	60-64	-	1.8	34.9	54.1	4.6	1.8	-	2.8	100	109
	65-69	-	-	31.9	61.7	2.1	1.1	-	3.2	100	94
	70 or Older	1.2	-	27.5	65.5	1.2	1.2	0.6	2.9	100	171

問 8 一般に、人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、次にあるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。(1つ選択)

1. 過ちをおかさず、まじめに生きること
2. ボランティア活動などをして、社会のためにつくすこと
3. 一生けんめい働き、金持ちになること
4. まじめに勉強して、名をあげること
5. 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする事
6. その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	8	9	Total%	N
	Total	48.2	11.2	4.1	1.4	20.9	13.6	0.1	0.5	100	852
性別	男性	44.5	10.8	7.0	1.9	23.7	11.3	-	0.8	100	371
	女性	51.1	11.4	1.9	1.0	18.7	15.4	0.2	0.2	100	481
年齢	20-24	32.4	5.4	8.1	2.7	32.4	18.9	-	-	100	37
	25-29	41.0	10.3	5.1	-	30.8	12.8	-	-	100	39
	30-34	46.9	7.8	1.6	4.7	28.1	10.9	-	-	100	64
	35-39	50.0	1.6	6.5	1.6	19.4	19.4	1.6	-	100	62
	40-44	61.8	10.9	-	1.8	16.4	5.5	-	3.6	100	55
	45-49	52.1	9.6	4.1	1.4	17.8	15.1	-	-	100	73
	50-54	54.1	8.1	5.4	-	24.3	8.1	-	-	100	74
	55-59	45.9	10.8	6.8	1.4	21.6	13.5	-	-	100	74
	60-64	46.8	16.5	3.7	1.8	19.3	11.9	-	-	100	109
	65-69	50.0	11.7	4.3	1.1	18.1	13.8	-	1.1	100	94
	70 or Older	45.6	15.8	2.9	0.6	17.5	17.0	-	0.6	100	171

問9 あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

a 先祖を尊ぶべき

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	45.7	46.2	5.6	1.5	-	0.9	100	852
性別	男性	44.2	46.6	7.0	1.3	-	0.8	100	371
	女性	46.8	45.9	4.6	1.7	-	1.0	100	481
年齢	20-24	24.3	54.1	18.9	-	-	2.7	100	37
	25-29	30.8	59.0	2.6	5.1	-	2.6	100	39
	30-34	29.7	59.4	4.7	6.3	-	-	100	64
	35-39	50.0	41.9	6.5	1.6	-	-	100	62
	40-44	30.9	60.0	9.1	-	-	-	100	55
	45-49	32.9	56.2	9.6	1.4	-	-	100	73
	50-54	40.5	56.8	1.4	-	-	1.4	100	74
	55-59	54.1	41.9	4.1	-	-	-	100	74
	60-64	43.1	48.6	2.8	3.7	-	1.8	100	109
	65-69	57.4	36.2	5.3	-	-	1.1	100	94
	70 or Older	62.0	31.0	5.3	0.6	-	1.2	100	171

問9 あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

b 長男は両親の面倒を見るべき

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total %	N
Total		10.9	25.7	46.8	15.6	-	0.9	100	852
性別	男性	14.3	31.8	41.2	12.1	-	0.5	100	371
	女性	8.3	21.0	51.1	18.3	-	1.2	100	481
年齢	20-24	8.1	29.7	56.8	5.4	-	-	100	37
	25-29	5.1	51.3	25.6	15.4	-	2.6	100	39
	30-34	9.4	20.3	42.2	28.1	-	-	100	64
	35-39	12.9	35.5	35.5	16.1	-	-	100	62
	40-44	5.5	18.2	60.0	16.4	-	-	100	55
	45-49	5.5	23.3	49.3	21.9	-	-	100	73
	50-54	10.8	23.0	47.3	18.9	-	-	100	74
	55-59	6.8	18.9	55.4	18.9	-	-	100	74
	60-64	3.7	23.9	55.0	15.6	-	1.8	100	109
	65-69	12.8	16.0	55.3	13.8	-	2.1	100	94
70 or Older	22.2	31.6	36.3	8.2	-	1.8	100	171	

問9 あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

c 妻は夫に従う

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない
8. その他(記入)
9. わからない

	1	2	3	4	8	9	Total%	N	
Total	8.0	26.1	46.8	18.0	-	1.2	100	852	
性別	男性	6.2	27.2	49.9	15.9	-	0.8	100	371
	女性	9.4	25.2	44.5	19.5	-	1.5	100	481
年齢	20-24	-	13.5	59.5	27.0	-	-	100	37
	25-29	-	20.5	59.0	17.9	-	2.6	100	39
	30-34	-	15.6	59.4	25.0	-	-	100	64
	35-39	8.1	24.2	40.3	27.4	-	-	100	62
	40-44	5.5	14.5	56.4	23.6	-	-	100	55
	45-49	-	26.0	45.2	28.8	-	-	100	73
	50-54	1.4	28.4	55.4	14.9	-	-	100	74
	55-59	9.5	23.0	47.3	20.3	-	-	100	74
	60-64	6.4	26.6	48.6	15.6	-	2.8	100	109
	65-69	11.7	23.4	48.9	13.8	-	2.1	100	94
70 or Older	19.9	39.8	30.4	7.6	-	2.3	100	171	

問9 あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

d 親が反対する結婚はしない

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	6.1	21.4	54.1	16.9	0.2	1.3	100	852
性別	男性	5.1	18.1	56.9	18.3	0.3	1.3	100	371
	女性	6.9	23.9	52.0	15.8	0.2	1.2	100	481
年齢	20-24	5.4	18.9	54.1	21.6	-	-	100	37
	25-29	-	20.5	66.7	12.8	-	-	100	39
	30-34	3.1	17.2	54.7	25.0	-	-	100	64
	35-39	9.7	19.4	51.6	19.4	-	-	100	62
	40-44	-	18.2	63.6	18.2	-	-	100	55
	45-49	1.4	23.3	52.1	23.3	-	-	100	73
	50-54	5.4	13.5	64.9	16.2	-	-	100	74
	55-59	4.1	17.6	63.5	12.2	-	2.7	100	74
	60-64	4.6	20.2	51.4	21.1	0.9	1.8	100	109
	65-69	5.3	21.3	57.4	13.8	-	2.1	100	94
	70 or Older	14.0	30.4	40.9	11.1	0.6	2.9	100	171

問9 あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

e 年上の人の意見に従う

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	10.4	45.7	34.9	7.7	0.5	0.8	100	852
性別	男性	9.4	45.3	37.5	7.3	0.5	-	100	371
	女性	11.2	45.9	32.8	8.1	0.4	1.5	100	481
年齢	20-24	2.7	59.5	29.7	8.1	-	-	100	37
	25-29	7.7	53.8	30.8	7.7	-	-	100	39
	30-34	7.8	43.8	43.8	4.7	-	-	100	64
	35-39	9.7	58.1	25.8	6.5	-	-	100	62
	40-44	5.5	41.8	43.6	7.3	1.8	-	100	55
	45-49	6.8	37.0	43.8	12.3	-	-	100	73
	50-54	9.5	43.2	33.8	10.8	1.4	1.4	100	74
	55-59	6.8	40.5	41.9	9.5	1.4	-	100	74
	60-64	7.3	42.2	35.8	13.8	-	0.9	100	109
	65-69	8.5	52.1	33.0	6.4	-	-	100	94
	70 or Older	22.2	43.9	28.1	2.3	0.6	2.9	100	171

問9 あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

f 家系を続かせるため息子は必要だ

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	8.6	24.1	47.9	18.7	0.2	0.6	100	852
性別	男性	11.3	31.0	41.5	15.9	0.3	-	100	371
	女性	6.4	18.7	52.8	20.8	0.2	1.0	100	481
年齢	20-24	-	35.1	45.9	18.9	-	-	100	37
	25-29	2.6	25.6	51.3	20.5	-	-	100	39
	30-34	7.8	17.2	46.9	28.1	-	-	100	64
	35-39	4.8	25.8	51.6	17.7	-	-	100	62
	40-44	1.8	23.6	49.1	23.6	1.8	-	100	55
	45-49	4.1	17.8	43.8	34.2	-	-	100	73
	50-54	9.5	18.9	51.4	20.3	-	-	100	74
	55-59	6.8	18.9	52.7	21.6	-	-	100	74
	60-64	2.8	26.6	51.4	17.4	-	1.8	100	109
	65-69	10.6	30.9	51.1	6.4	-	1.1	100	94
	70 or Older	20.5	25.1	40.4	12.3	0.6	1.2	100	171

問9 あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

g 男性は外で働き、女性は家庭を守るべき

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
性別	Total	6.2	18.1	50.2	24.1	0.4	1.1	100	852
	男性	7.3	21.8	48.5	21.6	-	0.8	100	371
	女性	5.4	15.2	51.6	26.0	0.6	1.2	100	481
年齢	20-24	2.7	13.5	48.6	35.1	-	-	100	37
	25-29	-	12.8	53.8	33.3	-	-	100	39
	30-34	1.6	10.9	46.9	40.6	-	-	100	64
	35-39	9.7	19.4	50.0	21.0	-	-	100	62
	40-44	-	18.2	49.1	32.7	-	-	100	55
	45-49	1.4	8.2	54.8	34.2	1.4	-	100	73
	50-54	1.4	14.9	55.4	27.0	1.4	-	100	74
	55-59	5.4	18.9	43.2	32.4	-	-	100	74
	60-64	4.6	17.4	56.0	20.2	-	1.8	100	109
	65-69	5.3	27.7	55.3	9.6	-	2.1	100	94
70 or Older	17.0	22.8	43.9	12.9	0.6	2.9	100	171	

問 11 実際に今、働いているかどうかは別にして、もしあなたが働いているとした時、あなたの職場では良きリーダーはどんな資質を持っているべきでしょうか。最も重要なものを3つ、次の中から選んでください。(3つ選択)

1. 技術的に優れていること
2. 部下を公平に扱うこと
3. 部下に尊敬され、好かれていること
4. 真剣に仕事に取り組むこと
5. 人間関係がよい、顔が広いこと
6. 仕事仲間に誠心誠意、接すること
7. 決断力がある、断固としていること
8. 判断力が優れていること
9. 部下に利益をもたらすこと
10. 年功を積んでいること
11. よい階級の出身であること
88. その他(記入)
99. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	88	99	N
	Total	24.4	45.4	36.2	45.9	14.7	38.5	28.9	47.3	7.0	2.2	0.2	0.6	1.3	852
性別	男性	27.0	44.7	34.8	41.2	17.3	29.9	36.9	49.1	9.7	2.7	0.3	1.1	0.3	371
	女性	22.5	45.9	37.2	49.5	12.7	45.1	22.7	45.9	5.0	1.9	0.2	0.2	2.1	481
年齢	20-24	37.8	37.8	37.8	35.1	24.3	43.2	32.4	45.9	5.4	-	-	-	-	37
	25-29	25.6	30.8	53.8	28.2	15.4	56.4	20.5	51.3	7.7	-	-	-	-	39
	30-34	29.7	37.5	39.1	46.9	15.6	32.8	26.6	60.9	10.9	-	-	-	-	64
	35-39	12.9	33.9	40.3	41.9	11.3	41.9	35.5	67.7	6.5	-	-	-	1.6	62
	40-44	23.6	38.2	27.3	56.4	10.9	43.6	32.7	58.2	7.3	-	-	-	-	55
	45-49	21.9	34.2	30.1	52.1	11.0	47.9	31.5	58.9	11.0	-	-	-	-	73
	50-54	24.3	51.4	29.7	58.1	9.5	29.7	27.0	56.8	5.4	-	-	-	1.4	74
	55-59	25.7	51.4	37.8	43.2	12.2	35.1	37.8	37.8	9.5	-	1.4	1.4	-	74
	60-64	25.7	48.6	33.0	46.8	16.5	38.5	37.6	41.3	5.5	1.8	-	-	0.9	109
	65-69	26.6	51.1	37.2	46.8	16.0	38.3	22.3	40.4	4.3	5.3	1.1	3.2	1.1	94
	70 or Older	22.2	54.4	38.0	42.1	17.5	33.9	21.1	33.3	6.4	7.0	-	0.6	4.1	171

問 12. あなたと同じ年齢の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

1. 非常に満足している
2. 満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	17.0	58.8	18.5	5.5	-	0.1	100	852
性別	男性	15.6	58.2	21.6	4.3	-	0.3	100	371
	女性	18.1	59.3	16.2	6.4	-	-	100	481
年齢	20-24	35.1	54.1	8.1	2.7	-	-	100	37
	25-29	28.2	56.4	12.8	2.6	-	-	100	39
	30-34	25.0	64.1	10.9	-	-	-	100	64
	35-39	12.9	67.7	17.7	1.6	-	-	100	62
	40-44	21.8	52.7	18.2	5.5	-	1.8	100	55
	45-49	16.4	60.3	20.5	2.7	-	-	100	73
	50-54	9.5	60.8	21.6	8.1	-	-	100	74
	55-59	6.8	62.2	24.3	6.8	-	-	100	74
	60-64	14.7	59.6	23.9	1.8	-	-	100	109
	65-69	9.6	58.5	18.1	13.8	-	-	100	94
	70 or Older	21.1	53.8	17.5	7.6	-	-	100	171

問 13 かりに現在の日本社会全体を、ここに書いてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

1. 上
2. 中の上
3. 中の中
4. 中の下
5. 下

8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	8	9	Total%	N
	Total	0.1	10.9	57.4	24.9	5.9	-	0.8	100	852
性別	男性	0.3	12.7	49.9	29.6	6.7	-	0.8	100	371
	女性	-	9.6	63.2	21.2	5.2	-	0.8	100	481
年齢	20-24	-	16.2	43.2	29.7	5.4	-	5.4	100	37
	25-29	-	15.4	59.0	23.1	2.6	-	-	100	39
	30-34	-	14.1	57.8	28.1	-	-	-	100	64
	35-39	-	14.5	71.0	11.3	3.2	-	-	100	62
	40-44	-	12.7	58.2	21.8	5.5	-	1.8	100	55
	45-49	-	13.7	46.6	35.6	2.7	-	1.4	100	73
	50-54	-	8.1	64.9	20.3	6.8	-	-	100	74
	55-59	-	9.5	55.4	31.1	4.1	-	-	100	74
	60-64	0.9	6.4	54.1	30.3	7.3	-	0.9	100	109
	65-69	-	7.4	55.3	25.5	11.7	-	-	100	94
	70 or Older	-	11.1	60.2	19.9	7.6	-	1.2	100	171

問 14 あなたは次のうちどちらが好ましいと思いますか。

1. 収入が増えること
2. 余暇（自由な時間）が増えること
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	55.8	39.6	2.0	2.7	100	852
性別	男性	52.6	42.9	2.2	2.4	100	371
	女性	58.2	37.0	1.9	2.9	100	481
年齢	20-24	56.8	43.2	-	-	100	37
	25-29	56.4	43.6	-	-	100	39
	30-34	65.6	32.8	1.6	-	100	64
	35-39	51.6	46.8	1.6	-	100	62
	40-44	58.2	38.2	3.6	-	100	55
	45-49	58.9	37.0	1.4	2.7	100	73
	50-54	63.5	33.8	2.7	-	100	74
	55-59	55.4	37.8	2.7	4.1	100	74
	60-64	54.1	42.2	0.9	2.8	100	109
	65-69	53.2	39.4	2.1	5.3	100	94
	70 or Older	50.3	40.9	2.9	5.8	100	171

問 15 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

1. ずっと働く
2. 働くのをやめる
8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	62.8	31.1	1.3	4.8	100	852
性別	男性	66.0	28.3	0.8	4.9	100	371
	女性	60.3	33.3	1.7	4.8	100	481
年齢	20-24	70.3	29.7	-	-	100	37
	25-29	82.1	15.4	-	2.6	100	39
	30-34	73.4	23.4	-	3.1	100	64
	35-39	59.7	33.9	1.6	4.8	100	62
	40-44	85.5	12.7	-	1.8	100	55
	45-49	68.5	27.4	2.7	1.4	100	73
	50-54	59.5	29.7	1.4	9.5	100	74
	55-59	54.1	41.9	1.4	2.7	100	74
	60-64	57.8	33.0	1.8	7.3	100	109
	65-69	57.4	35.1	1.1	6.4	100	94
	70 or Older	55.6	36.8	1.8	5.8	100	171

問 16 ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。あなたは、どれに一番関心がありますか。(1つ選択)

1. お金のことを気にしないですむ程、よい給料
2. 倒産や失業の恐れがない仕事
3. 気の合った人たちと働くこと
4. やりとげたという感じもてる仕事
8. その他 (記入)
9. わからない

	1	2	3	4	8	9	Total%	N	
Total	16.0	19.4	24.4	38.6	0.4	1.3	100	852	
性別	男性	17.5	17.0	20.8	43.4	0.5	0.8	100	371
	女性	14.8	21.2	27.2	34.9	0.2	1.7	100	481
年齢	20-24	8.1	24.3	35.1	32.4	-	-	100	37
	25-29	17.9	33.3	23.1	25.6	-	-	100	39
	30-34	26.6	17.2	21.9	32.8	-	1.6	100	64
	35-39	17.7	12.9	32.3	37.1	-	-	100	62
	40-44	10.9	23.6	16.4	49.1	-	-	100	55
	45-49	17.8	19.2	19.2	43.8	-	-	100	73
	50-54	21.6	16.2	23.0	39.2	-	-	100	74
	55-59	16.2	18.9	20.3	43.2	1.4	-	100	74
	60-64	11.0	17.4	19.3	49.5	-	2.8	100	109
	65-69	14.9	20.2	26.6	35.1	1.1	2.1	100	94
70 or Older	14.6	19.3	29.8	32.7	0.6	2.9	100	171	

問 17 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることもあるかもしれません。あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

a まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか

1. 非常に感じる
2. かなり感じる
3. 少しは感じる
4. 全く感じない
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	21.2	24.4	43.7	10.3	0.1	0.2	100	852
性別	男性	19.4	23.5	46.6	10.2	-	0.3	100	371
	女性	22.7	25.2	41.4	10.4	0.2	0.2	100	481
年齢	20-24	16.2	24.3	37.8	21.6	-	-	100	37
	25-29	33.3	20.5	30.8	15.4	-	-	100	39
	30-34	10.9	26.6	53.1	9.4	-	-	100	64
	35-39	17.7	16.1	56.5	9.7	-	-	100	62
	40-44	16.4	23.6	49.1	10.9	-	-	100	55
	45-49	16.4	23.3	49.3	11.0	-	-	100	73
	50-54	18.9	35.1	41.9	4.1	-	-	100	74
	55-59	16.2	25.7	54.1	4.1	-	-	100	74
	60-64	21.1	20.2	48.6	9.2	-	0.9	100	109
	65-69	23.4	30.9	39.4	6.4	-	-	100	94
	70 or Older	30.4	22.2	31.0	15.2	0.6	0.6	100	171

問 17 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることもあるかもしれません。あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

b では、「交通事故」についてはどうでしょうか

1. 非常に感じる
2. かなり感じる
3. 少しは感じる
4. 全く感じない

8. その他（記入）

9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	21.6	25.5	44.2	8.5	-	0.2	100	852
性別	男性	19.4	27.5	44.5	8.6	-	-	100	371
	女性	23.3	23.9	44.1	8.3	-	0.4	100	481
年齢	20-24	24.3	18.9	40.5	16.2	-	-	100	37
	25-29	25.6	30.8	35.9	7.7	-	-	100	39
	30-34	20.3	23.4	50.0	6.3	-	-	100	64
	35-39	21.0	12.9	54.8	11.3	-	-	100	62
	40-44	10.9	30.9	49.1	9.1	-	-	100	55
	45-49	16.4	26.0	50.7	6.8	-	-	100	73
	50-54	16.2	32.4	48.6	2.7	-	-	100	74
	55-59	12.2	35.1	48.6	4.1	-	-	100	74
	60-64	25.7	19.3	46.8	7.3	-	0.9	100	109
	65-69	24.5	22.3	46.8	6.4	-	-	100	94
70 or Older	28.7	27.5	29.8	13.5	-	0.6	100	171	

問 17 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることもあるかもしれません。あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

c では、「失業」についてはどうでしょうか

1. 非常に感じる
2. かなり感じる
3. 少しは感じる
4. 全く感じない

8. その他（記入）

9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	14.7	18.9	36.6	27.9	0.1	1.8	100	852
性別	男性	12.4	18.1	37.5	29.6	-	2.4	100	371
	女性	16.4	19.5	36.0	26.6	0.2	1.2	100	481
年齢	20-24	13.5	27.0	32.4	27.0	-	-	100	37
	25-29	17.9	23.1	35.9	23.1	-	-	100	39
	30-34	10.9	18.8	57.8	12.5	-	-	100	64
	35-39	16.1	14.5	40.3	29.0	-	-	100	62
	40-44	16.4	23.6	43.6	16.4	-	-	100	55
	45-49	13.7	15.1	52.1	19.2	-	-	100	73
	50-54	9.5	29.7	48.6	12.2	-	-	100	74
	55-59	9.5	23.0	47.3	18.9	-	1.4	100	74
	60-64	16.5	18.3	32.1	30.3	-	2.8	100	109
	65-69	13.8	20.2	28.7	34.0	-	3.2	100	94
	70 or Older	18.7	11.1	17.0	48.0	0.6	4.7	100	171

問 17 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることもあるかもしれません。あなたは、次のような危険について不安を感じることがありますか。

d では、「戦争」についてはどうでしょうか

1. 非常に感じる
2. かなり感じる
3. 少しは感じる
4. 全く感じない

8. その他（記入）

9. わからない

	1	2	3	4	8	9	Total%	N	
Total	21.4	20.5	39.2	18.7	-	0.2	100	852	
性別	男性	19.1	20.2	39.4	21.0	-	0.3	100	371
	女性	23.1	20.8	39.1	16.8	-	0.2	100	481
年齢	20-24	16.2	21.6	29.7	32.4	-	-	100	37
	25-29	12.8	20.5	41.0	25.6	-	-	100	39
	30-34	9.4	20.3	45.3	25.0	-	-	100	64
	35-39	16.1	19.4	43.5	21.0	-	-	100	62
	40-44	21.8	16.4	49.1	12.7	-	-	100	55
	45-49	8.2	16.4	54.8	20.5	-	-	100	73
	50-54	9.5	23.0	48.6	18.9	-	-	100	74
	55-59	20.3	23.0	41.9	14.9	-	-	100	74
	60-64	22.0	23.9	36.7	16.5	-	0.9	100	109
	65-69	34.0	21.3	25.5	19.1	-	-	100	94
70 or Older	34.5	19.3	31.0	14.6	-	0.6	100	171	

問 18 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。

a まず、「あなた自身の家族や子供」についてはどうですか。

1. 重要でない
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
7. 重要
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N
	Total	0.7	0.7	0.8	5.0	6.0	10.1	75.9	-	0.7	100	852
性別	男性	1.1	0.8	1.1	5.4	8.4	12.9	70.1	-	0.3	100	371
	女性	0.4	0.6	0.6	4.8	4.2	7.9	80.5	-	1.0	100	481
年齢	20-24	-	-	-	5.4	8.1	18.9	62.2	-	5.4	100	37
	25-29	2.6	-	-	7.7	5.1	7.7	76.9	-	-	100	39
	30-34	-	-	1.6	6.3	1.6	14.1	76.6	-	-	100	64
	35-39	-	1.6	-	3.2	3.2	6.5	85.5	-	-	100	62
	40-44	-	-	-	1.8	5.5	7.3	83.6	-	1.8	100	55
	45-49	-	1.4	-	5.5	4.1	8.2	80.8	-	-	100	73
	50-54	-	1.4	-	4.1	5.4	10.8	78.4	-	-	100	74
	55-59	-	-	1.4	1.4	2.7	8.1	86.5	-	-	100	74
	60-64	1.8	-	-	5.5	8.3	11.0	72.5	-	0.9	100	109
	65-69	2.1	1.1	1.1	4.3	9.6	8.5	72.3	-	1.1	100	94
70 or Older	0.6	1.2	2.3	7.6	7.6	11.1	69.0	-	0.6	100	171	

問 18 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評
価をつけてください。

b.では、「職業や仕事」についてはどうですか。

1. 重要でない
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
7. 重要
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N
性別	Total	4.1	1.9	2.2	12.7	19.2	20.9	35.9	-	3.1	100	852
	男性	3.2	1.6	2.4	10.2	19.7	22.9	37.7	-	2.2	100	371
	女性	4.8	2.1	2.1	14.6	18.9	19.3	34.5	-	3.7	100	481
年齢	20-24	-	-	2.7	5.4	27.0	27.0	35.1	-	2.7	100	37
	25-29	-	2.6	-	5.1	33.3	20.5	38.5	-	-	100	39
	30-34	1.6	-	-	17.2	28.1	31.3	20.3	-	1.6	100	64
	35-39	1.6	-	-	25.8	24.2	16.1	32.3	-	-	100	62
	40-44	1.8	-	1.8	10.9	23.6	18.2	43.6	-	-	100	55
	45-49	-	4.1	1.4	15.1	24.7	16.4	37.0	-	1.4	100	73
	50-54	1.4	-	1.4	6.8	20.3	33.8	35.1	-	1.4	100	74
	55-59	4.1	-	1.4	12.2	16.2	28.4	36.5	-	1.4	100	74
	60-64	3.7	2.8	-	14.7	14.7	17.4	44.0	-	2.8	100	109
	65-69	7.4	5.3	6.4	7.4	19.1	11.7	36.2	-	6.4	100	94
	70 or Older	9.9	2.3	4.7	13.5	9.4	18.7	34.5	-	7.0	100	171

問 18 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。

c.では、「自由になる時間とくつろぎ」についてはどうですか。

1. 重要でない
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
7. 重要
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N
性別	Total	0.6	1.4	4.9	20.5	26.2	18.7	27.0	-	0.7	100	852
	男性	0.8	1.9	6.7	19.1	28.3	17.8	25.1	-	0.3	100	371
	女性	0.4	1.0	3.5	21.6	24.5	19.3	28.5	-	1.0	100	481
年齢	20-24	-	2.7	5.4	8.1	29.7	21.6	32.4	-	-	100	37
	25-29	2.6	-	7.7	10.3	23.1	23.1	33.3	-	-	100	39
	30-34	-	-	3.1	21.9	34.4	17.2	23.4	-	-	100	64
	35-39	-	-	3.2	14.5	35.5	17.7	29.0	-	-	100	62
	40-44	-	-	3.6	27.3	20.0	16.4	30.9	-	1.8	100	55
	45-49	-	-	5.5	26.0	24.7	20.5	23.3	-	-	100	73
	50-54	-	1.4	6.8	14.9	37.8	21.6	17.6	-	-	100	74
	55-59	1.4	-	2.7	21.6	32.4	14.9	27.0	-	-	100	74
	60-64	-	1.8	1.8	21.1	21.1	22.0	31.2	-	0.9	100	109
	65-69	-	2.1	5.3	24.5	18.1	20.2	28.7	-	1.1	100	94
70 or Older	1.8	3.5	7.6	22.2	22.2	15.2	25.7	-	1.8	100	171	

問 18 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。

d.では、「友人、知人」については

1. 重要でない
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
7. 重要
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N
性別	Total	0.2	0.2	3.8	15.0	22.7	22.5	35.3	-	0.2	100	852
	男性	0.3	0.5	4.6	15.4	24.3	22.4	32.6	-	-	100	371
	女性	0.2	-	3.1	14.8	21.4	22.7	37.4	-	0.4	100	481
年齢	20-24	-	-	5.4	10.8	13.5	18.9	51.4	-	-	100	37
	25-29	2.6	-	-	12.8	15.4	28.2	41.0	-	-	100	39
	30-34	-	-	4.7	17.2	21.9	31.3	25.0	-	-	100	64
	35-39	-	-	3.2	16.1	27.4	14.5	38.7	-	-	100	62
	40-44	-	1.8	1.8	16.4	16.4	21.8	41.8	-	-	100	55
	45-49	-	-	5.5	27.4	30.1	13.7	23.3	-	-	100	73
	50-54	-	-	5.4	13.5	28.4	27.0	25.7	-	-	100	74
	55-59	-	-	5.4	6.8	29.7	27.0	31.1	-	-	100	74
	60-64	-	-	-	11.9	22.9	26.6	37.6	-	0.9	100	109
	65-69	-	-	3.2	13.8	21.3	19.1	42.6	-	-	100	94
70 or Older	0.6	0.6	5.3	16.4	18.7	21.1	36.8	-	0.6	100	171	

問 18 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。

e.では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については

1. 重要でない
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
7. 重要
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N
性別	Total	0.5	0.5	2.3	8.2	13.7	21.4	53.1	-	0.4	100	852
	男性	0.5	0.5	3.2	8.1	18.9	22.6	46.1	-	-	100	371
	女性	0.4	0.4	1.7	8.3	9.8	20.4	58.4	-	0.6	100	481
年齢	20-24	-	2.7	2.7	2.7	10.8	16.2	64.9	-	-	100	37
	25-29	2.6	-	-	5.1	7.7	20.5	64.1	-	-	100	39
	30-34	-	1.6	1.6	10.9	10.9	25.0	50.0	-	-	100	64
	35-39	-	-	1.6	4.8	21.0	17.7	54.8	-	-	100	62
	40-44	-	1.8	-	7.3	9.1	18.2	63.6	-	-	100	55
	45-49	-	-	6.8	5.5	15.1	32.9	39.7	-	-	100	73
	50-54	-	-	-	9.5	8.1	31.1	51.4	-	-	100	74
	55-59	1.4	-	-	4.1	17.6	14.9	62.2	-	-	100	74
	60-64	0.9	-	0.9	11.9	17.4	20.2	47.7	-	0.9	100	109
	65-69	-	-	-	10.6	11.7	21.3	55.3	-	1.1	100	94
70 or Older	0.6	0.6	6.4	9.4	14.6	18.1	49.7	-	0.6	100	171	

問 18 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評
 価をつけてください。

f.では、「宗教については」

1. 重要でない
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
7. 重要
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N
性別	Total	28.2	15.3	13.1	21.9	7.2	4.5	8.9	-	0.9	100	852
	男性	30.2	14.6	14.8	23.7	6.5	3.8	5.9	-	0.5	100	371
	女性	26.6	15.8	11.9	20.6	7.7	5.0	11.2	-	1.2	100	481
年齢	20-24	48.6	18.9	8.1	18.9	2.7	-	2.7	-	-	100	37
	25-29	38.5	23.1	10.3	20.5	7.7	-	-	-	-	100	39
	30-34	34.4	28.1	14.1	15.6	4.7	-	3.1	-	-	100	64
	35-39	38.7	17.7	19.4	21.0	-	-	3.2	-	-	100	62
	40-44	38.2	20.0	14.5	14.5	-	7.3	5.5	-	-	100	55
	45-49	31.5	9.6	9.6	31.5	9.6	1.4	5.5	-	1.4	100	73
	50-54	20.3	17.6	17.6	23.0	8.1	6.8	6.8	-	-	100	74
	55-59	18.9	12.2	16.2	32.4	8.1	2.7	9.5	-	-	100	74
	60-64	30.3	11.0	14.7	21.1	9.2	2.8	9.2	-	1.8	100	109
	65-69	23.4	14.9	12.8	20.2	10.6	7.4	7.4	-	3.2	100	94
70 or Older	19.3	11.1	9.4	20.5	8.8	9.4	20.5	-	1.2	100	171	

問 18 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。

g.では、「政治」については

1. 重要でない
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
7. 重要
8. その他（記入)
9. わからない

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Total%	N	
Total	5.3	5.9	10.1	23.2	20.2	12.3	22.1	-	0.9	100	852	
性別	男性	5.4	4.9	10.8	21.6	21.3	13.2	22.6	-	0.3	100	371
	女性	5.2	6.7	9.6	24.5	19.3	11.6	21.6	-	1.5	100	481
年齢	20-24	8.1	8.1	13.5	18.9	32.4	16.2	2.7	-	-	100	37
	25-29	10.3	2.6	7.7	28.2	41.0	10.3	-	-	-	100	39
	30-34	4.7	10.9	15.6	26.6	31.3	4.7	6.3	-	-	100	64
	35-39	8.1	8.1	6.5	33.9	21.0	11.3	11.3	-	-	100	62
	40-44	5.5	3.6	5.5	23.6	27.3	10.9	23.6	-	-	100	55
	45-49	5.5	4.1	12.3	28.8	24.7	8.2	16.4	-	-	100	73
	50-54	4.1	9.5	10.8	18.9	17.6	17.6	21.6	-	-	100	74
	55-59	5.4	4.1	13.5	24.3	23.0	5.4	24.3	-	-	100	74
	60-64	5.5	3.7	10.1	18.3	10.1	16.5	33.9	-	1.8	100	109
	65-69	3.2	2.1	6.4	23.4	17.0	14.9	31.9	-	1.1	100	94
	70 or Older	4.1	7.6	9.9	19.9	12.3	14.0	29.2	-	2.9	100	171

問 19 あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか。

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	8	9	Total%	N
	Total	49.8	32.3	10.9	4.5	2.1	-	0.5	100	852
性別	男性	50.7	31.0	12.7	4.0	1.3	-	0.3	100	371
	女性	49.1	33.3	9.6	4.8	2.7	-	0.6	100	481
年齢	20-24	59.5	24.3	8.1	8.1	-	-	-	100	37
	25-29	56.4	25.6	17.9	-	-	-	-	100	39
	30-34	54.7	28.1	15.6	1.6	-	-	-	100	64
	35-39	54.8	32.3	8.1	1.6	3.2	-	-	100	62
	40-44	49.1	29.1	14.5	3.6	3.6	-	-	100	55
	45-49	56.2	26.0	11.0	4.1	2.7	-	-	100	73
	50-54	41.9	39.2	10.8	5.4	1.4	-	1.4	100	74
	55-59	55.4	31.1	5.4	5.4	2.7	-	-	100	74
	60-64	43.1	40.4	7.3	7.3	1.8	-	-	100	109
	65-69	45.7	28.7	16.0	3.2	4.3	-	2.1	100	94
	70 or Older	47.4	35.1	9.9	5.3	1.8	-	0.6	100	171

問 20 あなたの生活についておききます。ひとくちにいてあなたは今の生活に満足していま
すか、それとも不満がありますか。

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	5	8	9	Total%	N
	Total	36.6	36.0	13.8	9.2	4.3	-	-	100	852
性別	男性	31.8	38.0	17.5	8.6	4.0	-	-	100	371
	女性	40.3	34.5	11.0	9.6	4.6	-	-	100	481
年齢	20-24	32.4	40.5	18.9	5.4	2.7	-	-	100	37
	25-29	35.9	28.2	25.6	10.3	-	-	-	100	39
	30-34	35.9	42.2	15.6	4.7	1.6	-	-	100	64
	35-39	43.5	35.5	11.3	3.2	6.5	-	-	100	62
	40-44	36.4	30.9	10.9	18.2	3.6	-	-	100	55
	45-49	27.4	37.0	15.1	15.1	5.5	-	-	100	73
	50-54	25.7	40.5	14.9	13.5	5.4	-	-	100	74
	55-59	41.9	33.8	9.5	9.5	5.4	-	-	100	74
	60-64	33.9	40.4	15.6	8.3	1.8	-	-	100	109
	65-69	36.2	33.0	17.0	7.4	6.4	-	-	100	94
	70 or Older	43.9	33.9	9.4	7.6	5.3	-	-	100	171

問 21 ここ 1 ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか (かかりましたか)。(1 つずつ聞く)

1. 頭痛・偏頭痛・頭が重い
2. 背中の痛み (肩こりや腰痛など)
3. いらいら
4. うつ状態 (ゆううつになる、気がふさぐ)
5. 不眠症 (よく眠れない)
6. 全身がだるい
7. 心臓がドキドキしたり、息苦しい
8. 胃腸の調子が悪い・痛みがある
9. アレルギーがある
10. ぜん息、息切れ、せきが出やすい
11. その他、健康上で何か悩みがありますか (記入)
12. わからない

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	N	
Total	18.9	40.0	26.6	11.3	12.3	15.7	8.1	16.2	11.4	7.7	13.1	0.1	852	
性別	男性	14.6	36.9	22.4	8.9	11.6	14.6	6.2	14.3	8.6	7.3	12.1	-	371
	女性	22.2	42.4	29.9	13.1	12.9	16.6	9.6	17.7	13.5	8.1	13.9	0.2	481
年齢	20-24	29.7	27.0	37.8	18.9	5.4	16.2	-	10.8	18.9	-	-	-	37
	25-29	17.9	33.3	43.6	10.3	5.1	23.1	5.1	5.1	5.1	12.8	7.7	-	39
	30-34	34.4	42.2	29.7	10.9	6.3	15.6	3.1	14.1	14.1	7.8	3.1	-	64
	35-39	30.6	38.7	33.9	4.8	8.1	17.7	3.2	19.4	14.5	3.2	4.8	-	62
	40-44	27.3	49.1	40.0	14.5	9.1	18.2	5.5	27.3	20.0	10.9	9.1	-	55
	45-49	26.0	38.4	30.1	16.4	9.6	19.2	6.8	19.2	15.1	4.1	17.8	-	73
	50-54	23.0	50.0	29.7	17.6	14.9	20.3	10.8	16.2	13.5	4.1	16.2	-	74
	55-59	14.9	43.2	25.7	10.8	16.2	13.5	5.4	17.6	8.1	10.8	13.5	-	74
	60-64	10.1	36.7	22.9	11.9	12.8	12.8	7.3	21.1	9.2	8.3	9.2	0.9	109
	65-69	11.7	38.3	19.1	8.5	12.8	12.8	12.8	14.9	10.6	9.6	24.5	-	94
	70 or Older	10.5	39.2	16.4	7.6	18.1	13.5	13.5	11.7	7.0	9.4	18.1	-	171

問 22 それでは、あなたは悩みごとや重大な相談事を、まずどなたに相談していますか、あるいは、すると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 父親
2. 母親
3. きょうだい
4. 配偶者やパートナー（夫や妻）
5. その他の家族や親戚
6. 友人・知人（職場や学校、近所の）
7. 匿名で相談できるところ（電話やインターネットなど）
8. 医者など、その問題の専門家（記入）
9. その他（記入）
10. 相談できる人がいない
11. 特に悩みはない
99. わからない

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	99	Total%	N	
Total	1.5	8.0	8.0	53.2	8.5	13.7	0.2	0.8	1.4	2.5	1.8	0.5	100	852	
性別	男性	3.2	4.6	7.0	58.8	5.1	13.2	0.5	1.3	1.1	2.7	1.9	0.5	100	371
	女性	0.2	10.6	8.7	48.9	11.0	14.1	-	0.4	1.7	2.3	1.7	0.4	100	481
年齢	20-24	5.4	18.9	8.1	10.8	2.7	51.4	-	-	-	2.7	-	-	100	37
	25-29	5.1	35.9	2.6	33.3	-	23.1	-	-	-	-	-	-	100	39
	30-34	6.3	15.6	3.1	53.1	-	17.2	-	-	-	3.1	1.6	-	100	64
	35-39	-	17.7	9.7	56.5	-	14.5	-	-	-	1.6	-	-	100	62
	40-44	3.6	7.3	9.1	54.5	1.8	18.2	-	3.6	-	1.8	-	-	100	55
	45-49	2.7	11.0	2.7	58.9	2.7	17.8	1.4	-	1.4	1.4	-	-	100	73
	50-54	-	8.1	8.1	60.8	4.1	14.9	1.4	1.4	1.4	-	-	-	100	74
	55-59	-	6.8	8.1	60.8	9.5	10.8	-	-	-	4.1	-	-	100	74
	60-64	0.9	-	11.9	61.5	6.4	6.4	-	-	5.5	5.5	0.9	0.9	100	109
	65-69	-	1.1	9.6	61.7	13.8	9.6	-	1.1	-	1.1	1.1	1.1	100	94
70 or Older	-	1.2	8.8	46.2	22.2	6.4	-	1.8	2.3	2.9	7.0	1.2	100	171	

問 23 (要注意：この質問は、明らかに本人や家族が重い病気の場合は質問しないでもよい。)

次の問いは重い問題を含みますので、もし、答えたくなければ、答えなくともかまいませんが、一応、読み上げます。答えたくない場合は、おっしゃってください。

万が一、あなたが「ガン」など治療が難しい病気になったときのことをお伺いします。もし、あなた自身がそのような重い病気にかかったとしたら、医者にそれを告げてもらいたいと思いますか、告げてもらいたくはないと思いますか。あなたの気持ちに一番近い意見はどれですか。

1. どんな場合でも告げてもらいたい
2. 治癒の可能性の程度（治る見込みの度合い）による
3. その他の条件にもよる
4. どんな場合でも告げてもらいたくはない
7. 答えたくない・答えない
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	7	8	9	Total%	N
	Total	73.8	15.4	5.4	3.4	0.7	0.4	0.9	100	852
性別	男性	79.0	14.8	3.2	2.4	-	0.3	0.3	100	371
	女性	69.8	15.8	7.1	4.2	1.3	0.4	1.5	100	481
年齢	20-24	75.7	10.8	5.4	2.7	-	-	5.4	100	37
	25-29	74.4	20.5	5.1	-	-	-	-	100	39
	30-34	75.0	21.9	3.1	-	-	-	-	100	64
	35-39	77.4	16.1	6.5	-	-	-	-	100	62
	40-44	78.2	14.5	1.8	3.6	1.8	-	-	100	55
	45-49	75.3	19.2	4.1	-	-	-	1.4	100	73
	50-54	77.0	13.5	5.4	2.7	1.4	-	-	100	74
	55-59	74.3	13.5	9.5	2.7	-	-	-	100	74
	60-64	69.7	21.1	2.8	3.7	0.9	0.9	0.9	100	109
	65-69	66.7	18.3	6.5	7.5	-	-	1.1	100	94
	70 or Older	74.3	7.6	7.0	6.4	1.8	1.2	1.8	100	171

問 24 あなたのご家族も含めて、あなたの周りには、次にあげたような人がどの程度いらっしゃいますか。次にあげた a～d のそれぞれについて、あてはまる番号を 1 つずつ選んでください。

a 物や金銭を貸してくれたり、手伝ってくれる人

1. たくさんいる
2. まあまあいる
3. ひとりだけいる
4. 特にない
9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	6.3	58.6	8.8	22.4	3.9	100	852
性別	男性	4.9	55.5	7.5	29.1	3.0	100	371
	女性	7.5	60.9	9.8	17.3	4.6	100	481
年齢	20-24	8.1	73.0	5.4	10.8	2.7	100	37
	25-29	17.9	64.1	7.7	7.7	2.6	100	39
	30-34	7.8	62.5	9.4	18.8	1.6	100	64
	35-39	11.3	66.1	11.3	11.3	-	100	62
	40-44	5.5	67.3	10.9	12.7	3.6	100	55
	45-49	2.7	60.3	8.2	28.8	-	100	73
	50-54	4.1	59.5	14.9	17.6	4.1	100	74
	55-59	2.7	50.0	14.9	24.3	8.1	100	74
	60-64	4.6	61.5	5.5	22.9	5.5	100	109
	65-69	4.3	56.4	6.4	26.6	6.4	100	94
	70 or Older	7.6	49.1	6.4	32.7	4.1	100	171

問 24 あなたのご家族も含めて、あなたの周りには、次にあげたような人がどの程度いらっしゃいますか。次にあげた a～d のそれぞれについて、あてはまる番号を 1 つずつ選んでください。

b あなたの現在の気持ちや状態を理解してくれている人

1. たくさんいる
 2. まあまあいる
 3. ひとりだけいる
 4. 特にないない
9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	11.4	68.7	12.4	6.2	1.3	100	852
性別	男性	7.0	67.7	14.8	9.4	1.1	100	371
	女性	14.8	69.4	10.6	3.7	1.5	100	481
年齢	20-24	10.8	81.1	2.7	5.4	-	100	37
	25-29	23.1	69.2	5.1	2.6	-	100	39
	30-34	15.6	60.9	9.4	14.1	-	100	64
	35-39	21.0	66.1	8.1	4.8	-	100	62
	40-44	12.7	69.1	10.9	7.3	-	100	55
	45-49	6.8	68.5	21.9	2.7	-	100	73
	50-54	5.4	73.0	16.2	5.4	-	100	74
	55-59	8.1	70.3	14.9	6.8	-	100	74
	60-64	9.2	69.7	12.8	5.5	2.8	100	109
	65-69	9.6	73.4	9.6	4.3	3.2	100	94
	70 or Older	11.7	63.7	14.0	7.6	2.9	100	171

問 24 あなたのご家族も含めて、あなたの周りには、次にあげたような人がどの程度いらっしゃいますか。次にあげた a～d のそれぞれについて、あてはまる番号を 1 つずつ選んでください。

c 気軽に電話したり、会ったりして相談できる人

1. たくさんいる
 2. まあまあいる
 3. ひとりだけいる
 4. 特にない
9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
性別	Total	17.1	66.4	8.2	7.7	0.5	100	852
	男性	13.2	65.0	9.7	11.6	0.5	100	371
	女性	20.2	67.6	7.1	4.8	0.4	100	481
年齢	20-24	21.6	67.6	8.1	2.7	-	100	37
	25-29	38.5	51.3	7.7	2.6	-	100	39
	30-34	18.8	68.8	6.3	6.3	-	100	64
	35-39	24.2	67.7	4.8	3.2	-	100	62
	40-44	16.4	65.5	9.1	9.1	-	100	55
	45-49	6.8	69.9	12.3	11.0	-	100	73
	50-54	16.2	63.5	12.2	8.1	-	100	74
	55-59	18.9	71.6	4.1	5.4	-	100	74
	60-64	22.0	57.8	9.2	9.2	1.8	100	109
	65-69	9.6	74.5	5.3	10.6	-	100	94
	70 or Older	13.5	67.3	9.4	8.8	1.2	100	171

問 24 あなたのご家族も含めて、あなたの周りには、次にあげたような人がどの程度いらっしゃると思いますか。次にあげた a～d のそれぞれについて、あてはまる番号を 1 つずつ選んでください。

d あなたのことを高く評価していたり、敬意を払ってくれている人

1. たくさんいる
2. まあまあいる
3. ひとりだけいる
4. 特にないない
9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	5.4	54.9	9.3	22.1	8.3	100	852
性別	男性	5.9	57.7	7.5	22.9	5.9	100	371
	女性	5.0	52.8	10.6	21.4	10.2	100	481
年齢	20-24	2.7	64.9	16.2	16.2	-	100	37
	25-29	7.7	74.4	5.1	10.3	2.6	100	39
	30-34	12.5	53.1	15.6	17.2	1.6	100	64
	35-39	6.5	69.4	8.1	16.1	-	100	62
	40-44	5.5	69.1	9.1	12.7	3.6	100	55
	45-49	2.7	58.9	17.8	20.5	-	100	73
	50-54	1.4	58.1	9.5	24.3	6.8	100	74
	55-59	5.4	44.6	5.4	28.4	16.2	100	74
	60-64	4.6	52.3	10.1	20.2	12.8	100	109
	65-69	3.2	48.9	6.4	27.7	13.8	100	94
	70 or Older	7.0	45.6	5.8	28.1	13.5	100	171

問 25 いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンス、あるいは血縁・地縁・学閥などの人のつながりの、どれが一番大きな役割をはたしていると思いますか。(1つ選択)

1. 個人の才能や努力
2. 運やチャンス
3. 血縁・地縁・学閥などの人のつながり
8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
性別	Total	63.1	21.1	12.2	0.6	2.9	100	852
	男性	59.6	22.4	15.9	0.5	1.6	100	371
	女性	65.9	20.2	9.4	0.6	4.0	100	481
年齢	20-24	48.6	37.8	13.5	-	-	100	37
	25-29	59.0	23.1	17.9	-	-	100	39
	30-34	65.6	18.8	15.6	-	-	100	64
	35-39	66.1	24.2	9.7	-	-	100	62
	40-44	67.3	20.0	12.7	-	-	100	55
	45-49	63.0	15.1	19.2	1.4	1.4	100	73
	50-54	68.9	18.9	9.5	-	2.7	100	74
	55-59	63.5	25.7	9.5	-	1.4	100	74
	60-64	63.3	17.4	11.0	1.8	6.4	100	109
	65-69	59.6	22.3	14.9	1.1	2.1	100	94
	70 or Older	63.2	20.5	8.8	0.6	7.0	100	171

問 26 世間でときどき話題になることをおうかがいします。このカードにある「超能力」や「空飛ぶ円盤」などについて、あなたはどうな感じをもちますか。1から8までの言葉をよくごらんになって、それぞれについて、あなたの気持ちにもっともピッタリする言葉を1つずつ選んでください。

a 超能力や念力

1. つまらない
2. いてほしい、あつてほしい
3. いる・ある
4. こわい、おそろしい
5. いてほしくない、あつてほしくない
6. たのしい、おもしろい
7. いない・ない、ばかばかしい
8. こわくない、おそろしくない
88. その他（記入)
99. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	Total%	N
	Total	17.3	13.5	17.3	1.5	5.8	21.1	16.3	3.2	0.4	3.8	100	852
性別	男性	20.8	14.8	15.9	1.1	5.4	21.6	17.3	1.3	0.3	1.6	100	371
	女性	14.6	12.5	18.3	1.9	6.0	20.8	15.6	4.6	0.4	5.4	100	481
年齢	20-24	8.1	21.6	16.2	-	2.7	35.1	2.7	13.5	-	-	100	37
	25-29	5.1	15.4	15.4	-	7.7	43.6	7.7	2.6	-	2.6	100	39
	30-34	6.3	23.4	15.6	1.6	4.7	34.4	10.9	3.1	-	-	100	64
	35-39	14.5	21.0	12.9	3.2	1.6	29.0	14.5	1.6	1.6	-	100	62
	40-44	7.3	14.5	30.9	1.8	1.8	23.6	16.4	-	-	3.6	100	55
	45-49	8.2	16.4	28.8	-	2.7	24.7	11.0	4.1	-	4.1	100	73
	50-54	12.2	16.2	21.6	2.7	9.5	27.0	8.1	-	1.4	1.4	100	74
	55-59	23.0	20.3	10.8	2.7	5.4	13.5	13.5	5.4	-	5.4	100	74
	60-64	22.0	8.3	16.5	0.9	5.5	22.9	17.4	3.7	-	2.8	100	109
	65-69	30.9	8.5	14.9	3.2	5.3	8.5	23.4	3.2	-	2.1	100	94
70 or Older	23.4	5.3	13.5	0.6	9.4	9.4	26.3	2.3	0.6	9.4	100	171	

問 26 世間でときどき話題になることをおうかがいします。このカードにある「超能力」や「空飛ぶ円盤」などについて、あなたはどんな感じをもちますか。1 から 8 までの言葉をよくごらんになって、それぞれについて、あなたの気持ちにもっともピッタリする言葉を 1 つずつ選んでください。

b 空飛ぶ円盤や宇宙人

1. つまらない
2. いてほしい、あってほしい
3. いる・ある
4. こわい、おそろしい
5. いてほしくない、あってほしくない
6. たのしい、おもしろい
7. いない・ない、ばかばかしい
8. こわくない、おそろしくない
88. その他（記入)
99. わからない

	1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	Total%	N
Total	15.3	14.1	16.0	3.4	7.3	18.4	18.5	2.7	0.2	4.1	100	852
性別												
男性	17.5	17.3	16.7	1.6	6.5	18.3	18.1	1.6	-	2.4	100	371
女性	13.5	11.6	15.4	4.8	7.9	18.5	18.9	3.5	0.4	5.4	100	481
年齢												
20-24	5.4	32.4	21.6	5.4	5.4	18.9	8.1	2.7	-	-	100	37
25-29	5.1	10.3	20.5	2.6	7.7	35.9	17.9	-	-	-	100	39
30-34	6.3	32.8	25.0	1.6	4.7	18.8	7.8	3.1	-	-	100	64
35-39	14.5	22.6	11.3	6.5	4.8	24.2	12.9	1.6	1.6	-	100	62
40-44	3.6	20.0	29.1	1.8	5.5	20.0	12.7	3.6	-	3.6	100	55
45-49	6.8	21.9	31.5	4.1	4.1	20.5	5.5	2.7	-	2.7	100	73
50-54	12.2	16.2	16.2	6.8	14.9	18.9	12.2	2.7	-	-	100	74
55-59	20.3	9.5	20.3	5.4	8.1	17.6	13.5	2.7	-	2.7	100	74
60-64	19.3	9.2	11.9	2.8	7.3	22.0	20.2	1.8	-	5.5	100	109
65-69	22.3	6.4	8.5	1.1	7.4	20.2	26.6	2.1	-	5.3	100	94
70 or Older	23.4	4.1	5.8	2.3	7.6	7.6	33.9	4.1	0.6	10.5	100	171

問 26 世間でときどき話題になることをおうかがいします。このカードにある「超能力」や「空飛ぶ円盤」などについて、あなたはどんな感じをもちますか。1から8までの言葉をよくごらんになって、それぞれについて、あなたの気持ちにもっともピッタリする言葉を1つずつ選んでください。

c 妖怪や鬼

1. つまらない
2. いてほしい、あってほしい
3. いる・ある
4. こわい、おそろしい
5. いてほしくない、あってほしくない
6. たのしい、おもしろい
7. いない・ない、ばかばかしい
8. こわくない、おそろしくない
88. その他（記入)
99. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	Total%	N
	Total	16.5	5.2	6.3	10.0	14.0	14.1	25.9	4.1	0.2	3.6	100	852
性別	男性	20.8	7.0	7.5	5.1	12.9	13.5	27.2	4.0	-	1.9	100	371
	女性	13.3	3.7	5.4	13.7	14.8	14.6	24.9	4.2	0.4	5.0	100	481
年齢	20-24	-	18.9	16.2	18.9	13.5	16.2	10.8	5.4	-	-	100	37
	25-29	5.1	2.6	2.6	15.4	23.1	28.2	17.9	5.1	-	-	100	39
	30-34	9.4	9.4	9.4	15.6	20.3	12.5	17.2	6.3	-	-	100	64
	35-39	11.3	8.1	6.5	21.0	12.9	14.5	17.7	4.8	1.6	1.6	100	62
	40-44	5.5	3.6	12.7	7.3	20.0	27.3	16.4	3.6	-	3.6	100	55
	45-49	9.6	6.8	6.8	15.1	13.7	19.2	19.2	8.2	-	1.4	100	73
	50-54	17.6	8.1	8.1	10.8	20.3	18.9	14.9	-	-	1.4	100	74
	55-59	18.9	5.4	5.4	13.5	16.2	16.2	16.2	2.7	-	5.4	100	74
	60-64	22.9	2.8	2.8	5.5	11.9	15.6	32.1	1.8	-	4.6	100	109
	65-69	24.5	4.3	7.4	5.3	9.6	7.4	39.4	2.1	-	-	100	94
70 or Older	24.0	0.6	2.9	2.9	8.2	4.1	40.9	5.8	0.6	9.9	100	171	

問 26 世間でときどき話題になることをおうかがいします。このカードにある「超能力」や「空飛ぶ円盤」などについて、あなたはどんな感じをもちますか。1から8までの言葉をよくごらんになって、それぞれについて、あなたの気持ちにもっともピッタリする言葉を1つずつ選んでください。

d 幽霊^{ゆうれい}や亡霊^{ぼうれい}、人のたたり

1. つまらない
2. いてほしい、あつてほしい
3. いる・ある
4. こわい、おそろしい
5. いてほしくない、あつてほしくない
6. たのしい、おもしろい
7. いない・ない、ばかばかしい
8. こわくない、おそろしくない
88. その他（記入)
99. わからない

	1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	Total%	N
Total	11.9	2.9	16.5	17.4	22.2	4.0	17.8	4.0	0.2	3.1	100	852
性別												
男性	16.7	3.8	13.7	11.3	22.1	4.9	21.3	4.6	-	1.6	100	371
女性	8.1	2.3	18.7	22.0	22.2	3.3	15.2	3.5	0.4	4.2	100	481
年齢												
20-24	2.7	8.1	24.3	27.0	13.5	10.8	5.4	8.1	-	-	100	37
25-29	5.1	-	23.1	20.5	30.8	10.3	7.7	2.6	-	-	100	39
30-34	6.3	4.7	18.8	23.4	28.1	3.1	10.9	4.7	-	-	100	64
35-39	6.5	3.2	17.7	24.2	27.4	4.8	9.7	3.2	1.6	1.6	100	62
40-44	3.6	-	18.2	16.4	34.5	10.9	5.5	5.5	-	5.5	100	55
45-49	6.8	2.7	20.5	26.0	26.0	-	13.7	2.7	-	1.4	100	73
50-54	6.8	5.4	21.6	21.6	32.4	2.7	6.8	2.7	-	-	100	74
55-59	14.9	2.7	21.6	21.6	18.9	5.4	13.5	-	-	1.4	100	74
60-64	16.5	1.8	16.5	12.8	19.3	4.6	19.3	6.4	-	2.8	100	109
65-69	20.2	4.3	9.6	10.6	20.2	1.1	28.7	3.2	-	2.1	100	94
70 or Older	17.5	1.8	9.4	9.4	12.3	1.8	33.9	4.7	0.6	8.8	100	171

問 27 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成 (人間らしさはへる)
2. 反対 (人間らしさは不変、ふえる)
3. いちがいにはいえない

8. その他 (記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	38.3	18.2	42.6	-	0.9	100	852
性別	男性	36.7	22.9	40.4	-	-	100	371
	女性	39.5	14.6	44.3	-	1.7	100	481
年齢	20-24	18.9	24.3	56.8	-	-	100	37
	25-29	28.2	17.9	53.8	-	-	100	39
	30-34	34.4	14.1	50.0	-	1.6	100	64
	35-39	35.5	22.6	41.9	-	-	100	62
	40-44	40.0	14.5	45.5	-	-	100	55
	45-49	38.4	16.4	45.2	-	-	100	73
	50-54	50.0	12.2	37.8	-	-	100	74
	55-59	36.5	25.7	37.8	-	-	100	74
	60-64	41.3	18.3	38.5	-	1.8	100	109
	65-69	44.7	13.8	41.5	-	-	100	94
	70 or Older	36.8	20.5	39.8	-	2.9	100	171

問 28 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりはその人達にまかせる方がよい」というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成 (まかせる)
2. 反対 (まかせっきりはいけない)
3. いちがいいにはいえない
8. その他 (記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	20.7	55.3	22.7	0.1	1.3	100	852
性別	男性	24.0	57.1	17.8	0.3	0.8	100	371
	女性	18.1	53.8	26.4	-	1.7	100	481
年齢	20-24	21.6	54.1	18.9	-	5.4	100	37
	25-29	15.4	69.2	15.4	-	-	100	39
	30-34	15.6	60.9	23.4	-	-	100	64
	35-39	21.0	53.2	25.8	-	-	100	62
	40-44	14.5	70.9	12.7	-	1.8	100	55
	45-49	24.7	47.9	27.4	-	-	100	73
	50-54	12.2	58.1	28.4	-	1.4	100	74
	55-59	18.9	64.9	16.2	-	-	100	74
	60-64	21.1	49.5	28.4	-	0.9	100	109
	65-69	22.3	56.4	20.2	-	1.1	100	94
	70 or Older	26.9	46.8	22.8	0.6	2.9	100	171

問 29 次の3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

1. 離婚はすべきではない
2. ひどい場合には、離婚してもよい
3. 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい

8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	19.0	46.0	33.9	0.2	0.8	100	852
性別	男性	23.7	39.1	36.7	0.3	0.3	100	371
	女性	15.4	51.4	31.8	0.2	1.2	100	481
年齢	20-24	8.1	48.6	43.2	-	-	100	37
	25-29	10.3	53.8	35.9	-	-	100	39
	30-34	7.8	62.5	28.1	1.6	-	100	64
	35-39	9.7	51.6	38.7	-	-	100	62
	40-44	7.3	52.7	40.0	-	-	100	55
	45-49	9.6	42.5	47.9	-	-	100	73
	50-54	9.5	51.4	37.8	-	1.4	100	74
	55-59	18.9	44.6	36.5	-	-	100	74
	60-64	20.2	49.5	28.4	-	1.8	100	109
	65-69	26.6	39.4	31.9	-	2.1	100	94
	70 or Older	38.0	34.5	25.7	0.6	1.2	100	171

問 30 自然と人間との関係について、次のような意見があります。あなたがこのうち真実に近い
(ほんとうのことに近い) と思うものを、1つだけ選んでください。

1. 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない
2. 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
3. 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	44.4	46.1	5.5	0.7	3.3	100	852
性別	男性	41.0	52.3	3.8	0.8	2.2	100	371
	女性	47.0	41.4	6.9	0.6	4.2	100	481
年齢	20-24	45.9	48.6	5.4	-	-	100	37
	25-29	48.7	48.7	-	-	2.6	100	39
	30-34	37.5	62.5	-	-	-	100	64
	35-39	58.1	37.1	3.2	1.6	-	100	62
	40-44	54.5	36.4	-	5.5	3.6	100	55
	45-49	46.6	49.3	1.4	1.4	1.4	100	73
	50-54	47.3	45.9	4.1	-	2.7	100	74
	55-59	41.9	44.6	10.8	-	2.7	100	74
	60-64	37.6	52.3	4.6	-	5.5	100	109
	65-69	40.4	39.4	13.8	1.1	5.3	100	94
	70 or Older	42.7	44.4	7.6	-	5.3	100	171

問 31 あなたは次の意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

1. 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる
2. 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
3. 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	24.5	26.4	47.4	0.1	1.5	100	852
性別	男性	28.8	25.3	45.0	-	0.8	100	371
	女性	21.2	27.2	49.3	0.2	2.1	100	481
年齢	20-24	27.0	29.7	43.2	-	-	100	37
	25-29	17.9	35.9	46.2	-	-	100	39
	30-34	32.8	15.6	50.0	-	1.6	100	64
	35-39	30.6	22.6	45.2	-	1.6	100	62
	40-44	29.1	21.8	47.3	1.8	-	100	55
	45-49	38.4	24.7	35.6	-	1.4	100	73
	50-54	24.3	18.9	55.4	-	1.4	100	74
	55-59	21.6	28.4	50.0	-	-	100	74
	60-64	16.5	28.4	50.5	-	4.6	100	109
	65-69	20.2	24.5	54.3	-	1.1	100	94
	70 or Older	21.6	33.3	43.3	-	1.8	100	171

問 33 次にあげるものを、あなたは「ある」または「存在する」と思いますか。それぞれについてお答えください。(1つずつ聞く)

a 神や仏

1. ある・存在する
2. あるかもしれない
3. ない・存在しない
8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	39.4	41.7	17.8	0.2	0.8	100	852
性別	男性	31.0	40.7	27.5	-	0.3	100	371
	女性	45.9	42.4	10.4	0.5	1.2	100	481
年齢	20-24	40.5	43.2	16.2	-	-	100	37
	25-29	46.2	35.9	17.9	-	-	100	39
	30-34	31.3	50.0	18.8	-	-	100	64
	35-39	37.1	45.2	17.7	-	-	100	62
	40-44	43.6	41.8	12.7	-	1.8	100	55
	45-49	39.7	43.8	16.4	-	-	100	73
	50-54	39.2	50.0	10.8	-	-	100	74
	55-59	39.2	40.5	20.3	-	-	100	74
	60-64	37.6	44.0	17.4	-	0.9	100	109
	65-69	40.4	34.0	24.5	-	1.1	100	94
	70 or Older	40.9	36.8	18.7	1.2	2.3	100	171

問 33 次にあげるものを、あなたは「ある」または「存在する」と思いますか。それぞれについてお答えください。(1つずつ聞く)

b 死後の世界

1. ある・存在する
2. あるかもしれない
3. ない・存在しない

8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	19.2	46.0	29.6	-	5.2	100	852
性別	男性	16.7	41.2	39.1	-	3.0	100	371
	女性	21.2	49.7	22.2	-	6.9	100	481
年齢	20-24	35.1	43.2	21.6	-	-	100	37
	25-29	35.9	35.9	28.2	-	-	100	39
	30-34	20.3	62.5	17.2	-	-	100	64
	35-39	24.2	51.6	24.2	-	-	100	62
	40-44	18.2	72.7	7.3	-	1.8	100	55
	45-49	26.0	47.9	26.0	-	-	100	73
	50-54	27.0	51.4	20.3	-	1.4	100	74
	55-59	27.0	39.2	27.0	-	6.8	100	74
	60-64	12.8	52.3	30.3	-	4.6	100	109
	65-69	8.5	35.1	47.9	-	8.5	100	94
	70 or Older	10.5	33.9	41.5	-	14.0	100	171

問 33 次にあげるものを、あなたは「ある」または「存在する」と思いますか。それぞれについてお答えください。(1つずつ聞く)

c 霊魂 (たましい)

1. ある・存在する
2. あるかもしれない
3. ない・存在しない

8. その他 (記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	35.4	43.3	18.4	-	2.8	100	852
性別	男性	27.2	42.9	27.8	-	2.2	100	371
	女性	41.8	43.7	11.2	-	3.3	100	481
年齢	20-24	45.9	43.2	10.8	-	-	100	37
	25-29	38.5	48.7	12.8	-	-	100	39
	30-34	31.3	59.4	9.4	-	-	100	64
	35-39	38.7	45.2	16.1	-	-	100	62
	40-44	47.3	43.6	5.5	-	3.6	100	55
	45-49	41.1	41.1	17.8	-	-	100	73
	50-54	41.9	47.3	9.5	-	1.4	100	74
	55-59	40.5	37.8	18.9	-	2.7	100	74
	60-64	33.9	43.1	20.2	-	2.8	100	109
	65-69	22.3	45.7	26.6	-	5.3	100	94
	70 or Older	29.8	35.7	28.1	-	6.4	100	171

問 34 次のうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれとどれにしますか。

(この質問では、2つの項目をあげてもらうこと)

1. 親孝行、親に対する愛情と尊敬
2. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する
3. 個人の権利を尊重すること
4. 個人の自由を尊重すること

8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	N
	Total	77.6	72.2	20.1	28.4	-	0.5	852
性別	男性	71.2	69.8	22.1	34.2	-	0.8	371
	女性	82.5	74.0	18.5	23.9	-	0.2	481
年齢	20-24	86.5	56.8	27.0	29.7	-	-	37
	25-29	87.2	79.5	12.8	20.5	-	-	39
	30-34	82.8	79.7	17.2	20.3	-	-	64
	35-39	87.1	72.6	14.5	25.8	-	-	62
	40-44	72.7	74.5	23.6	27.3	-	-	55
	45-49	79.5	68.5	24.7	27.4	-	-	73
	50-54	81.1	64.9	29.7	24.3	-	-	74
	55-59	78.4	75.7	16.2	27.0	-	1.4	74
	60-64	71.6	73.4	16.5	32.1	-	1.8	109
	65-69	71.3	75.5	13.8	38.3	-	-	94
	70 or Older	74.3	70.8	23.4	29.2	-	0.6	171

問 35 ある会社に次のような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげてください。

1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことでは人のめんどろを見ません
 2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもあります。仕事のこと以外でも人のめんどろをよく見ます
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	13.8	82.7	0.4	3.1	100	852
性別	男性	18.3	79.0	-	2.7	100	371
	女性	10.4	85.7	0.6	3.3	100	481
年齢	20-24	16.2	83.8	-	-	100	37
	25-29	20.5	79.5	-	-	100	39
	30-34	18.8	81.3	-	-	100	64
	35-39	8.1	88.7	-	3.2	100	62
	40-44	27.3	70.9	1.8	-	100	55
	45-49	19.2	78.1	1.4	1.4	100	73
	50-54	14.9	83.8	-	1.4	100	74
	55-59	12.2	86.5	-	1.4	100	74
	60-64	14.7	81.7	-	3.7	100	109
	65-69	8.5	89.4	-	2.1	100	94
	70 or Older	8.2	82.5	0.6	8.8	100	171

問 36 さて、たいていの方は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

1. 他人の役にたとうとしている
2. 自分のことだけ考えている
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	41.0	50.1	1.5	7.4	100	852
性別	男性	40.2	52.6	1.3	5.9	100	371
	女性	41.6	48.2	1.7	8.5	100	481
年齢	20-24	37.8	45.9	2.7	13.5	100	37
	25-29	28.2	66.7	2.6	2.6	100	39
	30-34	46.9	46.9	3.1	3.1	100	64
	35-39	40.3	53.2	-	6.5	100	62
	40-44	45.5	40.0	7.3	7.3	100	55
	45-49	31.5	61.6	-	6.8	100	73
	50-54	40.5	51.4	1.4	6.8	100	74
	55-59	41.9	48.6	1.4	8.1	100	74
	60-64	47.7	43.1	0.9	8.3	100	109
	65-69	41.5	51.1	1.1	6.4	100	94
	70 or Older	40.4	49.7	0.6	9.4	100	171

問 37 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなこと
 とはないと思いますか。

1. 機会があれば利用しようとしていると思う
2. そんなことはないと思う
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	36.2	56.8	0.4	6.7	100	852
性別	男性	48.0	45.3	0.5	6.2	100	371
	女性	27.0	65.7	0.2	7.1	100	481
年齢	20-24	62.2	27.0	-	10.8	100	37
	25-29	33.3	59.0	-	7.7	100	39
	30-34	50.0	46.9	-	3.1	100	64
	35-39	37.1	53.2	-	9.7	100	62
	40-44	40.0	52.7	3.6	3.6	100	55
	45-49	28.8	64.4	-	6.8	100	73
	50-54	29.7	60.8	-	9.5	100	74
	55-59	41.9	54.1	-	4.1	100	74
	60-64	30.3	58.7	0.9	10.1	100	109
	65-69	41.5	54.3	-	4.3	100	94
	70 or Older	28.7	65.5	-	5.8	100	171

問 38 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

1. 信頼できると思う
2. 常に用心した方がよい
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	43.9	48.0	2.2	5.9	100	852
性別	男性	44.5	48.5	1.9	5.1	100	371
	女性	43.5	47.6	2.5	6.4	100	481
年齢	20-24	37.8	45.9	-	16.2	100	37
	25-29	35.9	56.4	2.6	5.1	100	39
	30-34	37.5	54.7	3.1	4.7	100	64
	35-39	43.5	45.2	3.2	8.1	100	62
	40-44	49.1	45.5	1.8	3.6	100	55
	45-49	50.7	42.5	2.7	4.1	100	73
	50-54	50.0	40.5	1.4	8.1	100	74
	55-59	48.6	43.2	2.7	5.4	100	74
	60-64	45.9	49.5	0.9	3.7	100	109
	65-69	42.6	51.1	1.1	5.3	100	94
	70 or Older	39.8	50.9	3.5	5.8	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

a 自分はなにが大きな見えない力によって「生かされている」という実感がある

1. そう思う
2. そうは思わない
3. どちらともいえない

9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	50.2	43.2	4.5	2.1	100	852
性別	男性	44.7	50.1	4.6	0.5	100	371
	女性	54.5	37.8	4.4	3.3	100	481
年齢	20-24	45.9	43.2	2.7	8.1	100	37
	25-29	46.2	51.3	2.6	-	100	39
	30-34	42.2	57.8	-	-	100	64
	35-39	48.4	43.5	8.1	-	100	62
	40-44	65.5	29.1	1.8	3.6	100	55
	45-49	50.7	46.6	2.7	-	100	73
	50-54	51.4	44.6	4.1	-	100	74
	55-59	55.4	41.9	2.7	-	100	74
	60-64	53.2	35.8	10.1	0.9	100	109
	65-69	44.7	48.9	4.3	2.1	100	94
	70 or Older	49.1	40.4	4.7	5.8	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

b ある人が、どこで生まれ、いつ死ぬかは、その人の運命によって決まっており、人の力では変えられない

1. そう思う
2. そうは思わない
3. どちらともいえない
9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
Total		59.2	36.6	2.7	1.5	100	852
性別	男性	50.9	45.8	2.7	0.5	100	371
	女性	65.5	29.5	2.7	2.3	100	481
20-24		43.2	51.4	-	5.4	100	37
25-29		61.5	35.9	2.6	-	100	39
30-34		48.4	51.6	-	-	100	64
35-39		43.5	50.0	4.8	1.6	100	62
40-44		50.9	43.6	1.8	3.6	100	55
年齢	45-49	50.7	46.6	2.7	-	100	73
	50-54	54.1	45.9	-	-	100	74
	55-59	56.8	37.8	4.1	1.4	100	74
	60-64	68.8	25.7	4.6	0.9	100	109
	65-69	71.3	25.5	2.1	1.1	100	94
	70 or Older	68.4	25.1	3.5	2.9	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

c 人は死んでも、繰り返し生まれ変わるものだ

1. そう思う
 2. そうは思わない
 3. どちらともいえない
9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	31.9	57.3	4.1	6.7	100	852
性別	男性	23.5	68.5	4.0	4.0	100	371
	女性	38.5	48.6	4.2	8.7	100	481
年齢	20-24	37.8	56.8	-	5.4	100	37
	25-29	48.7	51.3	-	-	100	39
	30-34	43.8	53.1	3.1	-	100	64
	35-39	53.2	41.9	4.8	-	100	62
	40-44	40.0	47.3	1.8	10.9	100	55
	45-49	42.5	54.8	1.4	1.4	100	73
	50-54	41.9	48.6	4.1	5.4	100	74
	55-59	32.4	55.4	5.4	6.8	100	74
	60-64	21.1	68.8	4.6	5.5	100	109
	65-69	13.8	72.3	4.3	9.6	100	94
	70 or Older	19.9	59.1	7.0	14.0	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

d 自分が死んでも、自然の一部になって生き続けることができる

1. そう思う
2. そうは思わない
3. どちらともいえない

9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	27.3	60.4	5.5	6.7	100	852
性別	男性	24.0	66.6	4.6	4.9	100	371
	女性	29.9	55.7	6.2	8.1	100	481
年齢	20-24	29.7	64.9	2.7	2.7	100	37
	25-29	46.2	53.8	-	-	100	39
	30-34	34.4	62.5	1.6	1.6	100	64
	35-39	29.0	61.3	8.1	1.6	100	62
	40-44	30.9	56.4	1.8	10.9	100	55
	45-49	28.8	67.1	1.4	2.7	100	73
	50-54	35.1	54.1	6.8	4.1	100	74
	55-59	28.4	59.5	4.1	8.1	100	74
	60-64	22.9	65.1	5.5	6.4	100	109
	65-69	16.0	70.2	6.4	7.4	100	94
	70 or Older	22.8	53.2	10.5	13.5	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

e 人類全体の進歩と幸福のために、自分でできることをやってみたい

1. そう思う
2. そうは思わない
3. どちらともいえない

9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	72.3	20.9	4.3	2.5	100	852
性別	男性	70.6	23.7	4.3	1.3	100	371
	女性	73.6	18.7	4.4	3.3	100	481
年齢	20-24	64.9	27.0	5.4	2.7	100	37
	25-29	66.7	25.6	5.1	2.6	100	39
	30-34	71.9	26.6	1.6	-	100	64
	35-39	71.0	24.2	4.8	-	100	62
	40-44	85.5	9.1	1.8	3.6	100	55
	45-49	74.0	21.9	4.1	-	100	73
	50-54	71.6	23.0	2.7	2.7	100	74
	55-59	81.1	13.5	2.7	2.7	100	74
	60-64	69.7	21.1	4.6	4.6	100	109
	65-69	72.3	22.3	5.3	-	100	94
	70 or Older	69.0	19.9	6.4	4.7	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

f 自分を犠牲にしても、その人のために尽くしたいと思ったことがある

1. そう思う
 2. そうは思わない
 3. どちらともいえない
9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	62.3	30.5	5.5	1.6	100	852
性別	男性	62.8	32.3	4.6	0.3	100	371
	女性	62.0	29.1	6.2	2.7	100	481
年齢	20-24	54.1	40.5	2.7	2.7	100	37
	25-29	76.9	23.1	-	-	100	39
	30-34	68.8	29.7	1.6	-	100	64
	35-39	72.6	21.0	6.5	-	100	62
	40-44	76.4	16.4	5.5	1.8	100	55
	45-49	56.2	38.4	5.5	-	100	73
	50-54	62.2	32.4	5.4	-	100	74
	55-59	66.2	28.4	4.1	1.4	100	74
	60-64	58.7	32.1	7.3	1.8	100	109
	65-69	54.3	38.3	5.3	2.1	100	94
	70 or Older	57.9	29.8	8.2	4.1	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

g 自分の主義主張のために死ぬことは、立派なことだ

1. そう思う
 2. そうは思わない
 3. どちらともいえない
9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	20.2	74.2	3.4	2.2	100	852
性別	男性	29.1	67.4	2.7	0.8	100	371
	女性	13.3	79.4	4.0	3.3	100	481
年齢	20-24	21.6	73.0	2.7	2.7	100	37
	25-29	30.8	66.7	2.6	-	100	39
	30-34	23.4	75.0	1.6	-	100	64
	35-39	17.7	75.8	6.5	-	100	62
	40-44	14.5	81.8	1.8	1.8	100	55
	45-49	23.3	69.9	4.1	2.7	100	73
	50-54	12.2	86.5	1.4	-	100	74
	55-59	31.1	60.8	4.1	4.1	100	74
	60-64	17.4	78.9	1.8	1.8	100	109
	65-69	16.0	80.9	2.1	1.1	100	94
	70 or Older	20.5	68.4	5.8	5.3	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどう思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

h 自殺するとき、自分の子供を道連れにする人の気持ちは、よくわかる

1. そう思う
 2. そうは思わない
 3. どちらともいえない
9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	8.9	84.4	3.3	3.4	100	852
性別	男性	8.4	87.3	2.2	2.2	100	371
	女性	9.4	82.1	4.2	4.4	100	481
年齢	20-24	5.4	91.9	-	2.7	100	37
	25-29	2.6	92.3	2.6	2.6	100	39
	30-34	9.4	87.5	1.6	1.6	100	64
	35-39	1.6	95.2	1.6	1.6	100	62
	40-44	5.5	90.9	1.8	1.8	100	55
	45-49	5.5	91.8	1.4	1.4	100	73
	50-54	2.7	86.5	6.8	4.1	100	74
	55-59	9.5	86.5	2.7	1.4	100	74
	60-64	13.8	82.6	-	3.7	100	109
	65-69	18.1	75.5	3.2	3.2	100	94
	70 or Older	10.5	74.9	7.6	7.0	100	171

問 39 次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

i 恋する者どうしが心中する、ということは美しい

1. そう思う
 2. そうは思わない
 3. どちらともいえない
9. わからない

		1	2	3	9	Total%	N
	Total	4.6	90.8	1.3	3.3	100	852
性別	男性	4.9	91.9	1.1	2.2	100	371
	女性	4.4	90.0	1.5	4.2	100	481
年齢	20-24	5.4	86.5	-	8.1	100	37
	25-29	7.7	92.3	-	-	100	39
	30-34	3.1	93.8	1.6	1.6	100	64
	35-39	1.6	96.8	-	1.6	100	62
	40-44	1.8	96.4	-	1.8	100	55
	45-49	2.7	95.9	-	1.4	100	73
	50-54	4.1	93.2	-	2.7	100	74
	55-59	5.4	93.2	1.4	-	100	74
	60-64	5.5	89.0	0.9	4.6	100	109
	65-69	6.4	89.4	2.1	2.1	100	94
	70 or Older	5.3	84.2	3.5	7.0	100	171

問 40a 人生の考え方について、次の2つの意見のうちどちらがあなたのお考えに近いですか。

1. 人の運命はきまっており、人の力では変えられない
2. 人生は自分で切り開いていくものだ
8. その他（記入 ）
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
Total		16.5	82.2	0.6	0.7	100	852
性別	男性	15.4	83.8	0.5	0.3	100	371
	女性	17.5	80.9	0.6	1.0	100	481
年齢	20-24	13.5	83.8	-	2.7	100	37
	25-29	7.7	92.3	-	-	100	39
	30-34	14.1	85.9	-	-	100	64
	35-39	9.7	90.3	-	-	100	62
	40-44	14.5	81.1	3.6	-	100	55
	45-49	9.6	89.0	-	1.4	100	73
	50-54	13.5	86.5	-	-	100	74
	55-59	14.9	82.4	1.4	1.4	100	74
	60-64	16.5	81.7	0.9	0.9	100	109
	65-69	23.4	75.5	1.1	-	100	94
	70 or Older	24.6	74.3	-	1.2	100	171

問 40b では次の2つの意見では、強いて言えば、どちらがあなたのお考えに近いですか。

1. 人生は太く短く行きたい
2. 人生は細く長く行きたい
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	35.4	59.6	1.3	3.6	100	852
性別	男性	39.9	55.5	1.3	3.2	100	371
	女性	32.0	62.8	1.2	4.0	100	481
年齢	20-24	73.0	27.0	-	-	100	37
	25-29	59.0	35.9	2.6	2.6	100	39
	30-34	57.8	42.2	-	-	100	64
	35-39	45.2	54.8	-	-	100	62
	40-44	45.5	49.1	-	5.5	100	55
	45-49	47.9	49.3	-	2.7	100	73
	50-54	31.1	64.9	1.4	2.7	100	74
	55-59	31.1	64.9	-	4.1	100	74
	60-64	27.5	65.1	3.7	3.7	100	109
	65-69	21.3	74.5	-	4.3	100	94
	70 or Older	18.1	71.9	2.9	7.0	100	171

問 41 次に読みあげる事柄についてあなたはどのように思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください。(a～dについてそれぞれ聞く)

a 病気の中には近代医学とは別の方法で治療した方がよいものもある。

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	15.3	49.2	24.1	6.7	0.1	4.7	100	852
性別	男性	15.6	47.7	26.4	7.8	-	2.4	100	371
	女性	15.0	50.3	22.2	5.8	0.2	6.4	100	481
年齢	20-24	13.5	56.8	18.9	5.4	-	5.4	100	37
	25-29	7.7	53.8	20.5	10.3	-	7.7	100	39
	30-34	15.6	54.7	20.3	9.4	-	-	100	64
	35-39	14.5	58.1	12.9	12.9	-	1.6	100	62
	40-44	9.1	63.6	16.4	7.3	-	3.6	100	55
	45-49	15.1	57.5	23.3	4.1	-	-	100	73
	50-54	16.2	48.6	28.4	5.4	-	1.4	100	74
	55-59	12.2	55.4	21.6	6.8	-	4.1	100	74
	60-64	17.4	41.3	26.6	8.3	0.9	5.5	100	109
	65-69	16.0	40.4	34.0	4.3	-	5.3	100	94
	70 or Older	18.7	40.4	26.3	4.7	-	9.9	100	171

問 41 次に読みあげる事柄についてあなたはどう思いますか。
 それぞれについて、この中からお答えください。(a～dについてそれぞれ聞く)

b 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	3.1	14.0	54.3	23.4	-	5.3	100	852
性別	男性	3.8	14.6	54.2	23.7	-	3.8	100	371
	女性	2.5	13.5	54.5	23.1	-	6.4	100	481
年齢	20-24	5.4	16.2	43.2	27.0	-	8.1	100	37
	25-29	2.6	15.4	56.4	25.6	-	-	100	39
	30-34	6.3	17.2	53.1	23.4	-	-	100	64
	35-39	4.8	12.9	51.6	27.4	-	3.2	100	62
	40-44	1.8	9.1	61.8	18.2	-	9.1	100	55
	45-49	2.7	11.0	63.0	21.9	-	1.4	100	73
	50-54	2.7	25.7	47.3	24.3	-	-	100	74
	55-59	4.1	18.9	51.4	23.0	-	2.7	100	74
	60-64	3.7	6.4	63.3	20.2	-	6.4	100	109
	65-69	1.1	16.0	55.3	24.5	-	3.2	100	94
	70 or Older	1.8	11.7	49.7	24.0	-	12.9	100	171

問 41 次に読みあげる事柄についてあなたはどのように思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください。(a～dについてそれぞれ聞く)

c. 今日、我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他 (記入)

9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	0.9	12.1	64.1	16.1	0.1	6.7	100	852
性別	男性	0.8	15.1	62.8	17.8	-	3.5	100	371
	女性	1.0	9.8	65.1	14.8	0.2	9.1	100	481
年齢	20-24	-	24.3	56.8	16.2	-	2.7	100	37
	25-29	-	10.3	64.1	23.1	-	2.6	100	39
	30-34	3.1	15.6	64.1	14.1	-	3.1	100	64
	35-39	-	14.5	54.8	25.8	-	4.8	100	62
	40-44	1.8	5.5	74.5	14.5	1.8	1.8	100	55
	45-49	-	8.2	68.5	21.9	-	1.4	100	73
	50-54	-	14.9	67.6	13.5	-	4.1	100	74
	55-59	2.7	14.9	67.6	10.8	-	4.1	100	74
	60-64	0.9	11.0	63.3	18.3	-	6.4	100	109
	65-69	1.1	10.6	67.0	16.0	-	5.3	100	94
	70 or Older	0.6	10.5	59.6	11.7	-	17.5	100	171

問 41 次に読みあげる事柄についてあなたはどのように思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください。(a～dについてそれぞれ聞く)

d 将来、科学技術の発展により、火星でも、地球と同じような生活ができるようになる。

1. 全くそのとおりだと思う
2. そう思う
3. そうは思わない
4. 決してそうは思わない

8. その他(記入)
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
Total		2.7	25.6	44.2	15.3	0.2	12.0	100	852
性別	男性	4.3	26.7	41.8	17.3	-	10.0	100	371
	女性	1.5	24.7	46.2	13.7	0.4	13.5	100	481
20-24		5.4	32.4	48.6	5.4	-	8.1	100	37
25-29		5.1	35.9	38.5	17.9	-	2.6	100	39
30-34		6.3	42.2	39.1	10.9	-	1.6	100	64
35-39		8.1	19.4	46.8	16.1	-	9.7	100	62
40-44		-	45.5	34.5	12.7	-	7.3	100	55
年齢	45-49	4.1	34.2	43.8	13.7	-	4.1	100	73
	50-54	1.4	23.0	51.4	12.2	-	12.2	100	74
	55-59	2.7	28.4	39.2	20.3	-	9.5	100	74
	60-64	0.9	23.9	49.5	10.1	1.8	13.8	100	109
	65-69	1.1	14.9	52.1	20.2	-	11.7	100	94
70 or Older		1.2	14.6	40.4	19.3	-	24.6	100	171

問 43a 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか。

1. もっている、信じている
2. もっていない、信じていない、関心がない

		1	2	Total%	N
	Total	26.2	73.8	100	851
性別	男性	26.1	73.9	100	371
	女性	26.3	73.8	100	480
年齢	20-24	13.5	86.5	100	37
	25-29	5.1	94.9	100	39
	30-34	14.1	85.9	100	64
	35-39	17.7	82.3	100	62
	40-44	16.4	83.6	100	55
	45-49	26.0	74.0	100	73
	50-54	23.0	77.0	100	74
	55-59	31.1	68.9	100	74
	60-64	31.5	68.5	100	108
	65-69	26.6	73.4	100	94
	70 or Older	40.4	59.6	100	171

問 43b (問 43a で「1 もっている、信じている」と回答した人に)
 それは何という宗教ですか。(1つ選択)

1. 仏教系
2. 神道系
3. キリスト教
8. その他の宗教 (記入)
9. わからない

		1	2	3	8	9	Total%	N
	Total	82.5	5.4	3.6	5.4	3.1	100	223
性別	男性	85.6	6.2	4.1	3.1	1.0	100	97
	女性	80.2	4.8	3.2	7.1	4.8	100	126
年齢	20-24	60.0	-	-	-	40.0	100	5
	25-29	50.0	50.0	-	-	-	100	2
	30-34	88.9	11.1	-	-	-	100	9
	35-39	72.7	-	9.1	9.1	9.1	100	11
	40-44	66.7	11.1	11.1	-	11.1	100	9
	45-49	84.2	-	10.5	5.3	-	100	19
	50-54	70.6	11.8	-	17.6	-	100	17
	55-59	87.0	4.3	-	8.7	-	100	23
	60-64	85.3	-	8.8	2.9	2.9	100	34
	65-69	92.0	4.0	-	-	4.0	100	25
	70 or Older	84.1	7.2	1.4	5.8	1.4	100	69

問 44 それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか。

1. 大切
2. 大切でない
8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	70.8	18.9	2.1	8.2	100	852
性別	男性	70.1	20.5	1.9	7.5	100	371
	女性	71.3	17.7	2.3	8.7	100	481
年齢	20-24	40.5	43.2	5.4	10.8	100	37
	25-29	48.7	35.9	5.1	10.3	100	39
	30-34	67.2	21.9	-	10.9	100	64
	35-39	54.8	40.3	1.6	3.2	100	62
	40-44	69.1	18.2	3.6	9.1	100	55
	45-49	75.3	13.7	-	11.0	100	73
	50-54	70.3	16.2	5.4	8.1	100	74
	55-59	78.4	9.5	4.1	8.1	100	74
	60-64	74.3	14.7	0.9	10.1	100	109
	65-69	76.6	17.0	1.1	5.3	100	94
	70 or Older	79.5	12.3	1.2	7.0	100	171

問 45 「法律はどんなときにも守るべきである」という意見と「目的が本当に正しいものだと言信がもてるときには、法律をやぶることもやむをえない」という意見があります。どちらの考えがあなたにぴったりですか。

1. 「どんなときにも守るべきだ」という意見
2. 「目的が正しい時には、法律をやぶることもやむをえない」という意見
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	39.1	54.2	0.5	6.2	100	852
性別	男性	41.5	55.3	0.3	3.0	100	371
	女性	37.2	53.4	0.6	8.7	100	481
年齢	20-24	16.2	75.7	-	8.1	100	37
	25-29	25.6	71.8	-	2.6	100	39
	30-34	31.3	68.8	-	-	100	64
	35-39	32.3	61.3	1.6	4.8	100	62
	40-44	38.2	56.4	-	5.5	100	55
	45-49	34.2	61.6	-	4.1	100	73
	50-54	40.5	52.7	1.4	5.4	100	74
	55-59	45.9	51.4	-	2.7	100	74
	60-64	44.0	50.5	0.9	4.6	100	109
	65-69	46.8	43.6	-	9.6	100	94
	70 or Older	43.9	43.9	0.6	11.7	100	171

問 46 契約書というものについて、次のAさんとBさんの意見のうち、あなたはどちらに近いですか。

A 「契約書をとりかわすというのは、お互いに信頼し合っていない証拠だ。信頼し合っていれば、契約書など必要ない」

B 「いくらお互いに信頼し合っている、契約は契約として、ちゃんと文書をとりかわしておく方がよい」

1. A の意見に近い
2. B の意見に近い
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	5.0	93.7	-	1.3	100	852
性別	男性	5.9	93.5	-	0.5	100	371
	女性	4.4	93.8	-	1.9	100	481
年齢	20-24	5.4	94.6	-	-	100	37
	25-29	2.6	97.4	-	-	100	39
	30-34	3.1	96.9	-	-	100	64
	35-39	3.2	96.8	-	-	100	62
	40-44	5.5	94.5	-	-	100	55
	45-49	5.5	94.5	-	-	100	73
	50-54	6.8	93.2	-	-	100	74
	55-59	4.1	95.9	-	-	100	74
	60-64	2.8	96.3	-	0.9	100	109
	65-69	5.3	91.5	-	3.2	100	94
	70 or Older	7.6	88.3	-	4.1	100	171

問 47 また、次のAさんとBさんの意見では、あなたはどちらに近いですか。

- A 「契約書をとりかわすときでも、契約は形式的なものだから、できるだけ簡単にして、契約書の表現もできるだけ融通がきくようなものにしておく方がよい」
- B 「契約書というものは、あとで解釈などをめぐってもめないように、できるだけこまかく具体的にキチッと決めておく方がよい」

1. A の意見に近い
2. B の意見に近い
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	-8	9	Total%	N
	Total	5.4	92.8	-	1.8	100	852
性別	男性	6.5	93.0	-	0.5	100	371
	女性	4.6	92.7	-	2.7	100	481
年齢	20-24	5.4	94.6	-	-	100	37
	25-29	10.3	89.7	-	-	100	39
	30-34	6.3	93.8	-	-	100	64
	35-39	8.1	91.9	-	-	100	62
	40-44	-	100.0	-	-	100	55
	45-49	5.5	94.5	-	-	100	73
	50-54	1.4	98.6	-	-	100	74
	55-59	5.4	94.6	-	-	100	74
	60-64	5.5	90.8	-	3.7	100	109
	65-69	5.3	93.6	-	1.1	100	94
	70 or Older	6.4	87.7	-	5.8	100	171

問 48 環境保護と経済成長について、AとBの2つの意見がよく出されます。どちらがあなたの考えに近いですか。

A ある程度の公害や環境汚染・自然破壊が伴うことがあっても、経済のゆとりや快適な生活は大切だと思う

B 公害や環境汚染・自然破壊を抑えるために、経済力が低下し生活が不便になってもよいと思う

1. Aの意見に近い

2. Bの意見に近い

8. その他(記入)

9. わからない

		1	2	8	9	Total%	N
	Total	37.4	57.3	0.8	4.5	100	852
性別	男性	36.4	60.6	0.8	2.2	100	371
	女性	38.3	54.7	0.8	6.2	100	481
年齢	20-24	43.2	56.8	-	-	100	37
	25-29	38.5	56.4	2.6	2.6	100	39
	30-34	34.4	59.4	1.6	4.7	100	64
	35-39	46.8	51.6	-	1.6	100	62
	40-44	25.5	70.9	1.8	1.8	100	55
	45-49	34.2	61.6	-	4.1	100	73
	50-54	36.5	58.1	-	5.4	100	74
	55-59	35.1	62.2	-	2.7	100	74
	60-64	32.1	64.2	-	3.7	100	109
	65-69	34.0	59.6	1.1	5.3	100	94
	70 or Older	45.6	44.4	1.8	8.2	100	171

問 49 今後の世界において、日本がすべきことがらについていろいろな意見があります。
 この中で、日本にとってもっとも大切と思うものを1つだけ選んでください。

1. 環境問題に積極的に取り組む
2. 戦争や地域紛争の解決、難民への支援や平和維持活動を行う
3. 科学技術の発展を促進する
4. 必要とされる国や地域に、積極的に経済援助をする
5. 異なる文化や宗教の間でお互いに理解を深めるようにつとめる
8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	5	8	9	Total%	N
性別	Total	37.2	25.4	15.0	8.7	10.4	-	3.3	100	852
	男性	33.2	22.4	20.8	10.0	11.6	-	2.2	100	371
	女性	40.3	27.7	10.6	7.7	9.6	-	4.2	100	481
年齢	20-24	27.0	24.3	13.5	13.5	18.9	-	2.7	100	37
	25-29	35.9	15.4	23.1	7.7	17.9	-	-	100	39
	30-34	43.8	15.6	18.8	9.4	12.5	-	-	100	64
	35-39	43.5	17.7	16.1	12.9	9.7	-	-	100	62
	40-44	34.5	21.8	29.1	3.6	9.1	-	1.8	100	55
	45-49	39.7	26.0	16.4	8.2	6.8	-	2.7	100	73
	50-54	44.6	23.0	18.9	4.1	6.8	-	2.7	100	74
	55-59	39.2	29.7	12.2	6.8	9.5	-	2.7	100	74
	60-64	35.8	28.4	11.9	11.0	10.1	-	2.8	100	109
	65-69	50.0	25.5	8.5	6.4	9.6	-	-	100	94
	70 or Older	24.6	32.2	11.7	10.5	11.1	-	9.9	100	171

問 51 さて、日頃の生活の中でのお気持ちをお聞かせください。次のようなことを感じていますか。

a 私には心のよりどころ、^慰励みとするものがある

1. そう思う
2. まあまあそう思う
3. どちらとも言えない
4. そうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
性別	Total	50.1	35.2	10.6	3.8	-	0.4	100	852
	男性	45.0	38.5	11.3	4.6	-	0.5	100	371
	女性	54.1	32.6	10.0	3.1	-	0.2	100	481
年齢	20-24	48.6	35.1	13.5	2.7	-	-	100	37
	25-29	69.2	25.6	5.1	-	-	-	100	39
	30-34	50.0	31.3	17.2	1.6	-	-	100	64
	35-39	56.5	30.6	11.3	1.6	-	-	100	62
	40-44	47.3	34.5	14.5	1.8	-	1.8	100	55
	45-49	56.2	34.2	8.2	1.4	-	-	100	73
	50-54	43.2	44.6	8.1	4.1	-	-	100	74
	55-59	50.0	35.1	10.8	4.1	-	-	100	74
	60-64	47.7	39.4	9.2	2.8	-	0.9	100	109
	65-69	46.8	35.1	12.8	4.3	-	1.1	100	94
	70 or Older	48.5	34.5	8.8	8.2	-	-	100	171

問 51 さて、日頃の生活の中でのお気持ちをお聞かせください。次のようなことを感じていますか。

b 今の生活に張り合いを感じている

1. そう思う
2. まあまあそう思う
3. どちらとも言えない
4. そうは思わない

8. その他（記入)
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	27.1	48.1	18.3	6.3	-	0.1	100	852
性別	男性	23.2	50.9	19.4	6.5	-	-	100	371
	女性	30.1	45.9	17.5	6.2	-	0.2	100	481
年齢	20-24	21.6	43.2	21.6	13.5	-	-	100	37
	25-29	25.6	51.3	20.5	2.6	-	-	100	39
	30-34	25.0	50.0	21.9	3.1	-	-	100	64
	35-39	29.0	58.1	11.3	1.6	-	-	100	62
	40-44	27.3	47.3	23.6	1.8	-	-	100	55
	45-49	28.8	46.6	17.8	6.8	-	-	100	73
	50-54	24.3	52.7	17.6	5.4	-	-	100	74
	55-59	25.7	44.6	23.0	6.8	-	-	100	74
	60-64	22.9	54.1	17.4	5.5	-	-	100	109
	65-69	27.7	51.1	17.0	3.2	-	1.1	100	94
	70 or Older	32.2	39.2	16.4	12.3	-	-	100	171

問 51 さて、日頃の生活の中での気持ちを聞かせてください。次のようなことを感じていますか。

c 私は世の中や家族のためになることをしていると思う

1. そう思う
2. まあまあそう思う
3. どちらとも言えない
4. そうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
性別	Total	23.7	42.4	26.1	7.6	-	0.2	100	852
	男性	21.3	39.4	29.9	8.9	-	0.5	100	371
	女性	25.6	44.7	23.1	6.7	-	-	100	481
年齢	20-24	10.8	32.4	45.9	10.8	-	-	100	37
	25-29	17.9	43.6	28.2	10.3	-	-	100	39
	30-34	17.2	40.6	37.5	4.7	-	-	100	64
	35-39	11.3	61.3	25.8	1.6	-	-	100	62
	40-44	23.6	43.6	29.1	3.6	-	-	100	55
	45-49	23.3	43.8	31.5	1.4	-	-	100	73
	50-54	27.0	45.9	23.0	4.1	-	-	100	74
	55-59	21.6	47.3	20.3	10.8	-	-	100	74
	60-64	25.7	43.1	22.9	8.3	-	-	100	109
	65-69	24.5	44.7	22.3	8.5	-	-	100	94
	70 or Older	32.7	31.6	21.6	12.9	-	1.2	100	171

問 51 さて、日頃の生活の中でのお気持ちをお聞かせください。次のようなことを感じていますか。

d 私は家族や他人から期待され頼りにされている

1. そう思う
2. まあまあそう思う
3. どちらとも言えない
4. そうは思わない

8. その他（記入）
9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	20.0	44.2	26.3	8.7	-	0.8	100	852
性別	男性	16.2	46.6	28.0	8.6	-	0.5	100	371
	女性	22.9	42.4	24.9	8.7	-	1.0	100	481
年齢	20-24	16.2	27.0	43.2	13.5	-	-	100	37
	25-29	15.4	51.3	25.6	7.7	-	-	100	39
	30-34	12.5	50.0	28.1	9.4	-	-	100	64
	35-39	16.1	53.2	25.8	4.8	-	-	100	62
	40-44	18.2	47.3	27.3	5.5	-	1.8	100	55
	45-49	23.3	49.3	27.4	-	-	-	100	73
	50-54	18.9	47.3	27.0	6.8	-	-	100	74
	55-59	23.0	51.4	13.5	12.2	-	-	100	74
	60-64	21.1	39.4	32.1	4.6	-	2.8	100	109
	65-69	17.0	40.4	31.9	9.6	-	1.1	100	94
	70 or Older	25.1	38.6	19.9	15.2	-	1.2	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事ごらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

a 宗教団体

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
性別	Total	2.0	11.3	45.7	39.3	1.8	100	852
	男性	0.8	10.2	48.2	39.4	1.3	100	371
	女性	2.9	12.1	43.7	39.3	2.1	100	481
年齢	20-24	-	5.4	40.5	54.1	-	100	37
	25-29	-	12.8	38.5	48.7	-	100	39
	30-34	1.6	3.1	43.8	51.6	-	100	64
	35-39	1.6	4.8	46.8	46.8	-	100	62
	40-44	-	7.3	43.6	45.5	3.6	100	55
	45-49	1.4	9.6	52.1	37.0	-	100	73
	50-54	4.1	12.2	48.6	35.1	-	100	74
	55-59	2.7	14.9	50.0	32.4	-	100	74
	60-64	2.8	14.7	43.1	34.9	4.6	100	109
	65-69	-	14.9	46.8	35.1	3.2	100	94
	70 or Older	3.5	13.5	44.4	35.7	2.9	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事ごらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

b 法律や裁判の制度

1. 非常に信頼する
 2. やや信頼する
 3. あまり信頼しない
 4. 全く信頼しない
9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
Total		10.0	62.3	22.8	2.5	2.5	100	852
性別	男性	12.9	60.6	21.8	3.5	1.1	100	371
	女性	7.7	63.6	23.5	1.7	3.5	100	481
年齢	20-24	5.4	54.1	35.1	5.4	-	100	37
	25-29	2.6	64.1	28.2	5.1	-	100	39
	30-34	6.3	51.6	40.6	1.6	-	100	64
	35-39	6.5	56.5	32.3	4.8	-	100	62
	40-44	5.5	61.8	29.1	1.8	1.8	100	55
	45-49	8.2	67.1	20.5	2.7	1.4	100	73
	50-54	8.1	74.3	13.5	2.7	1.4	100	74
	55-59	17.6	66.2	14.9	-	1.4	100	74
	60-64	11.0	67.9	18.3	-	2.8	100	109
	65-69	10.6	59.6	21.3	4.3	4.3	100	94
	70 or Older	14.0	59.1	18.7	2.3	5.8	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事がらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

c. 新聞・テレビ

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	6.5	63.3	25.6	4.0	0.7	100	852
性別	男性	5.1	60.6	27.8	6.5	-	100	371
	女性	7.5	65.3	23.9	2.1	1.2	100	481
年齢	20-24	-	73.0	21.6	5.4	-	100	37
	25-29	10.3	51.3	28.2	10.3	-	100	39
	30-34	3.1	57.8	37.5	1.6	-	100	64
	35-39	3.2	61.3	25.8	9.7	-	100	62
	40-44	1.8	49.1	38.2	9.1	1.8	100	55
	45-49	2.7	58.9	35.6	2.7	-	100	73
	50-54	4.1	68.9	25.7	1.4	-	100	74
	55-59	5.4	67.6	23.0	2.7	1.4	100	74
	60-64	7.3	58.7	29.4	3.7	0.9	100	109
	65-69	5.3	71.3	19.1	4.3	-	100	94
	70 or Older	14.0	67.3	15.2	1.8	1.8	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事ごらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

d 警察

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	9.7	60.4	25.5	3.3	1.1	100	852
性別	男性	9.2	61.5	24.3	5.1	-	100	371
	女性	10.2	59.7	26.4	1.9	1.9	100	481
年齢	20-24	2.7	56.8	32.4	8.1	-	100	37
	25-29	5.1	61.5	28.2	5.1	-	100	39
	30-34	4.7	51.6	39.1	4.7	-	100	64
	35-39	9.7	61.3	22.6	6.5	-	100	62
	40-44	5.5	56.4	32.7	3.6	1.8	100	55
	45-49	5.5	61.6	30.1	2.7	-	100	73
	50-54	10.8	63.5	23.0	2.7	-	100	74
	55-59	9.5	68.9	18.9	2.7	-	100	74
	60-64	10.1	59.6	28.4	0.9	0.9	100	109
	65-69	11.7	58.5	25.5	3.2	1.1	100	94
	70 or Older	15.8	61.4	17.0	2.3	3.5	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事がらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

e 国の行政

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

	1	2	3	4	9	Total%	N	
Total	2.7	35.7	49.8	10.1	1.8	100	852	
性別	男性	2.4	38.5	46.4	12.4	0.3	100	371
	女性	2.9	33.5	52.4	8.3	2.9	100	481
年齢	20-24	-	21.6	67.6	10.8	-	100	37
	25-29	-	20.5	66.7	12.8	-	100	39
	30-34	-	23.4	64.1	10.9	1.6	100	64
	35-39	1.6	33.9	45.2	19.4	-	100	62
	40-44	3.6	32.7	50.9	10.9	1.8	100	55
	45-49	-	39.7	49.3	11.0	-	100	73
	50-54	2.7	36.5	52.7	8.1	-	100	74
	55-59	1.4	40.5	50.0	8.1	-	100	74
	60-64	2.8	33.9	52.3	10.1	0.9	100	109
	65-69	3.2	39.4	45.7	9.6	2.1	100	94
	70 or Older	6.4	43.3	37.4	7.0	5.8	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事ごらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えてください。

(1つずつ聞く)

f 国会

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	1.6	22.9	55.3	18.3	1.9	100	852
性別	男性	1.3	22.1	55.3	21.0	0.3	100	371
	女性	1.9	23.5	55.3	16.2	3.1	100	481
年齢	20-24	-	10.8	62.2	27.0	-	100	37
	25-29	-	12.8	66.7	20.5	-	100	39
	30-34	-	14.1	62.5	21.9	1.6	100	64
	35-39	-	25.8	46.8	27.4	-	100	62
	40-44	1.8	20.0	54.5	21.8	1.8	100	55
	45-49	-	21.9	58.9	19.2	-	100	73
	50-54	-	21.6	66.2	12.2	-	100	74
	55-59	1.4	20.3	56.8	21.6	-	100	74
	60-64	2.8	23.9	53.2	19.3	0.9	100	109
	65-69	3.2	23.4	56.4	13.8	3.2	100	94
	70 or Older	3.5	32.2	45.6	12.9	5.8	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事ごらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

g NPO・NGO (非営利団体や非政府組織)

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	3.9	44.7	37.7	5.2	8.6	100	852
性別	男性	5.1	42.6	41.5	6.5	4.3	100	371
	女性	2.9	46.4	34.7	4.2	11.9	100	481
年齢	20-24	5.4	43.2	43.2	5.4	2.7	100	37
	25-29	2.6	66.7	23.1	5.1	2.6	100	39
	30-34	6.3	37.5	45.3	6.3	4.7	100	64
	35-39	1.6	43.5	45.2	9.7	-	100	62
	40-44	-	38.2	43.6	9.1	9.1	100	55
	45-49	2.7	39.7	53.4	2.7	1.4	100	73
	50-54	4.1	48.6	37.8	5.4	4.1	100	74
	55-59	1.4	52.7	35.1	5.4	5.4	100	74
	60-64	4.6	50.5	33.0	5.5	6.4	100	109
	65-69	4.3	41.5	37.2	4.3	12.8	100	94
	70 or Older	5.8	40.4	29.8	2.9	21.1	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事がらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかで教えてください。

(1つずつ聞く)

h 社会福祉施設

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
	Total	6.2	65.1	23.6	2.3	2.7	100	852
性別	男性	6.7	62.8	24.8	4.3	1.3	100	371
	女性	5.8	66.9	22.7	0.8	3.7	100	481
年齢	20-24	8.1	70.3	21.6	-	-	100	37
	25-29	10.3	66.7	20.5	2.6	-	100	39
	30-34	3.1	67.2	26.6	3.1	-	100	64
	35-39	3.2	62.9	29.0	4.8	-	100	62
	40-44	1.8	54.5	32.7	5.5	5.5	100	55
	45-49	1.4	65.8	28.8	4.1	-	100	73
	50-54	5.4	67.6	20.3	4.1	2.7	100	74
	55-59	4.1	75.7	17.6	1.4	1.4	100	74
	60-64	4.6	68.8	22.0	1.8	2.8	100	109
	65-69	8.5	63.8	21.3	1.1	5.3	100	94
	70 or Older	11.7	59.6	22.8	0.6	5.3	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事がらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

i 国連

1. 非常に信頼する
 2. やや信頼する
 3. あまり信頼しない
 4. 全く信頼しない
9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
Total		5.0	54.1	28.4	3.6	8.8	100	852
性別	男性	5.9	51.5	32.3	6.5	3.8	100	371
	女性	4.4	56.1	25.4	1.5	12.7	100	481
20-24		10.8	56.8	29.7	-	2.7	100	37
25-29		7.7	66.7	20.5	2.6	2.6	100	39
30-34		1.6	51.6	42.2	4.7	-	100	64
35-39		3.2	56.5	30.6	4.8	4.8	100	62
40-44		9.1	45.5	30.9	9.1	5.5	100	55
年齢	45-49	2.7	60.3	34.2	2.7	-	100	73
	50-54	6.8	48.6	33.8	2.7	8.1	100	74
	55-59	-	62.2	27.0	1.4	9.5	100	74
	60-64	4.6	62.4	21.1	5.5	6.4	100	109
	65-69	6.4	52.1	24.5	3.2	13.8	100	94
	70 or Older	5.8	45.6	25.7	2.9	19.9	100	171

問 52 あなたは、次にあげる組織や制度、事がらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。

(1つずつ聞く)

j 科学技術

1. 非常に信頼する
2. やや信頼する
3. あまり信頼しない
4. 全く信頼しない

9. わからない

		1	2	3	4	9	Total%	N
Total		15.1	67.6	11.0	0.6	5.6	100	852
性別	男性	19.7	67.7	9.2	1.1	2.4	100	371
	女性	11.6	67.6	12.5	0.2	8.1	100	481
20-24		13.5	75.7	10.8	-	-	100	37
25-29		20.5	64.1	12.8	2.6	-	100	39
30-34		12.5	76.6	10.9	-	-	100	64
35-39		8.1	71.0	17.7	1.6	1.6	100	62
40-44		21.8	50.9	20.0	1.8	5.5	100	55
年齢	45-49	6.8	83.6	9.6	-	-	100	73
	50-54	10.8	67.6	16.2	-	5.4	100	74
	55-59	18.9	68.9	5.4	-	6.8	100	74
	60-64	17.4	71.6	7.3	0.9	2.8	100	109
	65-69	13.8	68.1	11.7	-	6.4	100	94
70 or Older		18.7	57.3	8.2	0.6	15.2	100	171

問 53 現在、世界中にいろいろな宗教があり、宗教間の対立による争いが起こっていますが、これからの世界の人々は、どのようにすべきと思いますか。次のうち、どれがあなたのお考えに近いですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 世界の人々は、自分の宗教を広めるべき
2. 世界の人々は、自分の宗教を世界に理解させることに努力すべき
3. 世界の人々は、他のいろいろな宗教を理解することに努力すべき
4. 世界の人々は、理解するかどうかは別として、お互いの宗教を尊重すべき

8. その他（記入）

9. わからない

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	0.7	3.2	22.3	66.5	0.1	7.2	100	852
性別	男性	0.5	3.5	23.5	68.7	-	3.8	100	371
	女性	0.8	2.9	21.4	64.9	0.2	9.8	100	481
年齢	20-24	-	5.4	45.9	48.6	-	-	100	37
	25-29	-	2.6	23.1	71.8	-	2.6	100	39
	30-34	-	1.6	26.6	67.2	1.6	3.1	100	64
	35-39	-	1.6	27.4	66.1	-	4.8	100	62
	40-44	-	3.6	20.0	72.7	-	3.6	100	55
	45-49	-	1.4	21.9	76.7	-	-	100	73
	50-54	-	1.4	18.9	78.4	-	1.4	100	74
	55-59	2.7	2.7	27.0	62.2	-	5.4	100	74
	60-64	2.8	0.9	20.2	67.9	-	8.3	100	109
	65-69	-	7.4	19.1	62.8	-	10.6	100	94
70 or Older	0.6	4.7	17.0	60.8	-	17.0	100	171	

問 54 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。入っているものすべてをお答えください。(いくつでもいいです)

1. 政治関係の団体や会
2. 業界団体・同業者団体
3. ボランティアのグループ
4. 市民運動・消費者運動のグループ
5. 宗教の団体や会
6. スポーツ関係のグループやクラブ
7. 趣味の会(同窓会・老人会・コーラス・写真・山歩きなど)
8. コンピューター上のグループ
9. その他
10. わからない

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	N
性別	Total	2.0	5.8	9.6	2.2	6.2	17.6	25.6	6.1	2.9	0.5	852
	男性	3.5	10.8	10.2	1.9	5.4	21.3	24.5	9.7	3.2	-	371
	女性	0.8	1.9	9.1	2.5	6.9	14.8	26.4	3.3	2.7	0.8	481
年齢	20-24	-	2.7	2.7	-	2.7	27.0	13.5	16.2	-	-	37
	25-29	-	2.6	-	-	-	23.1	20.5	7.7	2.6	-	39
	30-34	-	6.3	3.1	3.1	4.7	9.4	12.5	14.1	-	-	64
	35-39	-	3.2	4.8	-	1.6	16.1	8.1	6.5	4.8	-	62
	40-44	1.8	7.3	9.1	3.6	-	21.8	18.2	18.2	3.6	1.8	55
	45-49	-	1.4	11.0	1.4	5.5	23.3	17.8	9.6	1.4	-	73
	50-54	4.1	8.1	9.5	2.7	10.8	16.2	25.7	1.4	1.4	1.4	74
	55-59	1.4	6.8	5.4	1.4	5.4	13.5	20.3	1.4	6.8	-	74
	60-64	4.6	8.3	13.8	4.6	10.1	18.3	25.7	5.5	2.8	0.9	109
	65-69	2.1	8.5	21.3	2.1	6.4	18.1	31.9	5.3	4.3	-	94
70 or Older	2.9	4.7	9.9	2.3	8.8	15.8	45.0	-	2.9	0.6	171	

問54 (参考)

各人の所属団体数 (最大値6)

		0	1	2	3	4	5	6	DK	N
性別	Total	50.4	30.2	12.3	4.3	1.8	0.4	0.2	0.5	852
	男性	45.6	31.8	14.3	4.6	3.0	0.3	0.5	-	371
	女性	54.1	28.9	10.8	4.2	0.8	0.4	-	0.8	481
年齢	20-24	59.5	24.3	10.8	2.7	2.7	-	-		37
	25-29	56.4	33.3	7.7	2.6	-	-	-		39
	30-34	64.1	26.6	4.7	1.6	3.1	-	-		64
	35-39	62.9	30.6	4.8	1.6	-	-	-		62
	40-44	47.3	29.1	14.5	3.6	3.6	-	-	1.8	55
	45-49	53.4	28.8	13.7	1.4	2.7	-	1.4	1.4	73
	50-54	50.0	29.7	12.2	4.1	1.4	-	-		74
	55-59	55.4	31.1	9.5	4.1	-	-	0.9		74
	60-64	46.8	28.4	12.8	7.3	1.8	0.9	-	0.9	109
	65-69	43.6	28.7	16.0	8.5	2.1	1.1	-		94
	70 or Older	40.9	34.5	17.0	4.7	1.8	0.6		0.6	171

F2 [年齢] あなたのお年は満でいくつですか。

歳

1. 20～24歳
2. 25～29歳
3. 30～34歳
4. 35～39歳
5. 40～44歳
6. 45～49歳
7. 50～54歳
8. 55～59歳
9. 60～64歳
10. 65～69歳
11. 70歳以上

	男性	女性	Total%	N
Total	43.5	56.5	100	852
1	45.9	54.1	100	37
2	38.5	61.5	100	39
3	40.6	59.4	100	64
4	37.1	62.9	100	62
5	43.6	56.4	100	55
年齢 6	41.1	58.9	100	73
7	39.2	60.8	100	74
8	51.4	48.6	100	74
9	46.8	53.2	100	109
10	48.9	51.1	100	94
11	42.1	57.1	100	171

F3 [学歴] あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。
(中退・在学中は卒業としてお答えください。)

1. 小学校・中学校 (および旧高小)
2. 高校 (および旧中)
3. 短大・専門学校
4. 大学・大学院

8. その他 (記入)
9. わからない・無回答

		1	2	3	4	8	9	Total%	N
	Total	14.3	45.4	18.1	21.5	0.2	0.5	100	852
性別	男性	14.6	41.2	9.4	34.2	-	0.5	100	371
	女性	14.1	48.6	24.7	11.6	0.4	0.4	100	481
年齢	20-24	8.1	21.6	27.0	43.2	-	-	100	37
	25-29	-	20.5	28.2	48.7	-	2.6	100	39
	30-34	4.7	40.6	29.7	25.0	-	-	100	64
	35-39	3.2	41.9	29.0	25.8	-	-	100	62
	40-44	3.6	41.8	29.1	25.5	-	-	100	55
	45-49	-	38.4	26.0	35.6	-	-	100	73
	50-54	5.4	55.4	23.0	14.9	-	1.4	100	74
	55-59	9.5	51.4	13.5	24.3	-	1.4	100	74
	60-64	12.8	48.6	19.3	19.3	-	-	100	109
	65-69	26.6	56.4	6.4	8.5	1.1	1.1	100	94
	70 or Older	36.3	48.5	4.1	10.5	0.6	-	100	171

F4〔職業〕 あなたのご職業は何ですか。

- 12. 農林漁業
- 13. 商工サービス業
- 14. 自由業
- 15. 管理職
- 16. 専門・技術職
- 17. 事務職
- 18. 労務職
- 19. 農林漁業
- 20. 商工サービス業
- 21. 自由業
- 22. 無職の主婦
- 23. 学生
- 24. その他の無職

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	Total%	N
	Total	1.8	8.2	1.9	2.1	3.9	16.9	20.0	0.7	4.0	0.4	22.9	1.3	16.1	100	852
性別	男性	3.0	13.5	1.6	4.0	5.4	17.3	22.1	0.5	3.0	-	-	1.9	27.8	100	371
	女性	0.8	4.2	2.1	0.6	2.7	16.6	18.3	0.8	4.8	0.6	40.5	0.8	7.1	100	481
年齢	20-24	-	2.7	-	-	8.1	18.9	21.6	-	-	-	8.1	29.7	10.8	100	37
	25-29	-	-	-	-	7.7	43.6	28.2	-	7.7	-	10.3	-	2.6	100	39
	30-34	-	3.1	1.6	-	10.9	28.1	23.4	-	4.7	-	25.0	-	3.1	100	64
	35-39	-	3.2	-	4.8	3.2	25.8	24.2	-	8.1	1.6	27.4	-	1.6	100	62
	40-44	-	5.5	3.6	1.8	3.6	32.7	29.1	-	3.6	-	12.7	-	7.3	100	55
	45-49	-	8.2	2.7	1.4	4.1	27.4	26.0	-	5.5	-	21.9	-	2.7	100	73
	50-54	-	13.5	2.7	5.4	1.4	24.3	33.8	-	4.1	-	10.8	-	4.1	100	74
	55-59	1.4	13.5	1.4	6.8	5.4	16.2	28.4	1.4	6.8	-	10.8	-	8.1	100	74
	60-64	3.7	9.2	4.6	1.8	5.5	9.2	24.8	-	1.8	1.8	25.7	-	11.9	100	109
	65-69	3.2	8.5	-	1.1	2.1	5.3	10.6	1.1	3.2	-	31.9	-	33.0	100	94
70 or Older	4.1	10.5	1.8	0.6	-	1.8	1.8	2.3	2.3	-	33.9	-	40.9	100	171	

F5〔世帯収入〕では、お宅の収入は、ご家族全部合わせて、過去1年間でおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答えください。

1. 200万円未満
2. 200万円～400万円未満
3. 400万円～800万円未満
4. 800万円～1,200万円未満
5. 1,200万円以上

8. 回答拒否
9. わからない

		1	2	3	4	5	8	9	Total%	N
性別	Total	10.2	24.1	29.3	10.3	3.8	9.9	12.4	100	852
	男性	9.2	23.5	34.0	9.7	4.6	11.1	8.1	100	371
	女性	11.0	24.5	25.8	10.8	3.1	8.9	15.8	100	481
年齢	20-24	5.4	21.6	16.2	-	-	2.7	54.1	100	37
	25-29	5.1	10.3	30.8	5.1	7.7	10.3	30.8	100	39
	30-34	3.1	34.4	40.6	4.7	-	6.3	10.9	100	64
	35-39	6.5	24.2	38.7	12.9	1.6	8.1	8.1	100	62
	40-44	5.5	20.0	32.7	18.2	3.6	10.9	9.1	100	55
	45-49	1.4	12.3	50.7	19.2	2.7	6.8	6.8	100	73
	50-54	4.1	16.2	35.1	20.3	8.1	14.9	1.4	100	74
	55-59	13.5	18.9	24.3	18.9	8.1	12.2	4.1	100	74
	60-64	11.0	29.4	24.8	12.8	2.8	11.0	8.3	100	109
	65-69	19.1	30.9	26.6	1.1	2.1	10.6	9.6	100	94
70 or Older	17.5	28.7	18.1	4.1	4.1	9.9	17.5	100	171	

F6 [同居人数] 今、ごいっしょにお住まいの方は、あなた自身をふくめて、何人でしょうか。

人

99 無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	DK	Total%	N	
Total	7.0	31.6	23.5	18.9	10.7	4.9	1.9	1.1	0.1	0.4	100	852	
性別	男性	6.2	34.2	24.5	17.5	10.2	5.4	0.8	0.3	0.3	0.5	100	371
	女性	7.7	29.5	22.7	20.0	11.0	4.6	2.7	1.7	-	0.2	100	481
年齢	20-24	2.7	2.7	29.7	37.8	13.5	8.1	5.4	-	-	-	100	37
	25-29	7.7	25.6	23.1	20.5	15.4	2.6	-	2.6	-	2.6	100	39
	30-34	4.7	23.4	34.4	23.4	10.9	1.6	-	-	1.6	-	100	64
	35-39	1.6	21.0	14.5	32.3	16.1	6.5	4.8	3.2	-	-	100	62
	40-44	3.6	25.5	18.2	27.3	12.7	9.1	1.8	-	-	1.8	100	55
	45-49	5.5	21.9	17.8	28.8	17.8	5.5	2.7	-	-	-	100	73
	50-54	2.7	17.6	33.8	20.3	16.2	5.4	1.4	2.7	-	-	100	74
	55-59	6.8	28.4	18.9	29.7	8.1	4.1	1.4	1.4	-	1.4	100	74
	60-64	4.6	36.7	33.9	8.3	12.8	2.8	-	0.9	-	-	100	109
	65-69	5.3	45.7	29.8	7.4	2.1	7.4	-	2.1	-	-	100	94
70 or Older	17.0	48.5	12.9	8.8	5.3	4.1	3.5	-	-	-	100	171	

F7〔同居形態〕 現在、あなたは誰と一緒に住まいですか。次から、当てはまるものをすべて
お選びください。(いくつでも)

1. 本人だけ (独り暮らし)
2. 配偶者 (妻、夫、パートナー)
3. 親
4. 兄弟・姉妹
5. 子供
6. 親戚
7. ルームメイト・友人
8. それ以外の人 (記入)
9. 無回答

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	N
Total		7.0	73.5	23.2	6.3	52.8	0.8	0.1	8.0	0.4	852
性別	男性	6.2	76.8	24.3	5.4	50.4	0.8	0.3	6.7	0.5	371
	女性	7.7	70.9	22.5	7.1	54.7	0.8	-	8.9	0.2	481
20-24		2.7	16.2	81.1	54.1	13.5	2.7	-	27.0	-	37
25-29		7.7	43.6	51.3	33.3	23.1	-	-	10.3	2.6	39
30-34		4.7	71.9	31.3	7.8	54.7	-	-	6.3	-	64
35-39		1.6	83.9	27.4	3.2	71.0	-	-	-	-	62
40-44		3.6	72.7	27.3	7.3	60.0	3.6	-	-	1.8	55
年齢	45-49	5.5	79.5	32.9	1.4	72.6	-	-	1.4	-	73
	50-54	2.7	77.0	43.2	6.8	71.6	-	-	1.4	-	74
	55-59	6.8	81.1	23.0	1.4	58.1	1.4	-	6.8	1.4	74
	60-64	4.6	86.2	13.8	0.9	57.8	-	-	6.4	-	109
	65-69	5.3	87.2	4.3	1.1	48.9	1.1	1.1	10.6	-	94
	70 or Older	17.3	66.2	2.3	0.6	52.9	1.2	-	15.2	-	171

b. 自由回答・問 10a

Q10a: それでは、あなたが一番尊敬する職業は何ですか。(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)

No.	Q10a
111-2	特にない
111-3	公務員
111-4	医師
111-5	特になし
111-6	職人
111-7	役人
111-10	
111-11	医療関係、福祉関係に携わる人
111-12	本人が良いと思う職業が一番良い
111-14	医者
111-15	会社経営者
112-4	
112-6	
112-7	仙人
112-8	医療関係の人
112-9	
112-11	医者
112-12	医者
112-15	職人、技術者
121-1	教師
121-2	自分の仕事
121-4	なし
121-7	どれでもほとんど
121-10	
121-11	公務員
121-12	
121-13	製造業(物を作っている人)
121-14	
121-15	
141-1	なし
141-4	福祉関係

No.	Q10a
141-5	
141-10	特にない、思い浮かばない
141-12	公務員、安定した職
141-13	職種は関係ない。働くだけでも素晴らしいこと。
141-15	特にない
151-5	毎月決まったお金がきちんと入ってくる職業
151-7	なし
151-9	医者
151-11	サラリーマン
151-13	公務員
151-15	母
161-3	技術屋、エンジニア
161-4	農家
161-8	冷暖房の仕事(自分の仕事だから)
161-10	
161-11	
161-12	弁護士
161-14	何かを生産する仕事
211-2	新聞配達
211-3	特にこれとってない
211-4	医者
211-5	すべての職業
211-6	医者
211-7	物を造る職業
211-8	調理人
211-9	公務員

No.	Q10a
211-12	医者
211-15	
221-2	なし
221-3	医者
221-4	農業(新たな作物を作る人)
221-7	警察
221-9	医者
221-11	看護師
221-12	医者
221-13	農業
221-15	農業
222-2	
222-4	
222-5	企業人
222-7	
222-9	特になし
222-11	
222-13	医者
222-14	
241-1	福祉関係
241-2	お坊さん
214-5	医者
241-6	公務員
241-7	教師
241-10	教師
241-11	介護
241-12	警察
241-13	農家
251-2	自衛官
251-3	
251-5	医師、教育関係
251-6	仕事に差はない
251-8	医師

No.	Q10a
251-9	先生
251-10	
251-11	福祉関係
251-12	農業、政治家
251-13	
251-14	老人施設の職員
252-3	警備員
252-4	自分で独立して仕事をまっとうしている人
252-6	職人（技術を持った）
252-10	医者、発明家、芸術家
252-13	ない
252-14	専門技術を持つ仕事
253-1	
253-2	先生
253-3	会社員
253-4	
253-6	
253-9	
253-10	国境なき医師団
253-11	なし
253-12	
253-13	病院医師（先生）
261-2	警察官、消防士、介護士
261-3	
261-5	消防士、警察官
261-7	ボランティア団体
261-10	
261-11	看護師、保母
261-12	

No.	Q10a
261-13	
261-15	
262-1	まじめに仕事をすれば良い（何の仕事でも）
262-2	
262-12	
262-13	医師
262-14	
262-15	農業者
301-7	
301-8	なし
301-12	看護師
301-13	
301-14	音楽家
302-7	料理人
302-8	先生（学校）
302-15	弁護士
303-3	ものづくり
303-15	とくにない
304-1	アーティスト
304-9	なし
304-10	介護
304-12	看護師
304-13	音楽家
304-15	介護
305-2	各々の人の親の職業
305-11	とくにない
305-15	とくにない、なんでも尊敬できる
306-5	技術者
306-6	警察官
306-9	音楽家

No.	Q10a
306-11	どんな職業でも一生懸命働いていれば尊敬する
306-12	大工
306-14	
307-2	医者
307-3	職業では尊敬してない
307-6	
307-7	芸術家
307-9	人の生活、命に直接かかわる仕事
307-14	先生（学校の）
308-1	公務員
308-5	特になし
308-8	
308-9	
308-15	
311-1	建築士
311-4	
311-5	
311-6	
311-9	
311-10	介護士
312-1	政治家
312-3	医者
312-9	なし
312-10	
312-12	
312-13	
312-14	看護師
313-5	何でも良い
313-11	
313-15	経営者

No.	Q10a
314-5	職業には貴せんはない
314-9	医者
314-10	生産に関わる人、物をつくる人
314-12	特になし
314-13	消防士
314-15	学校の先生
315-1	医者
315-2	教師
315-7	学者
315-12	クリエイティブな仕事＝芸術家
315-13	職人
315-15	学者
316-4	技術職、消防士、警察官
316-8	特になし
316-12	NPOで働く
316-13	
316-14	医者、芸術家
317-5	自営業
317-10	介護等福祉関係
317-11	
317-12	消防警察
317-13	役人、世の中に役立つ人
321-1	農業
321-8	介護士
321-9	農業
321-10	
321-12	先生
321-13	

No.	Q10a
321-15	お医者さん
322-5	職人
322-7	こだわらない
322-8	とくになし
322-9	技術職
322-13	農業
322-15	とくになし
323-1	一生懸命頑張っている人なら
323-3	まじめに働く
323-4	医者
323-8	一生懸命働くこと
323-12	真面目に働けば何でも
323-15	医者（元医療事務をしていたので、よくみていた）
324-2	農業
324-5	自由人
324-9	自由人（＝束縛されない職業）
324-10	一生懸命働く人
324-12	牧師、裁判官
324-13	医師
324-14	科学者
325-7	
325-10	教師
325-11	教員、司法書士
325-13	
326-1	自衛隊
326-2	介護職
326-3	自衛官
326-6	サラリーマン
326-7	

No.	Q10a
326-10	
326-11	医者
326-14	医者
327-3	どんな職業も
327-5	農業
327-6	なし
327-7	なし
327-11	人の命を助ける職業
327-12	みんなの職業
327-15	命をかける職業
328-8	本人が志す職業なら、どんな職業でも敬うべきである。一生懸命働ける職業。
328-12	お医者さん
329-1	政治家、医者
329-4	全ての職業
329-6	福祉関係に携わっている人
329-8	研究者
329-10	なし
329-11	葬儀社、消防官、救急車関係
329-12	建設技術者
330-2	政治家
330-5	農業に従事している人
330-6	設計技師
330-8	医師
330-10	警察
330-11	教育者
341-5	農業
341-8	医者

No.	Q10a
341-9	医者
341-10	医者
341-11	医者
341-12	医者
341-13	どんな職業でもし っかりと仕事をしている人
341-15	医者
342-2	床屋さん
342-4	
342-5	
342-6	人のためになる仕 事
342-8	医者
342-9	お医者さん
342-10	サラリーマン
342-13	お医者様
342-14	医者
342-15	教師、保育士
343-1	医者
343-7	洗濯屋
343-9	保育士、看護師
343-11	なし
343-14	なし
344-1	大工
344-4	政治家
344-11	政治家
344-12	医者
344-14	
344-15	
345-1	介護士
345-7	医者
345-8	介護士
345-12	

No.	Q10a
345-15	学校の先生
346-7	特になし、何しても 良い
346-10	学校の先生
346-12	看護師
347-12	美容師
347-14	
347-15	特になし
351-2	
351-3	保育士
351-7	看護師
351-10	自営業
351-11	医者
351-15	
352-2	医者
352-5	なし
352-6	医者
352-8	看護師
352-9	裁判官
352-11	世の中の役に立つ 職業 (わからない)
353-12	
352-13	農業
352-14	
353-4	
353-7	農業
353-10	
353-13	
353-15	
354-3	
354-4	自分の仕事
354-12	医者
355-3	ない
355-9	書く事 (作家等)

No.	Q10a
355-10	牧師
355-12	
355-13	医者
355-14	医者
355-15	看護師等医療関係
361-2	ない
361-4	技能職
361-7	会社員
361-9	公務員
361-10	介護師
361-12	
361-13	教師
361-14	
362-4	お医者さん
362-5	僧侶
362-8	農業、漁業、生産業
362-9	教師
362-11	いい医者
362-12	国宝になるような 物を作る人
362-15	ない
411-1	国境なき医師団 (N GO)
411-2	医者
411-4	
411-7	
411-8	なし
411-9	医療系
411-10	命を助ける職業
411-11	医者
411-12	なし
411-14	
421-1	医者
421-2	福祉関係

No.	Q10a
421-5	なし
421-6	生産する人
421-11	先生
421-12	特になし
421-15	人の為になること (ボランティア)
441-1	なし
441-3	農業
441-5	医者
441-6	看護師
441-8	害のない仕事、一生 懸命働く仕事
441-10	看護師
441-13	技術者、科学者
441-15	床屋
451-1	医者
451-2	
451-4	
451-7	料理人
451-9	
451-10	看護師
451-12	医者
451-13	医者
452-1	製造業
452-2	
562-3	自分の仕事を一番 尊敬する
452-4	自営で頑張ってい る人
452-5	
452-8	セールス
452-11	手に技術を持つ人

No.	Q10a
452-12	裏方の仕事。清掃 とか新聞配達
452-13	医者
452-14	サービス業(接客 業)
461-1	船員
461-3	物を作る人、エンジ ニア
461-4	猟師
461-5	公務員
461-7	なし
461-9	医者
461-10	主婦
461-11	農業
461-12	猟師
461-13	教師
461-14	技術者
461-15	介護の人
521-2	医者
521-3	サービス業(人のた めに働く)
521-4	医者
521-6	お医者様
521-7	主婦
521-13	なし
521-14	教育者
521-15	教職員
541-4	学校の先生
541-5	教師
541-8	警察
541-9	福祉に関する仕事
541-11	特になし
541-12	警察
541-13	医師

No.	Q10a
541-15	医者(海外ボラン ティアをしている)
551-1	看護師
551-4	政治家
551-5	医者
551-6	
551-8	
551-11	政治家
551-12	
551-14	特になし
552-2	別になし
552-3	なし
552-4	
552-7	ボランティア、海外 協力隊
552-8	
552-9	医療関連に従事す る仕事
552-10	
552-11	
552-12	
552-14	消防士
552-15	特になし
561-1	
561-2	別になし
561-3	農業
561-4	自分に向いた(適し た)職業
561-5	どんな職業も尊敬 できる
561-6	職人
561-7	
561-9	

No.	Q10a
561-10	サービス業（介護など）
561-11	医者、警察官
561-12	公務員
561-13	
561-14	なし
561-15	農業
611-2	なし
611-3	レスキュー隊、医者
611-4	なし
611-7	なし
611-10	なし
611-12	特になし
611-13	医者
611-14	なし
611-15	医療関係、介護関係
612-3	医者
612-6	車の営業マン
612-9	医者
612-10	
612-12	介護職
612-15	なし
613-7	医師
613-8	
613-12	
613-15	公務員
621-2	農業
621-4	海上保安庁
621-6	自分がやった仕事
621-7	自分に与えられた仕事
621-10	介護士

No.	Q10a
621-12	救助する人（レスキュー隊）
621-13	医師
621-14	医者
621-15	医者
622-1	おまわりさん
622-3	医師
622-4	F1ドライバー
622-6	職人
622-11	先生
622-12	福祉関連の仕事
622-14	なし
623-4	
623-5	サービス業
623-6	医師
623-8	なし
623-10	
623-11	医師
641-2	総理大臣
641-3	電気職人
641-6	ドクター
641-7	自営業の社長
641-8	警察官
641-9	
641-10	医師
641-11	医師
641-13	教師
641-14	キャビンアテンダント
641-15	
642-2	
642-3	先生
642-5	お金を求めない職業

No.	Q10a
642-6	パイロット
642-8	
642-10	技術者
642-14	社会貢献している職業
642-15	医師
643-3	
643-9	ない
643-10	
643-13	
643-14	農業
643-15	
651-2	なし
651-3	なし
651-4	
651-6	なし
651-7	警察
651-9	児童施設関係者
651-10	なし
651-13	なし
651-14	なし
651-15	なし
652-1	
652-5	音楽関係
652-6	なし
652-9	看護婦
652-10	介護職
652-11	好きな仕事をする人
652-12	介護職
661-1	特になし
661-6	自分の職業
661-7	人それぞれ。一概に言えない。

No.	Q10a
661-9	
661-10	
661-13	
661-15	
711-2	物を作り出す仕事
711-4	サラリーマン
711-5	
711-6	
711-7	警察官
711-9	医師
711-10	医師
711-15	看護師
712-4	音楽家
712-5	
712-8	
712-9	人の役に立つ仕事
712-10	
712-13	医者
712-14	医者
713-2	自分のやっている ハウスクリーニング
713-3	政治家は嫌いだけ れど、政治家の職業は良い
713-6	農業
713-8	障害者養護学校の 先生
713-11	医者
713-12	学校の先生
714-3	
714-9	消防士
714-10	
714-15	税理士
715-1	なし
715-4	技術職

No.	Q10a
715-6	技術に優れた人→ 優れた技術職
715-8	特になし
715-9	
715-10	公務員
715-11	サービス業
715-13	児童福祉施設で働 く人
715-14	第一産業（農業）
715-15	
716-4	
716-12	
721-3	医者
721-6	教育者
721-7	パイロット
721-9	普通の会社員
721-10	医者
721-11	特になし
721-15	教師
722-2	弁護士
722-4	自分の仕事（質屋）
722-9	
722-10	人より秀でたこと をしている人。職業は問わ ない。
722-11	
722-12	医者
722-13	
722-14	なし
722-15	
723-3	経営者→特に中小 企業
723-4	職人技
723-5	

No.	Q10a
723-9	医者
723-11	知的労働者
723-12	
723-13	消防士
723-14	
723-15	職人さん
724-1	消防士
724-2	公務員
724-3	農業
724-5	特にいえない
724-6	公務員
724-7	
724-8	いろんな職場ごと に一生懸命やっている人は 尊敬できるので、職業とし てはいえない
724-10	特になし
724-14	教師
724-15	アナウンサー
725-2	医者
725-6	看護師
725-9	水道関係の職業
725-10	手に職を持って
725-11	学校の先生
725-13	
725-14	
725-15	商売人
726-6	
726-13	医者
726-14	先生
741-2	
741-4	技術職
741-7	
741-8	第一次産業

No.	Q10a
741-13	
741-14	看護師
741-15	
742-10	公務員
742-12	看護師
742-14	警察官
751-1	介護をする人
751-2	なし
751-3	全部の職業
751-9	職業に差別は無い。 一生懸命すれば良い。
751-13	職業は納得していたら良い
751-14	
751-15	
752-7	公務員
752-8	農業
752-9	福祉
752-10	なんでも
752-12	どの職業も尊敬
752-14	介護士
753-1	宇宙開発の仕事
753-2	どの職業においても全うしておればよろしい
753-5	宗教家
753-6	公共事業に携わる職業
753-7	お金の事は考えずに世の中のために貢献できる職業
753-8	技術のある職業(サラリーマン)
753-10	幼稚園の先生

No.	Q10a
753-12	それぞれ自分にあつた職業ならいい
753-13	医者
753-14	定職につけば、どんな職業でもいいです
753-15	
754-1	医者
754-3	
754-7	建築業、建築士
754-8	特定できない
754-9	
754-10	
754-13	なし
754-14	汚物の処理をしてくれる人
761-4	物を作る製造業
761-5	公務員
761-6	特にない
761-7	国家公務員
761-9	教師
761-10	医者
761-13	教師
761-14	医者
761-15	看護師、医者、教師
811-2	なし
811-4	弁護士、裁判官
811-5	自営業
811-7	医者
811-8	建築業
811-9	
811-10	先生
811-13	

No.	Q10a
811-14	開発者(物を開発する人)
812-1	なし
812-2	なし
812-4	医者
812-6	営業の仕事
812-7	公務員
812-9	農業をしている人
812-10	なし
812-11	
812-12	なし
812-14	
821-1	技術職(会社員)
821-2	
821-4	人のためになる議員
821-6	なし
821-7	
821-9	警察官、看護師
821-10	自分にあつた仕事、体を動かす仕事
821-12	スチュワーデス
821-15	仕事している人全て
841-2	看護師
841-3	世のため人のために看護師、消防隊
841-4	教師
841-5	ない
841-7	なんでも一緒にです
841-9	農業
841-10	医師
841-12	安定な職業、鉄道員

No.	Q10a
841-13	趣味を生かした仕事
841-14	なし
842-1	公務員
841-2	
842-4	医者
842-5	医者
842-12	農業
842-14	看護師
851-3	製造業、農業
851-5	医者、教師、農業
851-8	
851-13	介護士
851-14	福祉関係
861-1	なし
861-2	自営業
861-3	スポーツマネジメント
861-4	公務員
861-5	公務員
861-6	公務員
861-8	国家公務員
861-9	
921-4	職人
921-6	科学者
921-7	なし
921-8	なし
921-10	なし
921-11	ない
921-12	特にない
921-13	ない
921-14	主婦
921-15	医者

No.	Q10a
941-2	本人にあえば何でもよい
941-8	自分が天職と思えるもの
941-10	
941-13	
941-15	介護ヘルパー
951-1	印刷業。自分が勤めてきた
951-3	
951-4	科学者
951-5	医療関係
951-9	お医者様、先生
951-10	
951-11	
951-12	
951-13	医療従事者
961-1	
961-4	研究者
961-5	実業家
961-6	技術者
961-7	政治家
961-13	
961-14	学校の先生
961-15	
1011-2	政治家
1011-4	なし
1011-12	先生
1011-13	なし
1012-2	海外ボランティア
1012-7	医者、警察、消防士
1021-3	医者
1021-6	

No.	Q10a
1021-8	
1021-9	教師（幼稚園～大学）
1021-11	看護師
1021-12	介護士
1021-15	
1022-2	新聞販売員
1022-5	なし
1022-8	
1022-9	学校の先生
1022-10	
1022-11	鮮魚屋
1022-13	クリーニング業
1022-14	
1022-15	すべての職業
1023-10	
1023-12	医師
1023-13	宮司
1023-15	
1041-2	医者
1041-4	なし
1041-6	特になし
1041-12	特になし
1041-15	看護師
1042-2	
1042-3	自分の仕事(建設)
1042-4	
1042-6	経営者
1042-7	医者
1042-8	
1042-10	介護福祉
1042-12	
1042-14	自分のやっている

No.	Q10a
1042-15	現在自分のやっている仕事
1042-15	先生
1051-1	警察官
1051-6	弁護士
1051-9	トリマー(犬、猫、小動物の)
1051-10	医者
1051-14	国境のなき医師団(NPO)
1051-15	なし
1052-2	公務員
1052-5	自分に適した職業
1052-6	なし
1052-7	
1052-8	学校の先生
1052-10	公務員
1052-14	
1053-6	技術で頑張る人
1053-8	技術者
1053-9	
1053-10	自衛官
1053-11	
1053-12	どんな仕事でも一生懸命すればいい
1053-13	
1053-14	
1053-15	医者
1054-2	国会議員
1054-8	先生
1054-9	医者
1054-10	介護士
1054-12	教師
1054-13	芸術家

No.	Q10a
1054-14	県庁職員
1054-15	医者
1061-4	なし
1061-6	陶芸家
1061-7	
1061-8	なし
1061-9	
1061-10	公務員
1061-12	
1061-15	病院の先生
1062-1	農業
1062;3	プロゴルファー・石川
1062-5	
1062-6	農業
1062-7	技術者
1062-8	
1062-11	
1062-12	

自由回答・問 10b

Q10b:では、あなたが一番信用できないと思う職業は何ですか。(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)。

No.	Q10b	No.	Q10b	No.	Q10b
111-2		141-12	特にない	221-11	ない
111-3		141-13		221-12	弁護士
111-4	商人	141-15	人に迷惑をかける。だます。	221-13	
111-5	公務員	151-5	特にない	221-15	政治家
111-6	政治家	151-7	なし	222-2	
111-7		151-9	国会議員	222-4	
111-10		151-11	水商売	222-5	
111-11	政治家	151-13	ない	222-7	国会議員
111-12		151-15		222-9	政治家
111-14		161-3		222-11	
111-15	公務員	161-4		222-13	サラ金
112-4		161-8	勧誘の仕事	222-14	
112-6	政治家	161-10		241-1	
112-7	公務員	161-11		241-2	詐欺師
112-8		161-12	医者	241-5	サラ金
112-9	営業マン	161-14	金融関係の仕事 (自分達の利益ばかり考えているような)	241-6	高利貸し
112-11	教師	211-2	不動産屋	241-7	商業関係
112-12	サラ金	211-3		241-10	政治家
112-15	やくざ	211-4	スポーツ選手	241-11	詐欺師
121-1	医者	211-5		241-12	
121-2	政治家	211-6	政治	241-13	ギャンブラー
121-4	政治家	211-7	政治家	251-2	マスコミ
121-7	ヤミにつながるもの	211-8	金融業者	251-3	
121-10		211-9	セールスマン	251-5	不動産関係、総会屋
121-11		211-12		251-6	仕事に差はない
121-12	金貸業者等	211-15	政治家	251-8	政治家
121-13	政治家	221-2	なし	251-9	
121-14	政治家	221-3	警察	251-10	
121-15	警察	221-4	金融業	251-11	公務員系
141-1	なし	221-7	営業	251-12	
141-4		221-9	医者	251-13	特にない
141-5	さぎ			251-14	公務員
141-10	特にない			252-3	なし
				252-4	農家

No.	Q10b
252-6	販売の営業マン
252-10	金融関係
252-13	ない
252-14	
253-1	
253-2	
253-3	セールス
253-4	
253-6	
253-9	セールスマン
253-10	ありません
253-11	学校の先生
253-12	
253-13	
261-2	特になし
261-13	
261-5	高利貸
261-7	
261-10	
261-11	特になし
261-12	
261-13	
262-15	
262-1	政治家
262-2	政治家
262-12	政治家
262-13	政治家
262-14	政治家
262-15	
301-7	公務員
301-8	なし
301-12	坊さん
301-13	マスコミ
301-14	警察官

No.	Q10b
302-7	宅急便配達人
302-8	政治家
302-15	なし
303-3	政治家
303-15	医者
304-1	政治家
304-9	政治家
304-10	政治家
304-12	なし
304-13	
304-15	政治家
305-2	官僚
305-11	なし
305-15	なし
306-5	貸金業
306-6	政治家
306-9	化粧品関連の職業
306-11	
306-12	
306-14	
307-2	政治家
307-3	政治家
307-6	
307-7	政治家
307-9	訪問販売
307-14	政治家
308-1	金融機関
308-5	特になし
308-8	
308-9	証券会社
308-15	すぐに浮かばない
311-1	
311-4	押し売りセールスマン

No.	Q10b
311-5	政治家
311-6	
311-9	
311-10	
312-1	政治家
312-3	
312-9	フリーター
312-10	
312-12	
312-13	政治家
312-14	金融業
313-5	オンライン
313-11	
313-15	
314-5	なし
314-9	政治家
314-10	政治家
314-12	なし
314-13	
314-15	なし
315-1	政治家
315-2	銀行、証券=金融機関
315-7	
315-12	テレビのコメンテーター
315-13	
315-15	政治屋
316-4	弁護士
316-8	特になし
316-12	政治家
315-13	貸金業、政治家
316-14	消費者金融業
317-5	詐欺師

No.	Q10b
317-10	政治家
317-11	
317-12	金融業
317-13	詐欺師、泥棒
321-1	政治家
321-8	政治家
321-9	特になし
321-10	
321-12	政治家
321-13	
321-15	高利貸し業
322-5	
322-7	なし
322-8	とくになし
322-9	金融
322-13	
322-15	なし
323-1	詐欺師
323-3	悪質販売
323-4	泥棒
323-8	他人に害を与える
323-12	特になし
323-15	泥棒、詐欺師
324-2	政治家
324-5	政治家
324-9	政治家、高利貸
324-10	ヤクザ (反社会的人間)
324-12	サラ金業者
324-13	政治家
324-14	占い師
325-7	
325-10	風俗業
325-11	サラ金

No.	Q10b
325-13	
326-1	政治家
326-2	芸能人
326-3	ブローカー
326-6	なし
326-7	政治家
326-10	金貸し
326-11	政治家
326-14	詐欺師
327-3	なし
327-5	公務員、政治家
327-6	政治家
327-7	なし
327-11	政治家
327-12	なし
327-15	訪問販売
328-8	サラ金業
238-12	なし
329-1	不動産屋
329-4	なし
329-6	弁護士
329-8	訪問販売
329-10	政治家
329-11	なし
329-12	不動産関係者
330-2	ヤクザ
330-5	警察
330-6	証券会社
330-8	なし
330-10	
330-11	マスコミ
341-5	政治家
341-8	投資家
341-9	金融業

No.	Q10b
341-10	闇金業者
341-11	政治家
341-12	政治家
341-13	なし
341-15	風俗業
342-2	金融 (サラ金)
342-4	
342-5	
342-6	
342-8	
342-9	証券関係
342-10	
342-13	人の弱味に付け込む仕事
342-14	セールスマン (物を売る)
342-15	訪問販売
343-1	政治家
343-7	不動産
343-9	医師
343-11	なし
343-14	
344-1	政治家
344-4	政治家
344-11	
344-12	ヤクザ
344-14	国会議員
344-15	なし
345-1	
345-7	なし
345-8	芸能人
345-12	
345-15	
346-7	特になし

No.	Q10b
346-10	サラ金
346-12	政治家
347-8	
347-12	水商売 (風俗)
347-14	
347-15	特になし
351-2	
351-3	フランチャイズ店の経営者
351-7	政治家
351-10	
351-11	役所の公務員
351-15	
352-2	なし
352-5	なし
352-6	コメディアン
352-8	なし
352-9	なし
352-11	政治家
352-12	セールスマン
352-13	セールスマン
352-14	ローン会社
353-4	
352-7	金融業
353-10	
353-13	
353-15	
354-3	
354-4	政治家
354-12	ない
355-3	悪いこと以外はいいのでは
355-9	ない (人によるから)

No.	Q10b
355-10	消費者金融等
355-12	
355-13	暴力団、詐欺師
355-14	
355-15	不動産業、議員
361-2	政治家
361-4	政治家
361-7	
361-9	特にない
361-10	政治家
361-12	政治家
361-13	警察
361-14	
362-4	政治家
362-5	議員
362-8	学校の先生、弁護士
362-9	
362-11	ヤクザ
362-12	道路工事等作業員
362-15	サギ
411-1	水商売
411-2	ホスト
411-4	政治家
411-7	保険や
411-8	なし
411-9	金融会社
411-10	政治家
411-11	政治家
411-12	なし
411-14	弁護士
421-1	政治家
421-2	公務員
421-5	なし
421-6	銀行員

No.	Q10b
421-11	
421-12	特になし
421-15	サービス (営業職)
441-1	なし
441-3	金貸し
441-5	政治家
441-6	証券マン
441-8	
441-10	国会議員
441-13	
441-15	サラ金
451-1	政治家
451-2	
451-4	
451-7	
451-9	金融業 (金貸し)
451-10	
451-12	
451-13	
452-1	ないと思う
452-2	大臣
452-3	なし
452-4	先物取引
452-5	
452-8	なし (すべて認める)
452-11	訪問販売
452-12	セールスマン
452-13	警察官 (個人的に不快なことがあったので)
452-14	
461-1	政治家
461-3	政治家
461-4	

No.	Q10b
461-5	フリーター
461-7	政治家
461-9	暴力団
461-10	ない
461-11	商人
461-12	
461-13	
461-14	政治家
461-15	
521-2	ヤクザ
521-3	公務
521-4	訪問販売員
521-6	政治家
521-7	政治家
521-13	国会議員
521-14	政治家
521-15	なし
541-4	
541-5	土木業
541-8	政治家
541-9	政治家
541-11	特になし
541-12	保険会社
541-13	営業の店
541-15	証券会社
551-1	政治家
551-4	政治家
551-5	政治家
551-6	
551-8	政治家
551-11	
551-12	政治家
551-14	特になし
552-2	

No.	Q10b
552-3	政治家
552-4	
552-7	電話詐欺師
552-8	
552-9	
552-10	NHK集金係
552-11	
552-12	マルチ商法
552-14	詐欺師
552-15	
561-1	そんな職業はない
561-2	別になし
561-3	政治家
561-4	サラ金業者
561-5	そんなの無い
561-6	国会議員
561-7	
561-9	
561-10	営業職
561-11	公務員
561-12	
561-13	
561-14	
561-15	
611-2	政治家
611-3	金融関係(お金の貸し借りをしている人)
611-4	政治家
611-7	弁護士
611-10	政治家
611-12	高利貸し
611-13	警察
611-14	政治家
611-15	

No.	Q10b
612-3	なし
612-6	サラキン
612-9	弁護士
612-10	
612-12	政治家
612-15	貸金融業
613-7	不動産
613-8	
613-12	
613-15	政治家
621-2	議員
621-4	政治家
621-6	政治家
621-7	政治家
621-10	警察官
621-12	取り立て業
621-13	
621-14	政治家
621-15	政治家
622-1	政治家
622-3	なし
622-4	なし
622-6	金融
622-11	営業
622-12	ヤクザ業、ローン会社
622-14	政治家
623-4	
623-5	政治家
623-6	なし
623-8	なし
623-10	
623-11	政治家
641-2	

No.	Q10b
641-3	
641-6	政治家
641-7	
641-8	保険外務員
641-9	
641-10	政治家
641-11	政治家
641-13	政治家
641-14	セールスマン
641-15	政治家
642-2	
642-3	政治家
642-5	弁護士
642-6	芸能人
642-8	
642-10	
642-14	不動産関係
642-15	なし
643-3	
643-9	ない
643-10	
643-13	
643-14	
643-15	
651-2	なし
651-3	政治家
651-4	政治家
651-6	政治家
651-7	なし
651-9	なし
651-10	先生 (学校)
651-13	なし
651-14	政治家
651-15	なし

No.	Q10b
652-1	詐欺師など人をだます仕事
652-5	消費者金融
652-6	国会議員
652-9	セールスマン
652-10	
652-11	
652-12	宝石、貴金属の販売
661-1	特になし
661-6	特になし
661-7	人それぞれ。一概に言えない。
661-9	
661-10	
661-13	
661-15	
711-2	一般に政治家
711-4	日雇い
711-5	
711-6	
711-7	なし
711-9	
711-10	ショップの販売員
711-15	教師
712-4	不動産屋
712-5	政治家
712-8	暴利家
712-9	なし
712-10	
712-13	なし
712-14	政治家
713-2	政治家

No.	Q10b
713-3	人の稼ぎをピンはねするブローカーみたいな職業
713-6	商社ブローカー
713-8	お坊さん、学校の教師 (サラリーマン化した)
713-11	政治家
713-12	警察
714-3	
714-9	天下りの人
714-10	政治家
714-15	医者
715-1	なし
715-4	政治家や弁護士
715-6	
715-8	金融会社の人
715-9	政治家
715-10	サラリーマン
715-11	政治家
715-13	金融関係の人
715-14	なし
715-15	
716-4	
716-12	
721-3	政治家、警察
721-6	
721-7	政治家
721-9	金融会社
721-10	セールス業
721-11	国会議員
721-15	なし
722-2	やくざ
722-4	
722-9	報道関係の仕事

No.	Q10b
722-10	消費者金融の営業マン
722-11	政治家
722-12	議員
722-13	
722-14	教師
722-15	
723-3	金融関係
723-4	政治家
723-5	
723-9	自営業の工場の人
723-11	なし→仕事をするという事は尊いことだから
723-12	警察
723-13	セールスマン
723-14	
723-15	パソコン関係。インターネットで商売している人。実感がないから。
724-1	弁護士
724-2	議員
724-3	政治家
724-5	政治家
724-6	政治家
724-7	政治家、マスコミ
724-8	
724-10	
724-14	色々な訪問セールス
724-15	議員
725-2	特になし

No.	Q10b
725-6	リサイクル回収業者。トラックで来て無料と いいながらお金を取る職業。 。
725-9	会社の営業、電話セールス
725-10	
725-11	むつかしい
725-13	
725-14	
725-15	詐欺師
726-6	
726-13	特になし
726-14	なし
741-2	弁護士
741-4	高級官僚
741-7	
741-8	金融業
741-13	やくざ
741-14	政治家
741-15	
742-10	
742-12	政治家
742-14	サラ金融業者
751-1	芸能人
751-2	医者
751-3	警察、司法、マスコミ
751-9	政治家
751-13	オレオレ詐欺などの人をだますこと
751-14	別になし（人を困らせたらいカン）
751-15	

No.	Q10b
752-7	なし
752-8	投資家
752-9	
752-10	
752-12	ない
752-14	
753-1	保険やさん
753-2	電話で勧誘の職業（投資の勧誘）
753-5	マスコミ関係
753-6	弁護士
753-7	金融機関（保険業）
753-8	フリーター
753-10	市の職員
753-12	なし
753-13	政治家
752-14	セールスマン
753-15	
754-1	公務員
754-3	なし
754-7	なし
754-8	暴力団
754-9	弁護士
754-10	ねずみ講などする人
754-13	なし
754-14	政治屋（政治家でなく）
761-4	特になし
761-5	
761-6	公務員、政治家
761-7	なし
761-9	政治家
761-10	

No.	Q10b
761-13	政治家
761-14	特になし
761-15	訪問販売
811-2	サラ金業
811-4	金融関係 (高利貸)
811-5	ないと思う
811-7	今の検察官
811-8	役所職員 (公務員)
811-9	
811-10	営業で何か勧誘する仕事
811-13	政治家
811-14	政治家
812-1	なし
812-2	なし
812-3	ヤクザ、暴力団
812-4	
812-7	
812-9	警察関係
812-10	なし
812-11	
812-12	なし
812-14	
821-1	
821-2	銀行
821-4	考えた事がない
821-6	なし
821-7	金融業
821-9	
821-10	人をごまかす仕事
821-12	なし
821-15	人をだますような職業
841-2	不動産業

No.	Q10b
841-3	なし
841-4	医師
841-5	政治家
841-7	
841-9	金貸し業
841-10	商売人
841-12	
841-13	人をだますような職業
841-14	なし
842-1	
842-2	公務員
842-4	政治家
842-5	金融関係
842-12	商業
842-14	政治家
851-3	政治家
851-5	政治家
851-8	
851-13	
851-14	
861-1	なし
861-2	官僚
861-3	キャッチセールス業、訪問販売
861-4	
861-5	
861-6	公務員
861-8	日雇労働者
861-9	
921-4	なし
921-6	なし
921-7	ヤミ金
921-8	なし

No.	Q10b
921-10	なし
921-11	なし
921-12	なし
921-13	なし
921-14	なし
921-15	なし
941-2	人間
941-8	占い師
941-10	
941-13	
941-15	特になし
951-1	政治家
951-3	
951-4	骨董屋
951-5	政治家
951-9	政治家
951-10	
951-11	政治家
951-12	セールス的なもの
951-13	
961-1	
961-4	
961-5	政治家
961-6	
961-7	政治家
961-13	政治家
961-14	
961-15	
1011-2	医者
1011-4	医者
1011-12	政治家
1011-13	議員さん
1012-2	政治家、先生と呼ばれる職業 (弁護士など)

No.	Q10b
1012-7	
1021-3	金融（証券業）
1021-6	泥棒、詐欺師
1021-8	金融関係（貸金業）
1021-9	
1021-11	営業（セールス）
1021-12	政治家
1021-15	
1022-2	ヤクザ
1022-5	警察
1022-8	
1022-9	
1022-10	
1022-11	
1022-13	金貸業
1022-14	
1022-15	金融業
1023-10	
1023-12	裁判官
1023-13	政治家
1023-15	
1041-2	公務員
1041-4	なし
1041-6	公務員、政治家
1041-12	
1041-15	フリーター
1042-2	
1042-3	
1042-4	
1042-6	
1042-7	政治家
1042-8	
1042-10	
1042-12	

No.	Q10b
1042-14	
1042-15	
1051-1	政治家
1051-5	政治家
1051-6	信販関係
1051-9	金融関係
1051-10	振り込み詐欺師
1051-14	税理士
1051-15	政治家
1052-2	
1052-5	
1052-6	公務員
1052-7	金貸し
1052-8	保険会社
1052-10	公務員
1052-14	
1053-6	押売
1053-8	セールス
1053-9	政治家
1053-10	教員
1053-11	
1053-12	詐欺師
1053-13	
1053-14	
1053-15	
1054-2	なし
1054-8	サラ金
1054-9	水商売
1054-10	貸金業
1054-12	市町村職員
1054-13	なし
1054-14	警察
1054-15	警察
1061-4	政治家

No.	Q10b
1061-7	政治家
1061-8	金融
1061-8	政治家
1061-9	
1061-10	借金の取立て、ヤクザ
1061-12	
1061-15	警察
1062-1	
1062-3	政治家
1062-5	
1062-6	
1062-7	商売人
1062-8	
1062-11	
1062-12	

自由回答・問 42

Q42：少し話がかかりますが、日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。
(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)

No.	Q42	No.	Q42	No.	Q42
111-2	お寺、神社	141-10	急に言われても・・・	211-9	着物、温泉
111-3	着物	141-12	歴史を重んじる	211-11	
111-4	禅	141-13	頭がいい	221-12	お茶、花、正座
111-5	相撲	141-15	お寺、和食	221-13	きりたんぼ
111-6	相撲	151-5		221-15	先祖代々の仏様
111-7	相撲	151-7	思い浮かばない	222-2	
111-10	サムライ	151-9	寺	222-4	
111-11	芸術	151-11	相撲	222-5	歴史
111-12	民謡	151-13	建造物、神社、仏閣	222-7	
111-14	書道、川柳	151-15	お寺	222-9	
111-15	文化遺産	161-3	着物	222-11	
112-4	神社、仏閣	161-4		222-13	建築物
112-6	京都	161-8		222-14	
112-7	俳句、短歌、豊富なオノマトペ	161-10	歌舞伎	241-1	
112-8	礼儀	161-11		241-2	義理人情
112-9		161-12	着物	241-5	書道
112-11	着物	161-14	国語、漢字、日本語	241-6	科学技術の発展
112-12	伝統芸能	211-2	武道	241-7	伝統
112-15	伝統芸能	211-3	わびさびの世界	241-10	道
121-1		211-4	お茶	241-11	生け花
121-2	特になし	211-5	歌舞伎	241-12	和服
121-4		211-6	能	241-13	京都
121-7	歌舞伎	211-7	神の国	251-2	神社仏閣
121-10		211-8	織物	251-3	
121-11	着物、歌舞伎	211-9	わら屋根	251-5	静かさ、謙虚、気配り
121-12	舞踊	211-12	和食	251-6	わび、さび
121-13	茶道	211-15	作法	251-8	正座、箸
121-14	和服、和食	221-2	なし	251-9	歌舞伎
121-15	科学技術	221-3	礼儀作法	251-10	
141-1	能、雅楽等	221-4		251-11	日本舞踊
141-4		221-7	なし	251-12	
141-5				251-13	着物、食べ物(寿司)

No.	Q42
251-14	
252-3	文化財(明治の小学校の建物が登米に保存されている)
252-4	
252-6	神社仏閣
252-10	舞子、歌舞伎、邦楽
252-13	
252-14	
253-1	美しい自然
253-2	歴史
253-3	自然
253-4	
253-6	昔の文化財
253-9	美しい自然(国土)
253-10	茶道
253-11	美しい自然
253-12	
253-13	日本の和服(着物)
261-2	お祭
261-3	日本のお正月(年賀状)
261-5	
261-7	伝統(お正月)行事
261-10	
261-11	
261-12	昔からの伝統のあるもの
261-13	
261-15	
262-1	
262-2	歌舞伎
262-12	

No.	Q42
262-13	着物
262-14	能
262-15	
301-7	200年以上の歴史がある
301-8	調和
301-12	着物、オタク、おにぎり
301-13	
301-14	日本文学、日本人の生活習慣
302-7	わび、さび
302-8	お正月
302-15	日本人形
303-3	寺社
303-15	ない
304-1	和
304-9	着物、華道、茶道
304-10	お花、能、お茶、歌舞伎
304-12	お茶、歌舞伎、着物
304-13	美、京都
304-15	文化、教育
305-2	祭、食べ物(年中行事に食べる、正月の雑煮、ひな祭りの菱餅、おはぎ)
305-11	
305-15	建物(京都の建物)、食べ物(和食の良さ)、お祭
306-5	神社仏閣
306-6	
306-9	神社仏閣

No.	Q42
306-11	芸術
306-12	
306-14	情緒
307-2	やさしさ
307-3	わびさび
307-6	クール
307-7	他国のものを自分の国のものとして発展させる能力
307-9	家庭生活の中に息づいてほしいと思う伝統、季節行事、マナー、あいさつなど
307-14	繊細さ
308-1	わびさび
308-5	神社仏閣
308-8	歌舞伎
308-9	すぐに思い浮かばない
308-15	着物
311-1	
311-4	神社仏閣
311-5	和敬清寂
311-6	
311-9	神社仏閣
311-10	伝統文化(茶道、書道等)
312-1	優雅、優美、奥深さ
312-3	ひらがな
312-9	歌舞伎
312-10	伝統
312-12	歌舞伎
312-13	お茶、お花
312-14	相撲

No.	Q42
313-5	日本語
313-11	
311-15	
314-5	俳句や川柳等
314-9	美の心
314-10	わび、さび
314-12	京都
314-13	着物
314-15	着物、京都、お寺、四季、秋の紅葉
315-1	わび、さび
315-2	富士山
315-7	茶道
315-12	和服
315-13	技術（あまりにも便利になりすぎている）
315-15	建築物（神社仏閣の）
316-4	神社、祭
316-8	わび、さび
316-12	茶道、着物、日本舞踊、神社、お寺
316-13	和風建築、お茶
316-14	神仏を大事にする。自然を大事にする。平和を大事にする。
317-5	
317-10	武道古来の精神
317-11	
317-12	建築物、古美術
317-13	歌舞伎、社寺仏閣
321-1	お茶
321-8	食事を粗末にする、わがまま

No.	Q42
321-9	お正月等の行事
321-10	
321-12	お祭
321-13	伝統
321-15	歌舞伎、相撲
322-5	室町文化から続いたもの（足利5代）
322-7	慎み深い、1歩下がる
322-8	伝統工芸
322-9	着物
322-13	伝統
322-15	家族の絆
323-1	和
323-3	特になし
323-4	調和
323-8	お寺
323-12	礼儀
323-15	和
324-2	祭
324-5	森林（木の文化）＝伝統文化
324-9	和風
324-10	京都
324-112	神社、仏閣
324-13	礼儀
324-14	神社、仏閣
325-7	言葉
325-10	礼節、着物、はし
325-11	目上を敬う、規律
325-13	
326-1	マンガ
326-2	おまつり
326-3	オタク気質

No.	Q42
326-6	寺
326-7	桜
326-10	食べること
326-11	和服
326-14	
327-3	侍
327-5	祭
327-6	なし
327-7	
327-11	着物
327-12	おこと、すもう
327-15	歌舞伎
328-8	能
328-12	なし
329-1	着物
329-4	歌舞伎、俳句、日本家屋
329-6	寺社建築
329-8	着物
329-10	わび、さび
329-11	着物、相撲
329-12	わび、さび
330-2	歌舞伎
330-5	わび、さびの心
330-6	俳句
330-8	恥の文化
330-10	仏教
330-11	人の和を尊ぶ
341-5	神社
341-8	古今和歌集
341-9	伝統芸能
341-10	日本食
331-11	日本の歴史
341-12	和

No.	Q42
341-13	日本の四季
341-15	礼儀作法
3412-2	
342-4	
342-5	
342-6	
342-8	歌舞伎
342-9	茶道
342-10	
342-13	着物
342-14	雅楽、能
342-15	畳
343-1	茶道
343-7	なし
343-9	日本舞踊
343-11	着物
343-14	お寺
344-1	アニメ、ゲーム
344-4	
344-11	寺、歌舞伎
344-12	伝統
344-14	礼儀正しさ、優しくて正直
344-15	書
345-1	お寿司
345-7	秩序
345-8	お能、歌舞伎
345-12	お正月
345-15	食生活、和服
346-7	お寺
346-10	礼儀
346-12	着物
347-8	
347-12	

No.	Q42
347-14	
347-15	
351-2	
351-3	和服
351-7	和
351-10	
351-11	
351-15	
352-2	
352-5	伝統
352-6	畳
352-8	食文化(うどん、そば)
352-9	着物
352-11	食の文化(米)
352-12	世界遺産(日光)
352-13	
352-14	
353-4	
353-7	木造建築
353-10	
353-13	
353-15	
354-3	仏
354-4	京都
354-12	四季を大事にすること
355-3	侍
355-9	茶の湯、盆栽
355-10	四季がある。歴史。
355-12	特にない
355-13	神社
355-14	茶道、華道、柔道

No.	Q42
355-15	すもう、歌舞伎、祭、たいこ
361-2	
261-4	自然と共生
361-7	伝統
361-9	自然
361-10	能、歌舞伎
361-12	
361-133	太鼓
361-14	能
362-4	稲作、島国
362-5	琴、尺八、着物
362-8	武道、和装、食事、生活習慣
362-9	四季折々行事
362-11	お正月行事、神社 仏閣、歌舞伎
362-12	浄瑠璃
362-15	米
411-1	古都、奈良、京都
411-2	柔道
411-4	文明
411-7	
411-8	技術
411-9	歴史
411-10	節分
411-11	神社仏閣
411-12	建物
411-14	お茶、お花
421-1	金閣寺
421-2	和食
421-5	お寺
421-6	もの作り
421-11	雅、能

No.	Q42
421-12	古典芸能
421-15	儀式
441-1	仏教
441-3	なし
441-5	お茶、お花
441-6	歌舞伎
441-8	
441-19	京都
441-13	大和魂
441-15	音楽
451-1	伝統的な文化
451-2	
451-4	
451-7	細やかさがある
451-9	重要文化財
451-10	着物
451-12	着物
451-13	歌舞伎
452-1	歴史、建造物
452-2	
452-3	わび、さび
452-4	伝統文化
452-5	
562-8	奥ゆかしさ
452-11	能楽
452-12	伝統
452-13	わび、さび、お茶、 生け花
452-14	
461-1	歌舞伎
461-3	敬愛、尊敬
461-4	
461-5	農業

No.	Q42
461-7	進歩している、開発 が進歩している
461-9	器用なこと(手先が 器用)
461-10	歌舞伎
461-11	歌舞伎、能、生け 花、お茶
461-12	
461-13	夫婦の中で男性を 立てること
461-14	お寺、仏閣
461-15	茶道
521-2	神社、お寺
521-3	ささえあえ
521-4	わび・さび
521-6	自由
521-7	神社仏閣
521-13	なし
521-14	正倉院の宝物
521-15	伝統
541-4	日本の家屋
541-5	和食
541-8	
541-9	着物
541-11	着物
541-12	アニメ
541-13	伝統芸能
541-15	日本の伝統芸能
551-1	相撲
551-4	
551-5	相撲
551-6	和の心
551-8	建築
551-11	着物

No.	Q42
551-12	
551-14	京都
552-2	侍
552-3	お茶
552-4	流される(なんとなく)
552-7	京都、奈良
552-8	
552-9	単一民族の文化
552-10	着物
552-11	京都
552-12	着物
552-14	着物
552-15	
561-1	
561-2	伝統
561-3	わび、さび
561-4	
561-5	俳句、和歌
561-6	和の心
561-7	
561-9	歌舞伎
561-10	歴史
561-11	平和
561-12	1年間の各行事な ど
561-13	
561-14	着物、歌舞伎
561-15	科学
611-2	古い町並み
611-3	着物
611-4	わび、さび
611-7	年功序列
611-10	古典

No.	Q42
611-12	なし
611-13	京都
611-14	書道
611-15	おどり、寺院仏閣
612-3	茶花道
612-6	源氏物語
612-9	神仏
612-10	
612-12	
612-15	神社仏閣
613-7	神社仏閣
613-8	
613-12	歌舞伎、茶道、花道、太鼓、武道
613-15	
621-2	自然共生
621-4	マンガ
621-6	人の心
621-7	ひかえめ
621-10	
621-12	着物
621-13	茶道、武道
621-14	正座、着物
621-15	習字、歌舞伎
622-1	神社
622-3	すもう、和食、書道
622-4	和の心、他人を尊ぶこと
622-6	歌舞伎、相撲
622-11	生活
622-12	お茶、礼儀作法、マナー
622-14	家族
623-4	

No.	Q42
623-5	茶道、華道など
623-6	
623-8	和服
623-10	建物（寺院）
623-11	弓道とか着物
641-2	侍
641-3	
641-6	時代劇
641-7	伝統的儀式
641-8	建築
641-9	わびさび
641-10	神社仏閣
641-11	茶道、華道
641-13	伝統文化
641-14	食
641-15	
642-2	
642-3	人のつながり
642-5	
642-6	人の心
642-8	情緒
642-10	祭
642-14	茶道
642-15	行事
643-3	日本食
643-9	京都
643-10	和食
643-13	京都
643-14	着物
643-15	
651-2	祭、歌舞伎
651-3	なし
651-4	
651-6	和食

No.	Q42
651-7	しきたり
651-9	和食
651-10	歌舞伎、茶道、華道
651-13	着物
651-14	
651-15	日本語
652-1	独特で狭い地域に共通の価値観を持つ珍しい国
652-5	あいまいなもの
652-6	自然の拝崇
652-9	着物
652-10	茶道
652-11	
652-12	歌舞伎、伝統芸能
661-1	礼儀作法
661-6	法律
661-7	自然、技術
661-9	
661-10	
661-13	自然、寺、野畑
661-15	茶、花
711-2	仏教、武道
711-4	お寺、神社
711-5	坂本龍馬
711-6	能、水墨画
711-7	しきたり
711-9	茶道
711-10	着物、相撲、桜
711-15	日本の歴史
712-4	お寺
712-5	皇室
712-8	

No.	Q42
712-9	礼儀
712-10	建築物
712-13	礼節
712-14	芸術
713-2	仏像
713-3	相撲
713-6	歴史、自動車
713-8	お寺
713-11	
713-12	着物
714-3	
714-9	お能
714-10	歌舞伎
714-15	仏教
715-1	人がよさそうだ
715-4	京都、武家
715-6	礼儀の正しいこと (あいさつなど)
715-8	お能
715-9	京都
715-10	歌舞伎
715-11	
715-13	忍耐や耐え忍ぶ美 徳
715-14	茶道と和服
715-15	寺や寺院
716-4	
716-12	歌舞伎
721-3	寺
721-6	古典、しとやかな心
721-7	古典(昔から)の書 物、禅、わび、さび
721-9	お茶会、茶の湯
721-10	京都や奈良

No.	Q42
721-11	和装(和服)、畳
721-15	親孝行
722-2	沖縄舞踊
722-4	日本の伝統的なも の(詩吟など)
722-9	伝統的なもの
722-10	東洋人としての誇 り
722-11	歌舞伎
722-12	お祭
722-13	着物
722-14	歌舞伎
722-15	四季があること
723-3	神社仏閣
723-4	古典芸能
723-5	寺院、歴史
723-9	芸能界
723-11	歌舞伎
723-12	冠婚葬祭の儀式
723-13	狂言
723-14	日本舞踊
723-15	着物、職人さんの 技
724-1	お茶、書道、華道
724-2	集団思想
724-3	相撲
724-5	天皇
724-6	漢字
724-7	
724-8	歌舞伎
724-10	座禅
724-14	歴史
724-15	和の世界、茶道、 華道

No.	Q42
725-2	食
725-6	茶道、華道、書道と か道のつくもの、お寺
725-9	神社仏閣
725-10	政治経済
725-11	先祖
725-13	日本の四季
725-14	
725-15	芸術→歌舞伎とか
726-6	
726-13	着物
726-14	
741-2	
741-4	和
741-7	伝統
741-8	自然、食べ物
741-13	歴史
741-14	着物
741-15	
742-10	
742-12	着物
742-14	ひらがな
751-1	繊細な心(自然とか 考え方)
751-2	侍
751-3	幼型成熟
751-9	どっちつかず(洋 風、和風、どっちも取り入 れてしまう)
751-13	季節の移ろいの中 で沢山の家族と一緒にすご す
751-14	

No.	Q42
751-15	控え目な奥ゆかしさが日本人の心の持ち方
752-7	食生活
752-8	ここちよさ
752-9	発明の素晴らしさ
752-10	
752-12	伝統
752-14	祭
753-1	畳（の生活）
753-2	武士道、わびさび、控え目
753-5	お茶（茶道）、華道
753-6	奈良
753-7	伝統のよさ、硬直性→礼儀、身だしなみ、礼節の習慣
753-8	街並み（京都）
753-10	お茶、お花
753-122	茶道
753-13	着物
753-14	伝統の陶芸
753-15	思い浮かばない
754-1	佛教
754-3	特になし
754-7	
754-8	茶道
754-9	佛像
754-10	歌舞伎
754-13	伝統芸能、文楽とか歌舞伎
754-14	茶花道や着物（和服）
761-4	なし
761-5	江戸時代の町並

No.	Q42
761-6	木造の建築物、長く続いてきた技術
761-7	昔の街道や船着場
761-9	芸術→舞台。昔ながらの歌舞伎、能
761-10	
761-13	伝統的なもの
761-14	着物
761-15	歌舞伎
811-2	わびさび
811-4	神話起源
811-5	言葉
811-7	あいまい（ファジー）
811-8	
811-9	歌舞伎
811-10	義理人情
811-13	奥ゆかしさ
811-14	京都、能、歌舞伎、着物
812-1	なし
812-2	人を信頼すること
812-3	武士道
812-4	
812-7	歴史を感じる
812-9	仏教、着物、祭
812-10	お盆
812-11	
812-12	歌舞伎
812-14	伝統
821-1	
821-2	食事
821-4	
821-6	

No.	Q42
821-7	歴史、人物
821-9	
821-10	芸術（絵、書道）
821-12	日本舞踊
821-15	着物
841-2	閉塞的
841-3	歌舞伎、舞踊、料理（郷土）
841-4	歌舞伎
841-5	茶道、華道
841-7	
841-9	昔からのしきたり、いい伝え
841-10	茶道、武道
841-12	日本の皇室
841-13	わび、さびの世界
841-14	伝統
842-1	古来から日本にある食べ物
842-2	なし
842-4	武士道
842-5	年功序列
842-12	日の歌
842-14	
851-3	わび、さび
851-5	礼儀、日本語
851-8	和服、歌舞伎
851-13	着物、生け花
851-14	茶道、華道、芸能関係、宗教
861-1	
861-2	祭、和室、畳、床の間
861-3	城、寺院、商店街

No.	Q42
861-4	家を継ぐ(家族制度)
861-5	野球
861-6	相撲、日本刀
861-8	情報が発達している(情報化社会)
861-9	相撲
921-4	和の心
921-6	詩吟
921-7	お茶
921-8	ない
921-10	お茶、お花、能、相撲
921-11	お茶
921-12	能
921-13	まんが
921-14	米
921-15	武士
941-2	わびさび
941-8	歌舞伎、相撲
941-10	茶の湯
941-13	着物、茶道、華道
941-15	わび
951-1	
951-3	科学技術
951-4	伝統美
951-5	建築、音楽、芸能(歌舞伎を含めた)
951-9	伝統、自然、俳句とかの文化的古典、日本人の持っていたモラル
951-10	
951-11	宗教
951-12	仏教精神

No.	Q42
951-13	歌舞伎
961-1	畳、歌舞伎、能
961-4	俳句、短歌
961-5	武士
961-6	日本建築
961-7	能面をつけて演じたりすること
961-13	
961-14	
961-15	
1011-2	生活
1011-4	
1011-12	
1011-13	絵画、美術
1012-2	礼儀作法
1012-7	書道、茶道、華道、和食(すし、てんぷら)
1021-3	寺院
1021-6	歌舞伎、相撲
1021-8	着物、事、書道、華道、茶道
1021-9	わび、さびの文化
1021-11	日本食
1021-12	焼き物、能、歌舞伎
1021-15	華道
1022-2	
1022-5	わびさび
1022-8	茶道
1022-9	
1022-10	
1022-11	
1022-13	
1022-14	

No.	Q42
1022-15	文化遺産
1023-10	
1023-12	日本料理
1023-13	着物
1023-15	日本画、日舞、生け花、歌舞伎
1041-2	わびさび
1041-4	富士山
1041-6	仏教
1041-12	歌舞伎
1041-15	京都
1042-2	
1042-3	思いやり、絆
1042-4	
1042-6	花鳥風月
1042-7	道徳心
1042-8	伝統
1042-10	歌舞伎
1042-12	伝統
1042-14	郷土芸能
1042-15	
1051-1	お寺、大仏
1051-5	書道
1051-6	着物
1051-9	相撲
1051-10	お寺
1051-14	京都
1051-15	しきたり
1052-2	武士道
1052-5	なし
1052-6	恥を知る
1052-7	建築
1052-8	ロボット
1052-10	祭

No.	Q42
1052-14	
1053-6	農業に根ざした文化
1053-8	書道
1053-9	
1053-10	
1053-11	お祭
1053-12	電気の力
1053-13	
1053-14	農業
1053-15	
1054-2	緻密
1054-8	
1054-9	
1054-10	着物
1054-12	
1054-13	すだれ
1054-14	
1054-15	遺産（例：首里城、寺）
1061-4	
1061-6	歴史。ちよんまげ時代
1061-7	なし
1061-8	仏教
1061-9	
1061-10	日の丸の旗
1061-12	
1061-15	お寺、お茶
1062-1	歌舞伎
1062-3	別になし
1062-5	なし
1062-6	
1062-7	なし

No.	Q42
1062-8	
1062-11	
1062-12	仏教

自由回答・問 50

Q50: あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。
(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)。

No.	Q50
111-2	健康、経済
111-3	特になし、自然にまかせ
111-4	教育
111-5	家族、時間、お金
111-6	妻
111-7	家族
111-10	家族
111-11	人とのつながり
111-12	夫
111-14	家族
111-15	健康
112-4	家族
112-6	目標
112-7	自分
112-8	命
112-9	不動産
112-11	犬
112-12	家族
112-15	人間愛
121-1	家族
121-2	家族
121-4	平和
121-7	人との信頼関係
121-10	家族
121-11	子供
121-12	家族
121-13	普通に生活すること
121-14	健康
121-15	家族
141-1	家族
141-4	家族
141-5	健康

No.	Q50
141-10	
141-12	平和
141-13	家族
141-15	家族、お金、友人
151-5	家族
151-7	自分
151-9	家族
151-11	健康
151-13	命
151-15	家族
161-3	家族のつながり
161-4	健康
161-8	命
161-10	お金
161-11	健康
161-12	精神的なゆとり
161-14	家族
211-2	家族
211-3	
211-4	家
211-5	家族
211-6	地球環境問題
211-7	家族
211-8	人間関係
211-9	お金
211-12	家族
211-15	平和
221-2	自由
221-3	お金
221-4	健康
221-7	人間の和
221-9	家族
221-11	健康
221-12	人間関係

No.	Q50
221-13	子供と病気をしないこと
221-15	家族
222-2	
222-4	家族
222-5	
222-7	
222-9	
222-11	
222-13	家族
222-14	
241-1	自分の健康
241-2	家族
241-5	愛情
241-6	健康
241-7	精神的安定
241-10	家族
241-11	民主党がやめる事!
241-12	家族
241-13	友達
251-2	家族
251-3	家族
251-5	家族、信念
251-6	家族
251-8	家族
251-9	家族
251-10	自分自身の健康
251-11	家族
251-12	家族
251-13	家族
251-14	家族
252-3	お金
252-4	健康

No.	Q50
252-6	健康
252-10	子供の幸せ、自分の幸せ
252-13	健康
252-14	健康
253-1	家族
253-2	家族
253-3	家族
253-4	家族
253-6	家族
253-9	家族
253-10	家族
253-11	家族
253-12	家族
253-13	家族
261-2	家族
261-3	健康と家族
261-5	家族
261-7	健康
261-10	健康
261-11	健康
261-12	健康と家族
261-13	健康
261-15	健康
262-1	家族
262-2	家族
262-12	子供
262-13	生活
262-14	家族
262-15	家族
301-7	家族の絆
301-8	家族
301-12	健康
301-13	心身の健康

No.	Q50
301-14	自分自身の健康
302-7	心の豊かさ
302-8	子供
302-15	お金
303-3	特にない
303-15	
304-1	家族
304-9	家族
304-10	自分
304-12	家族
304-13	生きがい
304-15	家族
305-2	自分の命
305-11	
305-15	健康
306-5	親、兄弟
306-6	自分の時間
306-11	愛情
306-12	家族
306-14	家族
307-2	命
307-3	健康
307-6	平和
307-6	健康
307-7	夢中になれるものを持つこと
307-9	生き甲斐
307-14	思いやり
308-1	家族
308-5	平和と家族
308-8	
308-9	すぐ思い浮かばない
308-15	家族

No.	Q50
311-1	家族
311-4	誠実さ
311-5	家族
311-6	
311-9	命
311-10	家族
312-1	健康、家族の平和
312-3	誠実であること
312-9	家族、仕事
312-10	家族、健康、国の平和
312-12	家族
312-13	家族
312-14	孫、お金、健康
313-5	時間
313-11	
313-15	今は夫婦健康で長生きが一番。健康。
314-5	健康
314-9	家族
314-10	パートナー
314-12	調和
314-13	健康
314-15	今の生活
315-1	家族
315-2	子供の成長
315-7	自分に正直であること
315-12	健康
315-13	家族
315-15	平和
316-4	健康
316-8	腐らずにちゃんと生きること

No.	Q50
316-12	家族
316-13	家族、血縁
316-14	家族
317-5	奥様
317-10	家族
317-11	母親
317-12	健康
317-13	家族
321-1	家庭
321-8	家族
321-9	家族
321-10	親族
321-12	家族
321-13	家族
321-15	家族
322-5	意志
322-7	家族
322-8	家族全員の健康
322-9	心
322-13	生活
322-15	健康
323-1	家族
323-3	家族
323-4	家族
323-8	健康
323-12	家族
323-15	家庭
324-2	気持ち
324-5	生きること
324-9	環境と平和維持活動
324-10	環境問題に取り組む

No.	Q50
324-12	地球環境（温暖化防止）
324-13	同居する家族との信頼関係
324-14	科学技術の発展
325-7	命
325-10	子供と家族
325-11	信頼、愛情、感謝
325-13	家族
326-1	お金
326-2	命
326-3	自由な時間
326-6	家族
326-7	
326-10	家族
326-11	家族
326-14	信頼
327-3	自分
327-5	家族
327-6	家族
327-7	家族
327-11	家族
327-12	家族
327-15	家族
328-8	健康
328-12	家族
329-1	家族
329-4	思いやり
329-6	家族
329-8	自分と家族
329-10	家族、友人、収入
329-11	両親、友人
329-12	愛情
330-2	家族

No.	Q50
330-5	自分の意志
330-6	生命
330-8	家族
330-10	家族
330-11	家族、友人
341-5	家庭
341-8	家族
341-9	家族
341-10	子供
341-11	家族
341-12	命
341-13	子供
341-15	家族
342-2	食べ物
342-4	家族
342-5	家族
342-6	家族
342-8	家族
342-9	家族
342-10	家族
342-13	子供さん
342-14	家族
342-15	家族
343-1	家族
343-7	お金
343-9	家族
343-11	家族
343-14	家族
344-1	家族
344-4	
344-11	家族
344-12	家族
344-14	人間同士の信頼関係と愛情

No.	Q50
344-15	家族
345-1	お金
345-7	信仰
345-8	家族
345-12	人の心
345-15	家族
345-7	平和
345-10	家族
345-12	心、気持ちの余裕
347-8	家族
347-12	家族
347-14	
347-15	他の人から貰う愛情
351-2	生活
351-3	住(衣食住の中での住)
351-7	愛情
351-10	家族
351-11	平和、生活していただけるだけのお金
351-15	
352-2	家族
352-5	生命
352-6	命
352-8	家族
352-9	家族
352-11	先祖を大切にす る。他人に迷惑をかけずに 生活すること。
352-12	命、家族
352-13	特別なない
352-14	お金
353-4	

No.	Q50
353-7	健康
353-10	家族
353-13	家族
353-15	
354-3	家族
354-4	健康
354-12	健康
355-3	ない
355-9	家族
355-10	心の問題なのでノ ーコメント
355-12	身の回りの人
355-13	家族、平和
355-14	家族、健康
355-15	家族、命、話し合 い、ゆずり合い
361-2	家族
361-4	家族
361-7	家族
361-9	家族
361-10	家族
361-12	平和
361-13	健康
361-14	家族
362-4	健康的な体
362-5	心のよりどころ
362-8	家庭内の平和、日本 の政治(総理大臣)
362-9	家族
362-11	平和維持
362-12	自分の体。健康で いる。
362-15	お金
411-1	家族

No.	Q50
411-2	友人
411-4	命
411-7	信頼できる友人
411-8	
411-9	家族
411-10	子供、家族
411-11	家族
411-12	家族
411-14	家族
421-1	家族
421-2	家族
421-5	家族
421-6	健康とお金(経済的 余裕)
421-11	人を思いやる心
421-12	心
421-15	お金
441-1	仏
441-3	命
441-5	人
441-6	命
441-8	人間関係
441-10	夫
441-13	家族、友人
441-15	自然を守ること、 物事に対する愛情
451-1	家族
451-2	
451-4	家族
451-7	モラル、マナー
451-9	家族
451-10	周りの人
451-12	家族
451-13	家族

No.	Q50
452-1	家族
452-2	家族
452-3	国
452-4	家族
452-5	家族
452-8	命
452-11	家族
452-12	家族
452-13	家族
452-14	家族
461-1	健康
461-3	生きがい
461-4	命
461-5	家族
461-7	家族
461-9	子供の健康
461-10	家族
461-11	健康
461-12	子供
461-13	家族
461-14	家族
461-15	健康で人に迷惑を かけないこと
521-2	家族
521-3	愛
521-4	家内安全
521-6	家族
521-7	自分を含めた家族
521-13	健康
521-14	健康
521-15	信頼しあうこと
541-4	家族
541-5	仲間
541-8	子供

No.	Q50
541-9	生活
541-11	人
541-12	家族
541-13	家族
541-15	家族
551-1	健康
551-4	家族
551-5	人の命
551-6	家族
551-8	娘
551-11	家族
551-12	家族、お金
551-14	家族
552-2	家族
552-3	家族
552-4	
552-7	家族
552-8	家族
552-9	家族
552-10	家族
552-11	家族
552-12	家族
552-14	主人
552-15	人のつながり
561-1	仕事、健康
561-2	家
561-3	仲間、家族
561-4	健康
561-5	家族
561-6	家族
561-7	健康、家族
561-9	家族
561-10	家族
561-11	命、両親

No.	Q50
561-12	親、家庭、健康
561-13	健康、家族
561-14	友達
561-15	健康
611-2	子供
611-3	家族
611-4	家族
611-7	命
611-10	家族
611-12	健康
611-13	人間愛
611-14	家族
611-15	家族
612-3	家族
612-6	家族
612-9	家族
612-10	家族
612-12	家族
612-15	心
613-7	幸福
613-8	家族
613-12	誠実
613-15	家族
621-2	健康
621-4	家族
621-6	家族
621-7	田舎の暮らし
621-10	子供
621-12	子供
621-13	家族
621-14	家族
621-15	家族
622-1	自分
622-3	家族

No.	Q50
622-4	仲間
622-6	家族
622-11	健康
622-12	家族
622-14	愛
623-4	
623-5	子供や妻
623-6	
623-8	家族
623-10	
623-11	家族
641-2	人生
641-3	家族
641-6	家族
641-7	家族
641-8	家族
641-8	健康 (身体と心)
641-10	家族
641-11	家族
641-13	家族
641-14	お金
641-15	家族
642-2	心
642-3	家族
642-5	家族
642-6	家族
642-8	家族
642-10	お金
642-14	普通の生活
642-15	家族
643-3	健康
643-9	健康
643-10	命
643-13	健康

No.	Q50
643-14	家庭
643-15	健康
651-2	家族
651-3	なし
651-4	国家
651-6	友情
651-7	家族
651-9	主人
651-10	子供
651-13	家族
651-14	家族
651-15	自分
652-1	子供
652-5	家族
652-6	家族
652-9	健康
652-10	健康
652-11	家族
652-12	子供
661-1	公序心
661-6	家族
661-7	誠実
661-9	人、お金
661-10	家族
661-13	家族
661-15	家族
711-2	家族
711-4	家庭
711-5	人間の心
711-6	日々の生活、人間関係
711-7	家族
711-9	人のつながり
711-10	家族

No.	Q50
711-15	家族
712-4	人間関係
712-5	家族
712-8	生活
712-9	愛
712-10	家族
712-13	健康
712-14	家族
713-2	子供
713-3	自分自身
713-6	家族
713-8	子供
713-11	家族
713-12	家庭
714-3	家族
714-9	健康
714-10	家族
714-15	今の生活
715-1	家族
715-4	家族や友人、お金
715-6	家族
715-8	家族
71-9	家族
715-10	子供
715-11	家族
715-13	自分の家族と健康
715-14	健康
715-15	家族や友達
716-4	
716-12	家族
721-3	家族
721-6	健康
721-7	両親
721-9	家族

No.	Q50
721-10	孫（親がいなくて同居している）
721-11	心
721-15	家族
722-2	家族
722-4	家族
722-9	平和
722-10	家族
722-11	家族
722-12	健康、お金
722-13	健康
722-14	家族
722-15	家族
723-3	心
723-4	子供、孫
723-5	孫
723-9	家族→子供
723-11	親族
723-12	健康
723-13	子供
723-14	命
723-15	夫
724-1	家族
724-2	家族
724-3	家族
724-5	妻
724-6	家族
724-7	政治
724-8	愛
724-10	家族
724-14	家族
724-15	家族
725-2	家族とか友達
725-6	家族

No.	Q50
725-9	家族
725-10	健康
725-11	家族
725-13	家族
725-14	命
725-15	親子関係
726-6	健康
726-13	家族
726-14	健康
741-2	家族
741-4	家族
741-7	人間関係
741-8	平和
741-13	平和
741-14	家族、健康
741-15	元気
742-10	家族
742-12	健康
742-14	健康、家族
751-1	家族の健康
751-2	金
751-3	生きていること
751-9	家族
751-13	家族
751-14	親や子供、配偶者
751-15	主人
752-7	命
752-8	誠実に生きる
752-9	人の信頼
752-10	一日機嫌よく何事もなく過ごせること
752-12	子供
752-14	家族
753-1	お金

No.	Q50
753-2	家族、嫁、子供
753-5	心
753-6	家族
753-7	心の安心
753-8	健康
753-10	子供
753-12	家族
753-13	お金
753-14	お金
753-15	家族
754-1	家族、友人
754-3	命
754-7	お金、体（健康であること）
754-8	助け合う心、慈悲の心
754-9	娘（子供）
754-10	子供
754-13	家族、恋人、友人
754-14	家族
761-4	信用
761-5	家族
761-6	健康
761-7	健康
761-9	健康
761-10	友人
761-13	家族
761-14	家族
761-15	家族
811-2	家族
811-4	健康
811-5	家族
811-7	公平中立
811-8	仲間

No.	Q50
811-9	家族、友人
811-10	家族
811-13	友達
811-14	人とのつながり
812-1	
812-2	家族
812-3	生きていること
812-4	子供
821-7	命
812-9	家族
812-10	家族
812-11	環境
812-12	家族
812-14	家族
821-1	健康
821-2	家庭、家族
821-4	国が発展すること
821-6	家族
821-7	経済力
821-9	親、姉妹
821-10	健康
821-12	生命
821-15	家族
841-2	家族
841-3	親のありがたさ
841-4	家族の健康
841-5	家族の幸せ
841-7	家族
841-9	健康
841-10	親子関係
841-12	健康
841-13	家族
841-14	人間関係
842-1	人間愛

No.	Q50
842-2	奥様
842-4	家族
842-5	一般的に20才以下の子供
842-12	お金
842-14	家族
851-3	家族
851-5	家族、友人
851-8	家族、信頼できる人
851-13	子供
851-14	信頼
861-1	なし
861-2	健康、息災
861-3	仕事
861-4	家族
861-5	健康
861-6	健康
861-8	兄弟の絆
861-9	毎日の生活
921-4	家族
921-6	家族
921-7	ない
921-8	家族
921-10	家族の健康
921-11	家
921-12	家族
921-13	子供
921-14	家族
921-15	健康
941-2	家族
941-8	主人
941-10	家族
941-13	心、気持ちの余裕
941-15	思いやり

No.	Q50
951-1	女房
951-3	健康
951-4	配偶者
951-5	毎日何事もなく過ごすこと
951-9	家族の健康、世界の平和、一人暮らしの老人のこと、地域の人々と安心に暮らせる感じ
951-10	孫
951-11	家族
951-12	家族
951-13	家族
961-1	健康
961-4	家族
961-5	健康、お金
961-6	家族
961-7	家族
961-13	家族
961-14	健康
961-15	子供の家族と自分の健康
1011-2	家族
1011-4	健康、生活
1011-12	自分の連れ合い
1011-13	健康
1012-2	家族
1012-7	健康、愛情、お金、家族、音楽
1021-3	仕事
1021-6	家族の幸せ
1021-8	家族と友人
1021-9	家族
1021-11	家族

No.	Q50
1021-12	家族と友人
1021-15	自分の心身の健康
1022-2	家族
1022-5	家族
1022-8	健康
1022-9	家族
1022-10	
1022-11	家族
1022-13	健康
1022-14	健康
1022-15	健康
1023-10	自分の命
1023-12	生命、健康
1023-13	自分自身
1023-15	感謝の心を持つこと。毎日を明るく生きること。
1041-2	人に対しての感謝の心
1041-4	健康
1041-6	家族
1041-12	家族
1041-15	家族
1042-2	絆
1042-3	家族
1042-4	家族
1042-6	目標達成
1042-7	家族
1042-8	家族
1042-10	家族
1042-12	家庭
1042-14	子ども
1042-15	子ども(自分の)

No.	Q50
1051-1	助け合い
1051-5	家族
1051-6	子供
1051-9	家族
1051-10	家族
1051-14	子供
1051-15	お金
1052-2	家族
1052-5	家族
1052-6	命
1052-7	生活
1052-8	親友
1052-10	家族
1052-14	家族
1053-6	その時代をちゃんと生きていくこと、健康(家族、自分の周囲の方を含む)
1053-8	健康
1053-9	家族
1053-10	家族
1053-11	家族
1053-12	子供
1053-13	主人
1053-14	家族
1053-15	人間関係
1054-2	家族
1054-8	家族
1054-9	子供
1054-10	心のゆとり
1054-12	命
1054-13	愛情
1054-14	命
1054-15	家族
1061-4	

No.	Q50
1061-6	家族
1061-7	家族
1061-8	命
1061-9	
1061-10	主人
1061-12	家族
1061-15	家族
1062-1	家族
1062-3	家族
1062-5	家族
1062-6	家族
1062-7	家族
1062-8	家族
1062-11	
1062-12	家族

4. 日本調査票と提示カード

No4997

生活と文化に関する世論調査

(アジア・太平洋価値観国際比較 2010年日本調査)

平成22年12月

地点番号				対象番号		調査員氏名		点検者氏名	

①～④		⑦～⑭		⑤⑥		⑮～⑳		㉓～㉔		㉕～㉖	
第1回 ()日		第2回 ()日		第3回 ()日		第4回 ()日		第5回 ()日		第6回 ()日	
()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃	
接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法
1. 本人		1. 本人		1. 本人		1. 本人		1. 本人		1. 本人	
2. 家族		2. 家族		2. 家族		2. 家族		2. 家族		2. 家族	
3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず	
第7回 ()日		第8回 ()日		第9回 ()日		第10回 ()日		第11回 ()日		第12回 ()日	
()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃		()時()分頃	
接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法	接触状況	対応方法
③⑨ 1. 本人		1. 本人		1. 本人		1. 本人		1. 本人		1. 本人	
2. 家族		2. 家族		2. 家族		2. 家族		2. 家族		2. 家族	
④⑩ 3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず		3. 誰も会えず	

※訪問時間：24時間制で記入する

④⑦～④⑭

⑤⑤～⑤⑥

⑥③～⑥⑩

※対応方法のコード：下のコードを記入する

- 1 調査完了, 2 在宅時間を聞いた, 3 次回訪問を約束, 4 不在票を使用, 5 不在票は使用せず,
6 調査を拒否された, 7 拒否以外の不能

【自己紹介】 こんにちは (こんばんは)。私は、社団法人 新情報センターからきた「...」と申します (身分証を見せ、調査員の名前をいう)。きょうは (旧文部科学省) 大学共同利用機関法人・情報システム研究機構・統計数理研究所の委託で、世界の人々の生活や文化、意識の比較資料を集めるために、日本での調査にうかがいました。調査の内容は、答えてくださった方々の全体の統計数字のみが使われるだけで、それぞれの個人のご回答はあくまでも秘密厳守され、他の目的に使われることは一切ありません。もし、この規則をわれわれが破ると罰せられることもあるので、絶対に個人情報をもらすことはありませんので、どうぞよろしくご協力お願いいたします。

問1 【カード1】日本人全体の生活水準は、これから先の5年間によくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。

- 1 非常によくなるだろう 5 非常にわるくなるだろう
2 ややよくなるだろう 8 その他 (記入)
3 変わらないだろう 9 わからない
4 ややわるくなるだろう

⑦

問2 【カード2】 今後、日本のために、一番に友好を深めていくべき国や地域は、次の中ではどこでしょう。1つだけ選んでください。

- ⑫
- | | |
|----------------|-------------|
| 1 アメリカ合衆国 | 6 シンガポール |
| 2 EU (ヨーロッパ連合) | 7 オーストラリア |
| 3 中国 (本土) | |
| 4 韓国 | 8 その他 (記入) |
| 5 インド | 9 わからない |

問3 【カード3】 もし、もういちど生まれ変われるとしたら、日本以外の国や地域で、次の中ではどこに生まれたいですか。1つだけ選んでください。

- ⑬
- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| 1 中国 (本土) | 4 香港 | 7 オーストラリア |
| 2 韓国 | 5 インド | 88 その他 (記入) |
| ⑭ 3 台湾 | 6 シンガポール | 99 わからない |

問4 では、もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに生まれたいと思いますか。

- ⑮
- | | |
|-------------|--|
| 1 男に | |
| 2 女に | |
| 8 その他 (記入) | |
| 9 わからない | |

今度は、家庭や暮らしについておうかがいいたします。

問5 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

- ⑯
- | | | | | |
|-----------|-------------|------|-------------|---------|
| 1 普通より尊ぶ方 | 2 普通より尊ばない方 | 3 普通 | 8 その他 (記入) | 9 わからない |
|-----------|-------------|------|-------------|---------|

問6 子供がないときは、血のつながりがない他人の子供を、養子にとって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

- ⑰
- | | | | | |
|------------|-------------|---------|-------------|---------|
| 1 つがせた方がよい | 2 つがせる必要はない | 3 場合による | 8 その他 (記入) | 9 わからない |
|------------|-------------|---------|-------------|---------|

問7 現在、一般的な家庭にとって望ましい子供の数は何人だと思いますか。

- ⑱
- | | | | |
|---|----------------------|---|-------|
| ⑲ | <input type="text"/> | 人 | 99 |
| ⑲ | | | わからない |

問8 【カード4】一般に、人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、次にあるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。(1つ選択)

- 1 あやまちをおかさず、まじめに生きること
- 2 ボランティア活動などをして、社会のためにつくすこと
- 3 一生けんめい働き、金持ちになること
- 4 まじめに勉強して、名をあげること
- 5 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする事
- 6 その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
- 8 その他(記入)
- 9 わからない

80

問9 【カード5】あなたは次のような価値観についてどう思いますか。

	全くそのとお りだと思う	そう 思う	そうは 思わない	決してそう は思わない	その他 (記入)	わから ない
a. 先祖を尊ぶべき	1	2	3	4	8()	9
b. 長男は両親の面倒を見るべき	1	2	3	4	8()	9
c. 妻は夫に従う	1	2	3	4	8()	9
d. 親が反対する結婚はしない	1	2	3	4	8()	9
e. 年上の人意見に従う	1	2	3	4	8()	9
f. 家系を続かせるため息子は必要だ	1	2	3	4	8()	9
g. 男性は外で働き、女性は家庭を守るべき	1	2	3	4	8()	9

81

82

83

84

85

86

87

問10 a それでは、あなたが一番尊敬する職業は何ですか。(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)

(記入)	9 わからない
------	------------

88

b では、あなたが一番信用できないと思う職業は何ですか。
(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)

(記入)	9 わからない
------	------------

89

問11 【カード6】実際に今、働いているかどうかは別にして、もしあなたが働いているとした時、あなたの職場では良きリーダーはどんな資質を持っているべきでしょうか。最も重要なものを3つ、次の中から選んでください。(3つ選択)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 技術的に優れていること | 8 判断力が優れていること |
| 2 部下を公平に扱うこと | 9 部下に利益をもたらすこと |
| 3 部下に尊敬され、好かれていること | 10 年功を積んでいること |
| 4 真剣に仕事に取り組むこと | 11 よい階級の出身であること |
| 5 人間関係がよい、顔が広いこと | 88 その他(記入) |
| 6 仕事仲間に誠心誠意、接すること | 99 わからない |
| 7 決断力がある、断固としていること | |

90

91

92

問 12 【カード7】あなたと同じ年齢の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

- ⑨2
- | | |
|--------------|------------|
| 1 非常に満足している | 4 満足していない |
| 2 満足している | 8 その他(記入) |
| 3 あまり満足していない | 9 わからない |

問 13 【カード8】かりに現在の日本社会全体を、ここに書いてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅はこのどれにはいると思いますか。

- ⑨3
- | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|---|----------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 8 | 9 |
| 上 | 中の上 | 中の中 | 中の下 | 下 | その他(記入) | わからない |

問 14 【カード9】あなたは次のうちどちらが好ましいと思いますか。

- ⑨4
- | | |
|-------------------|------------|
| 1 収入が増えること | 8 その他(記入) |
| 2 余暇(自由な時間)が増えること | 9 わからない |

問 15 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

- ⑨5
- | | | | |
|-------|---------|----------|-------|
| 1 | 2 | 8 | 9 |
| ずっと働く | 働くのをやめる | その他(記入) | わからない |

問 16 【カード10】ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。あなたは、どれに一番関心がありますか。(1つ選択)

- ⑨6
- | | |
|------------------------|------------|
| 1 お金のことを気にしないですむ程、よい給料 | 8 その他(記入) |
| 2 倒産や失業の恐れがない仕事 | 9 わからない |
| 3 気の合った人たちと働くこと | |
| 4 やりとげたという感じがもてる仕事 | |

問 17 【カード11】ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることもあるかもしれません。あなたは、次のような危険について不安を感じるがありますか。

- | | 非感
常じ
にる | か感
なじ
りる | 少感
しじ
はる | 全じ
くな
感い | そ(記
他入) | わな
いか
ら |
|---------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------|---------------|
| ⑨7 a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 8() | 9 |
| ⑨8 b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 8() | 9 |
| ⑨9 c. では、「失業」についてはどうでしょうか …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 8() | 9 |
| ⑩0 d. では、「戦争」についてはどうでしょうか …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 8() | 9 |

問 18 【カード 12】 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って1～7の評価をつけてください。

	重要でない							重要	その他 (記入)	わからない (該当せず)
a. まず、「あなた自身の家族や子供」に………	1	2	3	4	5	6	7	8()	9	
ついてはどうですか。										
b. では、「職業や仕事」についてはどうですか。……	1	2	3	4	5	6	7	8()	9	
c. では、「自由になる時間とくつろぎ」に ……	1	2	3	4	5	6	7	8()	9	⑩
ついてはどうですか。										
d. では、「友人、知人」については………	1	2	3	4	5	6	7	8()	9	⑩
e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については……	1	2	3	4	5	6	7	8()	9	
f. では、「宗教」については………	1	2	3	4	5	6	7	8()	9	
g. では、「政治」については………	1	2	3	4	5	6	7	8()	9	

問 19 【カード 13】 あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか。

1	2	3	4	5	8	9
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	その他(記入)	わからない

問 20 【カード 13】 あなたの生活についておききします。ひとくちにいつてあなたは今の生活に満足していますか、それとも不満がありますか。

1	2	3	4	5	8	9
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	その他(記入)	わからない

問 21 【カード 14】 ここ1ヶ月の間に次にあげるものに悩みましたか(かかりましたか)。(1つずつ聞く)

	あり	なし
a. 頭痛・偏頭痛・頭が重い ……	1	2
b. 背中・の痛み(肩こりや腰痛など) ……	1	2
c. いらいら ……	1	2
d. うつ状態(ゆううつになる、気がふさぐ) ……	1	2
e. 不眠症(よく眠れない) ……	1	2
f. 全身がだるい ……	1	2
g. 心臓がどきどきしたり、息苦しい ……	1	2
h. 胃腸の調子が悪い・痛みがある ……	1	2
i. アレルギーがある ……	1	2
j. ぜん息、息切れ、せきが出やすい ……	1	2
k. その他、健康上で何か悩みがありますか ……	1(記入)	2 なし
9 わからない		

問 22 【カード 15】 それでは、あなたは悩みごとや重大な相談事を、まずどなたに相談していますか、あるいは、すると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 父親
- 2 母親
- 3 きょうだい
- 4 配偶者やパートナー（夫や妻）
- ⑫⑬ 5 その他の家族や親戚
- 6 友人・知人（職場や学校、近所の）
- 7 匿名で相談できる場所（電話やインターネットなど）
- 8 医者など、その問題の専門家（記入）
- 9 その他（記入）
- 10 相談できる人がいない
- 11 特に悩みはない
- 99 わからない

問 23 【カード 16】 （要注意：この質問は、明らかに本人や家族が重い病気の場合は質問しないでよい。）

次の問いは重い問題を含みますので、もし、答えたくなければ、答えなくともかまいませんが、一応、読み上げます。答えたくない場合は、おっしゃってください。

万が一、あなたが「ガン」など治療が難しい病気になったときのことをお伺いします。もし、あなた自身がそのような重い病気にかかったとしたら、医者にそれを告げてもらいたいと思いますか、告げてもらいたくはないと思いますか。あなたの気持ちに一番近い意見はどれですか。

- 1 どんな場合でも告げてもらいたい
- ⑫⑬ 2 治癒の可能性の程度（治る見込みの度合い）による
- 3 その他の条件にもよる
- 4 どんな場合でも告げてもらいたくはない
- 7 答えたくない・答ええない
- 8 その他（記入）
- 9 わからない

問 24 【カード 17】 あなたのご家族も含めて、あなたの周りには、次にあげたような人がどの程度いらっしゃいますか。次にあげた a～d のそれぞれについて、あてはまる番号を1つずつ選んでください。

	た く さ ん い る	ま あ ま あ い る	ひ い と り だ け	特 に い な い	わ か ら な い
a. 物や金銭を貸してくれたり、手伝ってくれる人……………	1	2	3	4	9
⑫⑬ b. あなたの現在の気持ちや状態を理解してくれている人……………	1	2	3	4	9
⑫⑬ c. 気軽に電話したり、会ったりして相談できる人……………	1	2	3	4	9
d. あなたのことを高く評価していたり、敬意を払ってくれている人…	1	2	3	4	9

問 25 【カード 18】 いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンス、あるいは血縁・地縁・学閥などの人のつながりの、どれが一番大きな役割をはたしていると思いますか。(1つ選択)

- | | | | | | |
|----------|--------|-----------------------|---------|---------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 8 | 9 | |
| 個人の才能や努力 | 運やチャンス | 血縁・地縁・学閥
などの人のつながり | その他(記入) |) わからない | (129) |

問 26 【カード 19】 世間でときどき話題になることをおうかがいします。このカードにある「超能力」や「空飛ぶ円盤」などについて、あなたはどんな感じをもちますか。1から8までの言葉をよくごらんになって、それぞれについて、あなたの気持にもっともピッタリする言葉を1つずつ選んでください。

	つまらない	いあってほしい	いる・ある	こわい	おそろしい	いてほしい	あつてほしい	たのしい	おもしろい	いなかばかしい	こわくない	おそろしくない	その他(記入)	わからない	
a. 超能力や念力……………	1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	()	99	(130)	(131)	
b. 空飛ぶ円盤や宇宙人……………	1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	()	99	(132)	(133)	
c. 妖怪や鬼……………	1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	()	99	(134)	(135)	
d. 幽霊や亡霊、人のたたり……………	1	2	3	4	5	6	7	8	88	99	()	99	(136)	(137)	

問 27 【カード 20】 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | |
|--------------------|-----------|-------|
| 1 賛成(人間らしさはへる) | 8 その他(記入) | |
| 2 反対(人間らしさは不変、ふえる) | 9 わからない | (138) |
| 3 いちがいにはいえない | | |

問 28 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人達にまかせる方がよい」というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | | |
|-------------------|-----------|-------|
| 1 賛成(まかせる) | 8 その他(記入) | |
| 2 反対(まかせつきりはいけない) | 9 わからない | (139) |
| 3 いちがいにはいえない | | |

問 29 【カード 21】 次の3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

- | | | |
|------------------------|---|-------|
| 1 離婚はすべきではない | | |
| 2 ひどい場合には、離婚してもよい | | |
| 3 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい | | |
| 8 その他(記入) |) | (140) |
| 9 わからない | | |

問 30 【カード 22】 自然と人間との関係について、次のような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、1つだけ選んでください。

- ⑭ 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない
 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
 3 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
 8 その他（記入）
 9 わからない

問 31 【カード 23】 あなたは次の意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください。

- ⑭ 1 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる
 2 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
 3 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
 8 その他（記入）
 9 わからない

問 32 【カード 24】 こういう意見があります。

「どんなに世の中の機械化や情報化が進んでも、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりほしない」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- ⑭ 1 反対（へる）
 2 賛成（へらない）
 3 いちがいにはいえない
 8 その他（記入）
 9 わからない

問 33 【カード 25】 次にあげるものを、あなたは「ある」または「存在する」と思いますか。それぞれについてお答えください。（1つずつ聞く）

	ある・存在する	あるかもしれない	ない・存在しない	その他（記入）	わからない
⑭ a. 神や仏	1	2	3	8 ()	9
⑮ b. 死後の世界	1	2	3	8 ()	9
⑯ c. 霊魂（たましい）	1	2	3	8 ()	9

問 34 【カード 26】 次のうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれとどれにしますか。（この質問では、2つの項目をあげてもらうこと）

	あり	なし
⑭ a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬	1	2
b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する	1	2
⑮ c. 個人の権利を尊重すること	1	2
d. 個人の自由を尊重すること	1	2
8 その他（記入）		
⑯ 9 わからない		

問 35 [カード 27] ある会社に次のような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげてください。

- 1 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことで人のめんどうを見ません
- 2 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもあります。仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます
- 8 その他 (記入)
- 9 わからない

(152)

問 36 さて、たいていの方は、他人の役にたとうと思っていますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

- 1 他人の役にたとうとしている
- 2 自分のことだけ考えている
- 8 その他 (記入)
- 9 わからない

(153)

問 37 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

- 1 機会があれば利用しようとしていると思う
- 2 そんなことはないと思う
- 8 その他 (記入)
- 9 わからない

(154)

問 38 たいていの方は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

- | | | | |
|--------------|----------------|-----------|-------|
| 1 | 2 | 8 | 9 |
| 信頼できる
と思う | 常に用心した
方がよい | その他 (記入) | わからない |

(155)

問 39 【カード 28】次に、人生や死についての考え方をあげてあります。あなたはどのように思われますか。

それぞれについて「そう思う」か「そうは思わない」か、お答えください。

	そう 思う	そうは 思わない	どちらとも いえない	わから ない
a. 自分はなにか大きな見えない力によって「生かされて いる」という実感がある.....	1	2	3	9
b. ある人が、どこで生まれ、いつ死ぬかは、その人の運 命によって決まっており、人の力では変えられない...	1	2	3	9
⑩⑤ c. 人は死んでも、繰り返し生まれ変わるものだ.....	1	2	3	9
⑩⑥ d. 自分が死んでも、自然の一部になって生き続けること ができる.....	1	2	3	9
e. 人類全体の進歩と幸福のために、自分でできることを やってみたい.....	1	2	3	9
f. 自分を犠牲にしてでも、その人のために尽くしたいと 思ったことがある.....	1	2	3	9
g. 自分の主義主張のために死ぬことは、立派なことだ...	1	2	3	9
h. 自殺するとき、自分の子供を道連れにする人の気持ち は、よくわかる.....	1	2	3	9
i. 恋する者どうしが心中する、ということは美しい.....	1	2	3	9

問 40a 【カード 29】人生の考え方について、次の2つの意見のうちどちらがあなたのお考えに近いですか。

- ⑩⑤
- 1 人の運命は決まっており、人の力では変えられない
2 人生は自分で切り開いていくものだ
8 その他(記入) 9 わからない

【カード 30】

- ⑩⑤ b. では次の2つの意見では、強いて言えば、どちらがあなたのお考えに近いですか。
- 1 人生は太く短く生きたい
2 人生は細く長く生きたい
8 その他(記入) 9 わからない

問 41 【カード 31】次に読みあげる事柄についてあなたはどのように思いますか。

それぞれについて、この中からお答えください。(a~dについてそれぞれ聞く)

- ⑩⑦ a. 病気の中には近代医学とは別の方法で治療した方がよいものもある。
- 1 全くそのとおりでと思う 4 決してそうは思わない
2 そう思う 8 その他(記入)
3 そうは思わない 9 わからない
- ⑩⑧ b. 科学技術が発展すれば、いつかは人間の心の中までも解明できる。
- 1 全くそのとおりでと思う 4 決してそうは思わない
2 そう思う 8 その他(記入)
3 そうは思わない 9 わからない

c 今日、我々が直面している経済的、社会的問題のほとんどは科学技術の進歩により解決される。

- | | | | |
|---------------|--------------|---|-------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない | | |
| 2 そう思う | 8 その他 (記入) |) | (169) |
| 3 そうは思わない | 9 わからない | | |

d 将来、科学技術の発展により、火星でも、地球と同じような生活ができるようになる。

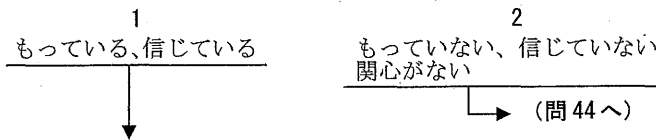
- | | | | |
|---------------|--------------|---|-------|
| 1 全くそのとおりだと思う | 4 決してそうは思わない | | |
| 2 そう思う | 8 その他 (記入) |) | (170) |
| 3 そうは思わない | 9 わからない | | |

問 42 少し話がかかりますが、日本文化と書いて、まず思い浮かべることは何ですか。

(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)

(記入)	9 わからない
------	------------

問 43 a 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか。



b (問 43 a で「1 もっている、信じている」と回答した人に)
それは何という宗教ですか。(1つ選択)

- | | | | |
|---------------|---|--|-------|
| 1 仏教系 | | | |
| 2 神道系 | | | |
| 3 キリスト教 | | | |
| 8 その他の宗教 (記入) |) | | (171) |
| 9 わからない | | | |

問 44 それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか。

- | | | | |
|------|---------|------------|---------|
| 1 大切 | 2 大切でない | 8 その他 (記入) | 9 わからない |
|------|---------|------------|---------|

今度は、法律についてお聞きします。

問 45 「法律はどんなときにも守るべきである」という意見と「目的が本当に正しいものと確信がもてるときには、法律をやぶることもやむをえない」という意見があります。どちらの考えがあなたにぴったりしますか。

- | | | | |
|------------------------------------|---|--|-------|
| 1 「どんなときにも守るべきだ」という意見 | | | |
| 2 「目的が正しい時には、法律をやぶることもやむをえない」という意見 | | | |
| 8 その他 (記入) |) | | (172) |
| 9 わからない | | | |

問 46 【カード 32】 契約書というものについて、次のAさんとBさんの意見のうち、あなたはどちらに近い
ですか。

- A 「契約書をとりかわすというのは、お互いに信頼し合っていない証拠だ。信頼し合っていれば、
契約書など必要ない」
- B 「いくらお互いに信頼し合っている、契約は契約として、ちゃんと文書をとりかわしておく方が
よい」
- 1 Aの意見に近い
2 Bの意見に近い
8 その他（記入）
9 わからない

問 47 【カード 33】 また、次のAさんとBさんの意見では、あなたはどちらに近いですか。

- A 「契約書をとりかわすときでも、契約は形式的なものだから、できるだけ簡単に、契約書の表
現もできるだけ融通がきくようなものにしておく方がよい」
- B 「契約書というものは、あとで解釈などをめぐってもめないように、できるだけこまかく具体的に
キチッと決めておく方がよい」
- 1 Aの意見に近い
2 Bの意見に近い
8 その他（記入）
9 わからない

問 48 【カード 34】 環境保護と経済成長について、AとBの2つの意見がよく出されます。どちらがあなた
の考えに近いですか。

- A ある程度の公害や環境汚染・自然破壊が伴うことがあっても、経済のゆとりや快適な生活は
大切だと思う
- B 公害や環境汚染・自然破壊を抑えるために、経済力が低下し生活が不便になってもよいと思う
- 1 Aの意見に近い
2 Bの意見に近い
8 その他（記入）
9 わからない

次に、政治や今後の日本と世界との関係について、おうかがいします。

問 49 【カード 35】 今後の世界において、日本がすべきことがらについていろいろな意見があります。
この中で、日本にとってもっとも大切と思うものを1つだけ選んでください。

- 1 環境問題に積極的に取り組む
2 戦争や地域紛争の解決、難民への支援や平和維持活動を行う
3 科学技術の発展を促進する
4 必要とされる国や地域に、積極的に経済援助をする
5 異なる文化や宗教の間で互いに理解を深めるようにつとめる
8 その他（記入）
9 わからない

問 50 あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)

(記入)	9 わからない
------	------------

⑩

問 51 【カード 36】 さて、日頃の生活の中でのお気持ちをお聞かせください。次のようなことを感じていますか。

	そう思う	まあまあ そう思う	どちらと も言えな い	そうは思 わない	その他 (記入)	わか ら ない
a. 私には心のよりどころ、 ^{はげ} 励みと するものがある……………	1	2	3	4	8 ()	9
b. 今の生活に張り合いを感じてい る……………	1	2	3	4	8 ()	9
c. 私は世の中や家族のためになる ことをしていると思う……………	1	2	3	4	8 ()	9
d. 私は家族や他人から期待され頼り にされている……………	1	2	3	4	8 ()	9

⑪

⑫

問 52 【カード 37】 あなたは、次にあげる組織や制度、事がらをどの程度信頼しますか。「非常に信頼する」「やや信頼する」「あまり信頼しない」「全く信頼しない」のいずれかでお答えください。
(1つずつ聞く)

	非常に 信頼する	やや 信頼する	あまり 信頼しない	全く 信頼しない	わか ら ない
a. 宗教団体……………	1	2	3	4	9
b. 法律や裁判の制度……………	1	2	3	4	9
c. 新聞・テレビ……………	1	2	3	4	9
d. 警察……………	1	2	3	4	9
e. 国の行政……………	1	2	3	4	9
f. 国会……………	1	2	3	4	9
g. NPO・NGO(非営利団体や非政府組織) ……	1	2	3	4	9
h. 社会福祉施設……………	1	2	3	4	9
i. 国連……………	1	2	3	4	9
j. 科学技術……………	1	2	3	4	9

⑬

⑭

問 53 【カード 38】 現在、世界中にいろいろな宗教があり、宗教間の対立による争いが起こっていますが、これからの世界の人々は、どのようにすべきと思いますか。次のうち、どれがあなたのお考えに近いですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 世界の人々は、自分の宗教を広めるべき
- 2 世界の人々は、自分の宗教を世界に理解させることに努力すべき
- ①95 3 世界の人々は、他のいろいろな宗教を理解することに努力すべき
- 4 世界の人々は、理解するかどうかは別として、お互いの宗教を尊重すべき
- 8 その他（記入)
- 9 わからない

問 54 【カード 39】 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。入っているものすべてをお答えください。（いくつでもいいです）

	はい	いいえ
a. 政治関係の団体や会.....	1	2
b. 業界団体・同業者団体.....	1	2
c. ボランティアのグループ.....	1	2
①96 d. 市民運動・消費者運動のグループ.....	1	2
5 e. 宗教の団体や会.....	1	2
②04 f. スポーツ関係のグループやクラブ.....	1	2
g. 趣味の会（同窓会・老人会・コーラス・写真・山歩きなど）.....	1	2
h. コンピューターネット上のグループ.....	1	2
i. その他（具体的に)	1(記入)	2
②05 9 わからない		

<フェイス・シート>

（最後に、あなたご自身のことについてお伺いします。）（この部分は回答者本人が記入してもよい。）

F1【性別】

- ②06 1 男 性
- 2 女 性

F2【年齢】 あなたのお年は満でいくつですか。

|

歳

②07 ②08

- 1 20～24 歳
- 2 25～29 歳
- 3 30～34 歳
- 4 35～39 歳
- 5 40～44 歳
- 6 45～49 歳
- 7 50～54 歳
- 8 55～59 歳
- 9 60～64 歳
- 10 65～69 歳
- 11 70 歳以上

②09

F3 [学 歴] [カード40] あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。
(中退・在学中は卒業としてお答えください。)

- | | | | | | |
|--------------------|---------------|--------------|-------------|--------------|------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 8 | 9 |
| 小学校・中学校
(及び旧高小) | 高 校
(及び旧中) | 短 大・
専門学校 | 大 学・
大学院 | その他
(記入) | わ か ら な
い・無回答 |

F4 [職 業] あなたのご職業は何ですか。

〔 具体的に記入して、下記の該当するものに○をする 〕

自営者			被傭者				家族従業員			無 職.		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
農	商	自	管	専	事	労	農	商	自	無	学	そ
林	工			門			林	工		職		の
漁	サ	由	理	・	務	務	漁	ー	由	の		他
業	ー	業	職	技	職	職	業	ビ	業	主		の
	ス			術				ス		婦	生	無
	業			職				業				職

F5 [世帯収入] [カード41] では、お宅の収入は、ご家族全部合わせて、過去1年間でおよそどれくらいになりましたか。この中ではどうでしょうか。ボーナスも含め、税込みでお答えください。

- 1 200万円未満
- 2 200万円～400万円未満
- 3 400万円～800万円未満
- 4 800万円～1,200万円未満
- 5 1,200万円以上
- 8 回答拒否
- 9 わからない

F6 [同居人数] 今、ごいっしょにお住まいの方は、あなた自身をふくめて、何人ででしょうか。

 人

99 無回答

F7 [同居形態] [カード42] 現在、あなたは誰と一緒に住んでいますか。次から、当てはまるものすべてをお選びください。(いくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 本人だけ(独り暮らし) | 6 親戚 |
| 2 配偶者(妻、夫、パートナー) | 7 ルームメイト・友人 |
| 3 親 | 8 それ以外の人(記入) |
| 4 兄弟・姉妹 | 9 無回答 |
| 5 子供 | |

ご協力ありがとうございました。

【調査員記入欄】

面接時間

--	--	--	--

 分

提示カードは、元はA5版の各カードを1枚ずつ提示した。
ただし、問39（カード28）のみ提示リストが長いため、
縦横25 cm×21 cmとした。

No.4997

【カード1】 問1

- 1 非常によくなるだろう
- 2 ややよくなるだろう
- 3 変わらないだろう
- 4 ややわるくなるだろう
- 5 非常にわるくなるだろう

【カード2】 問2

- 1 アメリカ合衆国
- 2 EU（ヨーロッパ連合）
- 3 中国（本土）
- 4 韓国
- 5 インド
- 6 シンガポール
- 7 オーストラリア

【カード3】 問3

- 1 中国 (本土)
- 2 韓国
- 3 台湾
- 4 香港
- 5 インド
- 6 シンガポール
- 7 オーストラリア

【カード4】 問8

- 1 あやまちをおかさず、まじめに生きること
- 2 ボランティア活動などをして、社会のためにつくすこと
- 3 一生けんめい働き、金持ちになること
- 4 まじめに勉強して、名をあげること
- 5 金や名譽を考えずに、自分の趣味にあつたぐらし方をすること
- 6 その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと

【カード5】 問9

	全くそのとおり だと思ふ	そう思ふ	そうは思わない	決してそうは 思わない
a. 先祖を尊ぶべき……………	1	2	3	4
b. 長男は両親の面倒を見るべき……………	1	2	3	4
c. 妻は夫に従ふ……………	1	2	3	4
d. 親が反対する結婚はしない……………	1	2	3	4
e. 年上の人意見に従ふ……………	1	2	3	4
f. 家系を続かせるため息子は必要だ……………	1	2	3	4
g. 男性は外で働き、女性は家庭を守るべき…	1	2	3	4

【カード6】

問11

(3つ選択)

- 1 技術的に優れていること
- 2 部下を公平に扱うこと
- 3 部下に尊敬され、好かれていること
- 4 真剣に仕事に取り組むこと
- 5 人間関係がよい、顔が広いこと
- 6 仕事仲間に誠心誠意、接すること
- 7 決断力がある、断固としていること
- 8 判断力が優れていること
- 9 部下に利益をもたらすこと
- 10 年功を積んでいること
- 11 よい階級の出身であること

【カード7】 問12

- 1 非常に満足している
- 2 満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 満足していない

【カード8】 問13

- 1 上
- 2 中の上
- 3 中の中
- 4 中の下
- 5 下

【カード9】 問14

1 収入が増えること

2 余暇(自由な時間)が増えること

【カード10】 問16

1 お金のことを気にしないですむ程、よい給料

2 倒産や失業の恐れがない仕事

3 気の合った人たちと働くこと

4 やりとげたという感じがある仕事

【カード11】 問17

a. 重い病気……………	1	2	3	4
b. 交通事故……………	1	2	3	4
c. 失業……………	1	2	3	4
d. 戦争……………	1	2	3	4

非常に感じる
かなり感じる
少しは感じる
全く感じない

【カード12】 問18

								重 要
a. あなた自身の家族や子供……………	1	2	3	4	5	6	7	
b. 職業や仕事……………	1	2	3	4	5	6	7	
c. 自由になる時間とくつろぎ……………	1	2	3	4	5	6	7	
d. 友人、知人……………	1	2	3	4	5	6	7	
e. 両親、兄弟、姉妹、親戚……………	1	2	3	4	5	6	7	
f. 宗教……………	1	2	3	4	5	6	7	
g. 政治……………	1	2	3	4	5	6	7	

1 満足

2 やや満足

3 どちらともいえない

4 やや不満

5 不満

a. 頭痛・偏頭痛・頭が重い

b. 背中の痛み(肩こりや腰痛など)

c. いらいら

d. うつ状態(ゆううつになる、気がふさぐ)

e. 不眠症(よく眠れない)

f. 全身がだるい

g. 心臓がどきどきしたり、息苦しい

h. 胃腸の甲詞が悪い・痛みがある

i. アレルギイがある

j. ぜん息、息切れ、せきが出やすい

k. その他、健康上の悩み(具体的に)

【カード15】 問22

- 1 父親
- 2 母親
- 3 きょうだい
- 4 配偶者やパートナー（夫や妻）
- 5 その他の家族や親戚
- 6 友人・知人（職場や学校、近所の）
- 7 匿名で相談できるところ（電話やインターネットなど）
- 8 医者など、その問題の専門家（具体的に）
- 9 その他（具体的に）
- 10 相談できる人がいない

【カード16】 問23

- 1 どんな場合でも告げてもらいたい
- 2 治療の可能性の程度（治る見込みの度合い）による
- 3 その他の条件にもよる
- 4 どんな場合でも告げてもらいたくはない

	たくさんいる	まあまあいる	ひとりだけいる	特 に い な い
a. 物や金銭を貸してくれたり、手伝ってくれる人………	1	2	3	4
b. あなたの現在の気持ちや状態を理解してくれている人…	1	2	3	4
c. 気軽に電話したり、会ったりして相談できる人………	1	2	3	4
d. あなたのことを高く評価していたり、敬意を払ってく れている人………	1	2	3	4

1 個人の才能や努力

2 運やチャンス

3 血縁・地縁・学閥などの人のつながり

	つまらない	あつてほしい	いる・ある	おそろしい	あつてほしくない	おもしろい	おもしろくない	おそろしくない	おそろしい
a. <small>ちやうのうりよく</small> 超能力や念力……………	1	2	3	4	5	6	7	8	8
b. 空飛ぶ円盤や宇宙人……………	1	2	3	4	5	6	7	8	8
c. <small>ようかい</small> 妖怪や鬼……………	1	2	3	4	5	6	7	8	8
d. <small>ゆうれい</small> や <small>ぼうれい</small> 亡霊、人のたたり…	1	2	3	4	5	6	7	8	8

1 賛成 (人間らしさはへる)

2 反対 (人間らしさは不変、ふえる)

3 いちがいにはいえない

[カード21] 問 29

- 1 離婚はすべきではない
- 2 ひどい場合には、離婚してもよい
- 3 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい

[カード22] 問 30

- 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない
- 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
- 3 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない

【カード23】 問31

1 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる

2 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる

3 国がよくなることも、個人が幸福になることも
同じである

【カード24】 問32

1 反対（へる）

2 賛成（へらない）

3 いちがいいにはいえない

ある・存在する

あるかもしれない

ない・存在しない

- a. 神や仏1 2 3
- b. 死後の世界1 2 3
- c. 霊魂 (たましい) ...1 2 3

(2つ選択)

- a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬
- b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する
- c. 個人の権利を尊重すること
- d. 個人の自由を尊重すること

1 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことで人のめんどうを見ません

2 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます

	そう思う	そうは思わない
a. 自分はなにか大きな見えない力によって「生かされている」という実感がある ……	1	2
b. ある人が、どこで生まれ、いつ死ぬかは、その人の運命によって決まっており、人の力では変えられない……………	1	2
c. 人は死んでも、繰り返し生まれ変わるものだ ……	1	2
d. 自分が死んでも、自然の一部になって生き続けることができる ……	1	2
e. 人類全体の進歩と幸福のために、自分でできることをやってみたい ……	1	2
f. 自分を犠牲にしても、その人のために尽くしたいと思ったことがある……………	1	2
g. 自分の主義主張のために死ぬことは、立派なことだ ……	1	2
h. 自殺するとき、自分の子供を道連れにする人の気持ちは、よくわかる……………	1	2
i. 恋する者どうしが心中する、ということは美しい ……	1	2

【カード29】 問40a

1 人の運命は決まっております、人の力では変えられない

2 人生は自分で切り開いていくものだ

【カード30】 問40b

1 人生は太く短く生きたい

2 人生は細く長く生きたい

1 全くそのとおりだと思う

2 そう思う

3 そうは思わない

4 決してそうは思わない

A 「契約書をとりにかわすというのは、お互いに信頼し合っていない証拠だ。信頼し合っていれば、契約書など必要ない」

B 「いくらお互いに信頼し合っていても、契約は契約として、ちゃんと文書をとりにかわしておく方がよい」

A 「契約書をとりにかわすときでも、契約は形式的なものだから、できるだけ簡単にして、契約書の表現もできるだけ融通ゆうずうがきくようなものにしておく方がよい」

B 「契約書というものは、あとで解釈などをめぐってもめないように、できるだけこまかく具体的にキチッと決めておく方がよい」

A ある程度の公害や環境汚染・自然破壊が伴うことがあっても、経済のゆとりや快適な生活は大切だと思う

B 公害や環境汚染・自然破壊を抑えるために、経済力が低下し生活が不便になってもよいと思う

- 1 環境問題に積極的に取り組む
- 2 戦争や地域紛争の解決、難民への支援や平和維持活動を行う
- 3 科学技術の発展を促進する
- 4 必要とされる国や地域に、積極的に経済援助をする
- 5 異なる文化や宗教の間でお互いに理解を深めるようにつとめる

[カード36] 問 51

	そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	そうは思 わない
a. 私には心のよりどころ、 ^{はげ} 励みとするものがある……………	1	2	3	4
b. 今の生活に張り合いを感じている……………	1	2	3	4
c. 私は世の中や家族のためになることをしていると思う……………	1	2	3	4
d. 私は家族や他人から期待され頼りにされている……………	1	2	3	4

	非常に 信頼す る	やや 信頼す る	あまり 信頼し ない	全く 信頼し ない
a. 宗教団体.....	1	2	3	4
b. 法律や裁判の制度.....	1	2	3	4
c. 新聞・テレビ.....	1	2	3	4
d. 警察.....	1	2	3	4
e. 国の行政.....	1	2	3	4
f. 国会.....	1	2	3	4
g. NPO・NGO(非営利団体や非政府組織) ...	1	2	3	4
h. 社会福祉施設.....	1	2	3	4
i. 国連.....	1	2	3	4
j. 科学技術.....	1	2	3	4

- 1 世界の人々は、自分の宗教を広めるべき
- 2 世界の人々は、自分の宗教を世界に理解させることに努力するべき
- 3 世界の人々は、他のいろいろな宗教を理解することに努力するべき
- 4 世界の人々は、理解するかどうかは別として、お互いの宗教を尊重するべき

- a. 政治関係の団体や会
- b. 業界団体・同業者団体
- c. ボランティアのグループ
- d. 市民運動・消費者運動のグループ
- e. 宗教の団体や会
- f. スポーツ関係のグループやクラブ
- g. 趣味の会 (同窓会・老人会・コース・写真・山歩きなど)
- h. コンピューターネット上のグループ
- i. その他 (具体的に)

(中退・在学中は卒業としてお答えください。)

- 1 小学校・中学校 (及び旧高小)
- 2 高校 (及び旧中)
- 3 短大・専門学校
- 4 大学・大学院

【カード41】 F 5 世帯収入

- 1 200万円未満
- 2 200万円～400万円未満
- 3 400万円～800万円未満
- 4 800万円～1,200万円未満
- 5 1,200万円以上

【カード42】 F 7 同居形態 (おてはまるものをすべて)

- 1 本人だけ (独り暮らし)
- 2 配偶者 (妻、夫、パートナー)
- 3 親
- 4 兄弟・姉妹
- 5 子供
- 6 親戚
- 7 ルームメイト・友人
- 8 それ以外の人 (具体的に)

5. 日本2010調査における項目の出典履歴

以下に、アジア・太平洋価値観国際比較調査（2010～2014年度）の調査票（以下アジア太平洋調査）における項目の履歴を示す。前回の環太平洋価値観国際比較調査（2004～2009年度、以下環太平洋調査）は日本調査04A（2004年度実施）に準じているが、項目によっては質問の主旨に沿って回答カテゴリーを適宜変更したもの（Q2、Q3、Q22、Q42b、Q52等）、また回答カテゴリーの尺度表現に国や地域によって微妙な差があるもの（Q12、Q40等）もあった。今回、2010年度以降実施のアジア太平洋調査の調査票作成には、上述した環太平洋調査、及びその注意事項にほぼ忠実に依拠している項目が多いが、他方で今回それ以外の調査（特に兵庫教育大学が平成18年度に実施した「生活と文化に関する世論調査」）を参考に、新しく作成された質問項目も存在する。以下はそれらの新項目をも踏まえた全質問の出典履歴である。個々質問の変更内容の説明に関しては、他国の調査にては意味を持つが2010年度日本調査とは関連性が薄い事項は省いている。

※ 右端の「04B」の記号は、日本調査04Aとほぼ同時期に遂行した日本調査04Bで同じ問題があるものを指す。

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
問1	#7.31	日本人の国民性 7ヶ国比較・問3 環太平洋・問1	生活水準	K.S.:「将来」→「これから先の5年間」 七カ国比較:同じ K.S.,七カ国比較:「あなたの」→「日本人全体の」 日本04A:「日本人全体の」→「あなたの」	04B
問2	修正	東ア日本02・問44 環太平洋・問2	国際関係 (友好)	【国別質問】 「わが国」→「日本」、「中国」→「中国(本土)」、 「1つ」bold 日本04A:「日本のために」→「わが国のために」 環太平洋:オーストラリアを追加	
問3	修正	東ア日本02・問43 環太平洋・問3	国の親近感 (生まれた い国)	【国別質問】 「、もういちど」追加、「中国」→「中国(本土)」 環太平洋:「日本以外のアジアの国(地域)」→「日 本以外の国や地域」;「次の中では」追加;オース トラリアを追加。 環太平洋調査では2006米国版のみ回答肢に「10. None」が入っていたが、それ以外の国ではこの選 択はなかった(これは作成時のミスと考えられ る)。今回のアジア環太平洋調査ではNoneの回答 肢を入れないことで統一する また、今回のアジア太平洋調査ではアジア地域以 外の国が回答として挙げられた場合どう対応する か検討されたが、カード上の選択肢を限定するこ とで可能な限り「アジア太平洋地域」の中から選 択してもらうのを強調することとした。	
問4	#6.2	日本人の国民性 東ア日本02・問42b(修 正版) 環太平洋・問4	男女の生ま れ変わり (将来)		
問5	#4.11	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問11 東ア日本02・問1 環太平洋・問5	先祖を尊ぶ	日本04A:「普通より」は、(各国で)「その国の普 通の人々より」に翻訳	04B
問6	#4.10	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問12 東ア日本02・問2 環太平洋・問6	他人の子供 を養子にす るか		

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
問7	#4.80	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問13 東ア日本02・問3 環太平洋・問7	望ましい子 供の数		
問8	変更 #2.4	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問22 環太平洋・問8	くらし方	K.S.,七カ国比較:「(1つ選択)」追加、カテゴリーと項目順変更 04Bと関連するが、内容は異なる	04B
問9a		東ア日本02・問50a 環太平洋・問9a	儒教精神 (先祖尊ぶ)		
問9b		東ア日本02・問50b 環太平洋・問9b	儒教精神 (長男が両親の面倒)		
問9c		東ア日本02・問50c 環太平洋・問9c	儒教精神 (妻は夫に従う)		
問9d		東ア日本02・問50d 環太平洋・問9d	儒教精神 (親の反対する結婚)		
問9e		東ア日本02・問50e 環太平洋・問9e	儒教精神 (年上の人の意見)		
問9f		東ア日本02・問50f 環太平洋・問9f	儒教精神 (家系に息子が必要)		
問9g		東ア日本02・問50g 環太平洋・問9g	儒教精神 (男が働き女は家庭)		
問10a		東ア日本02・問39a 環太平洋・問10a	尊敬する職業	日本04A:「それでは、」追加	
問10b	新設		信頼できない職業	新項目、また当項目の英表現はいろいろ候補はあったがleast trustworthyを採用。	
問11		東ア日本02・問52 環太平洋・問11	リーダーの条件	日本04A:「実際に今、働いているかどうかは別にして、もしあなたが働いているとした時、」追加、「(3M.A.)」→「(3つ選択)」	04B
問12	#2.3g	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問15 東ア日本02・問5 環太平洋・問12	健康満足	日本04A:「いかがですか」→「どれくらい満足していますか?」	
問13	#1.8	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問16 東ア日本02・問6 環太平洋・問13	社会的階層	【国別質問】 なお、環太平洋調査英語版では、USA06のみに“class”が意図せず付加されてしまっていた。アジア太平洋調査の米国2010ではclassの言葉を外した。	
問14	#7.81	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問17 東ア日本02・問7 環太平洋・問14	収入と余暇		
問15	#2.8	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問18 東ア日本02・問8 環太平洋・問15	お金と仕事		
問16		東ア日本02・問9 環太平洋・問16	仕事と個人生活	「(1つ選択)」 bold	

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
問17a	#2.30	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問9a 東ア日本02・問10a 環太平洋・問17a	不安感 (重い病気)	日本04A: 質問文「と思います」→「かもしれま せん」	04B
問17b	#2.30d	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問9b 東ア日本02・問10b 環太平洋・問17b	不安感 (交通事故)	日本04A: 質問文「と思います」→「かもしれま せん」	04B
問17c	#2.30e	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問9c 環太平洋・問17c	不安感 (失業)	日本04A: 質問文「と思います」→「かもしれま せん」 追加カテゴリー	04B
問17d	#2.30f	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問9d 東ア日本02・問10c 環太平洋・問17d	不安感 (戦争)	日本04A: 質問文「と思います」→「かもしれま せん」	04B
問18a	修正 #5.81a	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問27a 東ア日本02・問12a 環太平洋・問18a	生活領域の 重要性(家 族や子供)	日本04A: 「家族や子供」→「あなた自身の家族や 子供」 問18aは回答者の配偶者及び子供を指しており、そ れ以外の家族は問18e。アジア太平洋調査2010か ら調査員向け指示書に「回答者が「自分の家族や 子供はいない」と言った場合などは「9. わから ない・該当せず」に○を付けるとし、本当は家族 や子供がいなくとも、回答者が重要性の度合い1 から7を回答した場合は、その点数を記録するよ うに記した。	
問18b	#5.81b	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問27b 東ア日本02・問12b 環太平洋・問18b	生活領域の 重要性(職 業や仕事)		
問18c	#5.81c	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問27c 東ア日本02・問12c 環太平洋・問18c	生活領域の 重要性(自 由と寛ぎ)		
問18d	#5.81d	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問27d 東ア日本02・問12d 環太平洋・問18d	生活領域の 重要性(友 人, 知人)		
問18e	#5.81e	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問27e 東ア日本02・問12e 環太平洋・問18e	生活領域の 重要性(両 親, 親戚)		
問18f	#5.81f	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問27f 東ア日本02・問12f 環太平洋・問18f	生活領域の 重要性(宗 教)		
問18g	#5.81g	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問27g 東ア日本02・問12g 環太平洋・問18g	生活領域の 重要性(政 治)		
問19	#2.3c	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問28 東ア日本02・問13 環太平洋・問19	家庭満足		

質問		KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
問20		#2.82	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問29 東ア日本02・問14 環太平洋・問20	生活満足		
問21a		#2.80a	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問14a 東ア日本02・問4a 環太平洋問21a	病 気 (頭 痛・偏頭痛・ 頭が重い)	日本04A:「(1つずつ聞く)」追加	04B
問21b		#2.80b	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問14b 東ア日本02・問4b 環太平洋問21b	病気(背中 の痛み)	日本04A:「(1つずつ聞く)」追加	04B
問21c		#2.80c	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問14c 東ア日本02・問4c 環太平洋問21c	病気(いら いら)	日本04A:「(1つずつ聞く)」追加	04B
問21d		#2.80d	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問14d 東ア日本02・問4d 環太平洋問21d	病気(うつ 状態)	日本04A:「(1つずつ聞く)」追加	04B
問21e		#2.80e	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問14e 東ア日本02・問4e 環太平洋問21e	病気(不眠 症)	日本04A:「(1つずつ聞く)」追加	04B
問 21 f	新設		米国 CATI 調査 06 問 26f・兵庫教育大学「生 活と文化に関する世論 調査」06問16f	病気(全身 がだるい)	環太平洋調査では5種類の病気について尋ねてい たが、さらに5つの病名を追加。”	
問 21 g	新設		米国 CATI 調査 06 問 26h・兵庫教育大学「生 活と文化に関する世論 調査」06問16g	病気(心臓、 息苦しさ)	環太平洋調査では5種類の病気について尋ねてい たが、今回から新たに5つの病名を追加。	
問 21 h	新設		米国 CATI 調査 06 問 26g・兵庫教育大学「生 活と文化に関する世論 調査」06問16h	病気(胃腸)	環太平洋調査では5種類の病気について尋ねてい たが、今回から新たに5つの病名を追加。	
問21 i	新設		兵庫教育大学「生活と 文化に関する世論調 査」06問16i	病気(アレ ルギー)	環太平洋調査では5種類の病気について尋ねてい たが、今回から新たに5つの病名を追加。また、 問21iとjについてはCATI調査06に含まれていな かったため、英訳は新規。	
問21 j	新設		兵庫教育大学「生活と 文化に関する世論調 査」06問16j	病気(喘息)	環太平洋調査では5種類の病気について尋ねてい たが、今回から新たに5つの病名を追加。また、 問21iとjについてはCATI調査06に含まれていな かったため、英訳は新規。	
問 21 k	新設		兵庫教育大学「生活と 文化に関する世論調 査」06問16k	病気(その 他)	「その他健康上で悩みがありますか」の質問を、 「その他」(Voluntary)とは別に聞く事とした。	
問22	修正		東ア日本02・問45 環太平洋問22	相談相手	日本04A:「4、6、7」の回答肢を大幅に変更。 環太平洋:8.「医者など、その問題の専門家(記 入:)」を新規追加。	
問23	新設		ガン告知QOL調査	病気告知	ガン告知QOL調査では「ガン」、日本調査04Bでは 「治すのが難しい病気」、今回は双方の表現を考慮 し「ガンなどの治療が難しい病気」。また、英語版 は現地調査会社の提案も取り入れ、cancer and	04B

質問		KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
					other life-threatening disease とした。回答選択肢については、この質問は特に一部の回答者にとって答えにくい状況もあり得ることを考慮し、拒否と「考えても分らない」(DK)、の2つの状況を区別することにした(拒否は7、DKは9でコード)。	
問24a	新設		米国CATI調査06問10	金銭や物を貸す人	米国CATI調査06で使用され、日本では初出典の設問。	
問24b	新設		米国CATI調査06問10	理解者	問24aと同じ。	
問24c	新設		米国CATI調査06問10	相談者	問24aと同じ。	
問24d	新設		米国CATI調査06問10	高く評価する人	問24aと同じ。	
問25			東ア日本02・問15 環太平洋問23	成功の要因	日本04A:「(1つ選択)」→削除	
問26a			日本の習慣・行事に関する調査1976・問19G 「ガン告知QOL」 環太平洋問24a	超能力・念力	日本04A:「その他」「わからない」追加 回答カテゴリーの再編成	04B
問26b			日本の習慣・行事に関する調査1976・問19C 「ガン告知QOL」 環太平洋問24b	空飛ぶ円盤・宇宙人	日本04A:「その他」「わからない」追加 回答カテゴリーの再編成	04B
問26c			日本の習慣・行事に関する調査1976・問19F+L 「ガン告知QOL」 環太平洋問24c	妖怪・鬼	日本04A:「その他」「わからない」追加 回答カテゴリーの再編成	04B
問26d			日本の習慣・行事に関する調査1976・問19D+H 「ガン告知QOL」 環太平洋問24d	幽霊・人のたたり	日本04A:「その他」「わからない」追加 回答カテゴリーの再編成	04B
問27		#7.1	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問32 東ア日本02・問16 環太平洋問25	人間らしさはへるか		
問28		#8.1b	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問34 東ア日本02・問17 環太平洋問26	政治家にまかせる	KSの「その人」→「その人達」に変更 7カ国A:「その人たち」 7カ国B:「その人」 東ア日本02:「その人達」、日本04Bでは「その人」	04B
問29		#4.32	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問38 東ア日本02・問20 環太平洋問28	離婚すべきではないか		
問30		#2.5	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問43 東ア日本02・問21 環太平洋問29	自然と人間との関係	日本04A:「1つ」bold→bold取り消し	
問31		#7.4	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問44 東ア日本02・問22 環太平洋問30	国と個人の幸福	日本04A:「1つ」bold→bold取り消し	

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
問32	#7.2	日本人の国民性 東ア日本02・問18 環太平洋問31	心の豊かさ はへらない か	日本04A:「へる」→「人間らしさはへる」 日本04A:「へらない」→「人間らしさはへらない」 東ア日本02とは回答カテゴリーの順番が逆である。	
問33a		東ア日本02・問11a WVS世界23ヵ国価値 観・問71 環太平洋問32a	神や仏の存 在	日本04A:「(1つずつ聞く)」→削除	04B
問33b		東ア日本02・問11b WVS世界23ヵ国価値 観・問71 環太平洋問32b	死後の世界 の存在	日本04A:「(1つずつ聞く)」→削除	04B
問33c		東ア日本02・問11c WVS世界23ヵ国価値 観・問71 環太平洋問32c	霊魂の存在	日本04A:「(1つずつ聞く)」→削除	04B
問34a	#5.1d	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問45 東ア日本02・問23a 環太平洋問33a	大切な道徳 (親孝行)	日本04A:「(この質問では、2つの項目をあげて もらうこと)」位置移動とbold→bold取り消し	
問34b	#5.1d	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問45 東ア日本02・問23b 環太平洋問33b	大切な道徳 (恩返し)		
問34c	#5.1d	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問45 東ア日本02・問23c 環太平洋問33c	大切な道徳 (個人の権 利)		
問34d	#5.1d	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問45 東ア日本02・問23d 環太平洋問33d	大切な道徳 (自由)		
問35	#5.6	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問50 東ア日本02・問25 環太平洋問35	めんどろを みる課長		04B
問36	#2.12	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問51 東ア日本02・問26 環太平洋問36	他人のため か自分のた めか		04B
問37	#2.12b	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問52 東ア日本02・問27 環太平洋問37	スキがあれば 利用される か		
問38	#2.12c	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問53 東ア日本02・問28 環太平洋問38	人は信頼で きるか		
問39a	新設	兵庫教育大学「生活と 文化に関する世論調 査」06問35a	見えない力	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも 使用された質問を組み入れる。また、米国2010 は、日本調査04B問39のために作られた訳文(訳 は目安で、実際に諸外国で使用されたわけでない) を転用。	04B
問39b	新設	兵庫教育大学「生活と 文化に関する世論調	運命	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも 使用された質問を組み入れる。また、米国2010	04B

質問		KS 国民性調査	関連典拠	トピック	変更内容	関連 調査
			査」06問35b		では、日本調査04B問39では"manifest"の単語が不自然な使われ方だったため、表現を多少変更している。	
問39c	新設		兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問35c	輪廻	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも使用された質問を組み入れる。また、米国2010は、日本調査04B問39の表現から、輪廻の概念を表すのに英語圏で多くの場合使用される言い回しに変更している。	04B
問39d	新設		兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問35d	自然に還る	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも使用された質問を組み入れる。また、米国2010では、日本調査04B問39は"can"のところを"may"にしている。	04B
問39e	新設		兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問35e	人類全体への貢献	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも使用された質問を組み入れる。また、米国2010は、日本調査04B問39のために作られた訳文を転用。	04B
問39f	新設		兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問35f	自己犠牲	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも使用された質問を組み入れる。また、米国2010は、日本調査04B問39のために作られた訳文を転用、ただし文法上の微修正あり。	04B
問39g	新設		兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問35g	主義主張	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも使用された質問を組み入れる。また、米国2010は、日本調査04B問39のために作られた訳文を転用。	04B
問39h	新設		兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問35h	心中子供	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも使用された質問を組み入れる。また、米国2010では、日本調査04B問39の訳文だと中立的な認識を問う形になるため、より「気持ち分かる」の表現に近づくよう変更している。	04B
問39i	新設		兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問35i	心中恋人	日本調査04Bで作成され、兵庫教育大学調査06でも使用された質問を組み入れる。また、米国2010は、日本調査04B問39のために作られた訳文を転用。	04B
問40a	新設		米国 CATI 調査 06 問 20a・兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問17a	運命は決まっているか	米国CATI 調査から。ただし、アジア環太平洋調査の米国2010はCATI 調査06から"changed through own actions"と"own"を足している。	
問40b	新設		米国 CATI 調査 06 問 20b・兵庫教育大学「生活と文化に関する世論調査」06問17b	太く短く 細く長く	米国CATI調査06、兵庫教育大学調査：→「強いて言えば」を追加。 また、アジア環太平洋調査の米国2010では、CATI 調査06で使われていた"burn the brightest, burn the shortest"という表現は慣用句としてそれほど使われるものでもなく不自然な印象もあるため、"lead a long and simple life"と"lead a short but colorful life"に回答選択肢を変更。	
問41a		#7.83	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問57a 東ア日本02・問29a 環太平洋問40a	病気の治療	日本04A：「(a～dについてそれぞれ聞く)」 bold→bold取り消し	
問41b		#7.84	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問57b 東ア日本02・問29b 環太平洋問40b	心の解明		

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容
問41c	#7.85	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問57c 東ア日本02・問29c 環太平洋問40c	経済的・社会的問題の解決	
問41d		東ア日本02・問29d 環太平洋問40d	火星での生活	
問42	#9.80	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問61 東ア日本02・問30 環太平洋問41	文化	【国別質問】 日本04A:「(もし回答者が複数あげた場合は、すべて記す)」bold→削除
問43a	#3.1a	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問62 a 東ア日本02・問31a 環太平洋問42a	宗教を信じるか	
問43b	#3.1b	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問62 b 東ア日本02・問31b 環太平洋問42b	何という宗教	【国別質問】 日本04A:「持っている」→「もっている」 「(1つ選択)」bold
問44	#3.2	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問63 東ア日本02・問32 環太平洋問43	「宗教心」は大切か	
問45		東ア日本02・問34 日本人の法意識(日本文化会議)・Q35 環太平洋問45	法の遵守	
問46	修正	東ア日本02・問35 日本人の法意識(日本文化会議)・Q43 環太平洋問46	契約書と信頼感	環太平洋調査:「契約書をとりかわすなどというのは」→「契約書をとりかわすのは」(前者は質問項目そのものに対して否定的なバイアスがある可能性があるため)
問47		東ア日本02・問36 日本人の法意識(日本文化会議)・Q44 環太平洋問47	契約書の規定	
問48	修正	東ア日本02・問37 WVS世界23カ国価値観・問12 環太平洋問48	環境保護か 経済成長か	環太平洋調査:建前の回答が多くなるのを避けるため、回答肢を大幅に修正。「経済がある程度悪化しても、環境保護が優先されるべきだ」と、「環境がある程度悪化しても、経済成長が優先されるべきだ」の組み合わせを、「ある程度の公害や環境汚染・自然破壊が伴うことがあっても、経済のゆとりや快適な生活は大切だと思う」と、「公害や環境汚染・自然破壊を抑えるために、経済力が低下し生活が不便になってもよいと思う」にそれぞれ変更。同時に、米国2010も上記変更に合わせて表現を変更。
問49	新設		世界の中の役割	2004年日本調査Bの問42から。英語版訳もほぼ受け継いでいるが、ただし回答肢1, 4, 5では文法上の修正あり。
問50	#2.7	日本人の国民性 7ヶ国比較A票・問26 東ア日本02・問38 環太平洋問49	一番大切なもの	

関連調査

04B

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
問51a	新設		生き甲斐 (抛り所、 はげみ)		
問51b	新設		生き甲斐 (張り合 い)		
問51c	新設		生き甲斐 (役に立 つ)		
問51d	新設		生き甲斐 (期待され ている)		
問52a	英語 版修 正注 意	東ア日本02・問41a WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50a	信頼感 (宗教団 体)	問50全体:「(1つずつ印)」→「(1つずつ聞く)」 →削除 アジア太平洋調査の米国2010の質問文は表現を 再考した結果、WVSの類似した質問に近づけるこ とにした。ただし、もとの日本語版では従来の東 アジア調査や環太平洋調査から大きな変更なし。	
問52b		東ア日本02・問41b WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50b	信頼感 (司法制 度)		
問52c		東ア日本02・問41c WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50c	信頼感 (マスコ ミ)		
問52d		東ア日本02・問41d WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50d	信頼感 (警察)		
問52e		東ア日本02・問41e WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50e	信頼感 (行政)		
問52f		東ア日本02・問41f WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50f	信頼感 (国会)		
問52g		東ア日本02・問41g WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50g	信頼感 (NPO・ NGO)		
問52h		東ア日本02・問41h WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50h	信頼感 (社会福祉 施設)		
問52i		東ア日本02・問41i WVS世界23カ国価値 観・問9 環太平洋問50i	信頼感 (国連)		
問52j		東ア日本02・問41j 環太平洋問50j	信頼感 (科学技 術)	WVSの類似質問ではこの項目は入っていないの に注意。	

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
問53		東ア日本02・問51 環太平洋問51	宗教の在り 方	日本04A:「1つ」bold→bold取り消し	
問54	修正	東ア日本02・問54 国民性7カ国比較オム ニバスD票・問14 米国CATI調査06問D3 兵庫教育大学「生活と 文化に関する世論調 査」06問F8 環太平洋問52	社会参画	【国別質問】 環太平洋調査で「(M.A.)」→「(いくつでも)」、「い くつでも」bold、回答肢番号一部変更 アジア太平洋調査の米国2010では2006年CATI調 査、及び兵庫教育大学調査に基づき、回答肢の組 み合わせや表現を大幅に変更。英表現についても、 文法・表現上不自然な点を修正した。	

〈フェース・シート〉Face Sheetの項目のカテゴリーは、各国の事情に合わせて、変更されているので注意

質問	KS 国民性調査	関連出典	トピック	変更内容	関連 調査
F1		7ヶ国比較A票・F1	性別		
F2	英語 版修 正注 意	7ヶ国比較A票・F2	年齢	日本調査の対象者は20歳以上だが、米国など成人 が18歳以上の国・地域の場合、カテゴリー 「01.18-19歳」を追加。また、米国2010では割当 法なので、QS2として面接開始前に確認。 日本調査では70歳以上も対象としているが、国・ 地域によっては、69歳以下を対象としているため、 それらの国では「11.70歳以上」を削除	
F3 F4 F5 F6 F7	修正		学歴 本人職業 世帯収入 同居人数 同居形態	【国別質問】 Face Sheetの項目の順番、内容、カテゴリーは、 各国の事情に合わせて、変更されているので注意 (調査を実施した現地調査会社の形式を採用) アジア環太平洋調査の米国2010ではQS2として、 人種/民族を質問。世帯収入については環太平洋調 査から見直し、簡略化して日本語版、米国版とも に回答肢を5つとした。この際に、以前の環太平 洋調査では金額のレベルが合致していなかった が、アジア太平洋調査の米国2010ではドル金額を 円換算で日本版にほぼ対応するようにした。学歴 については日本版では中退は卒業とみなし、逆に 米国では中退の場合ひとつ下のレベルの学歴を記 録。	

【参考文献】

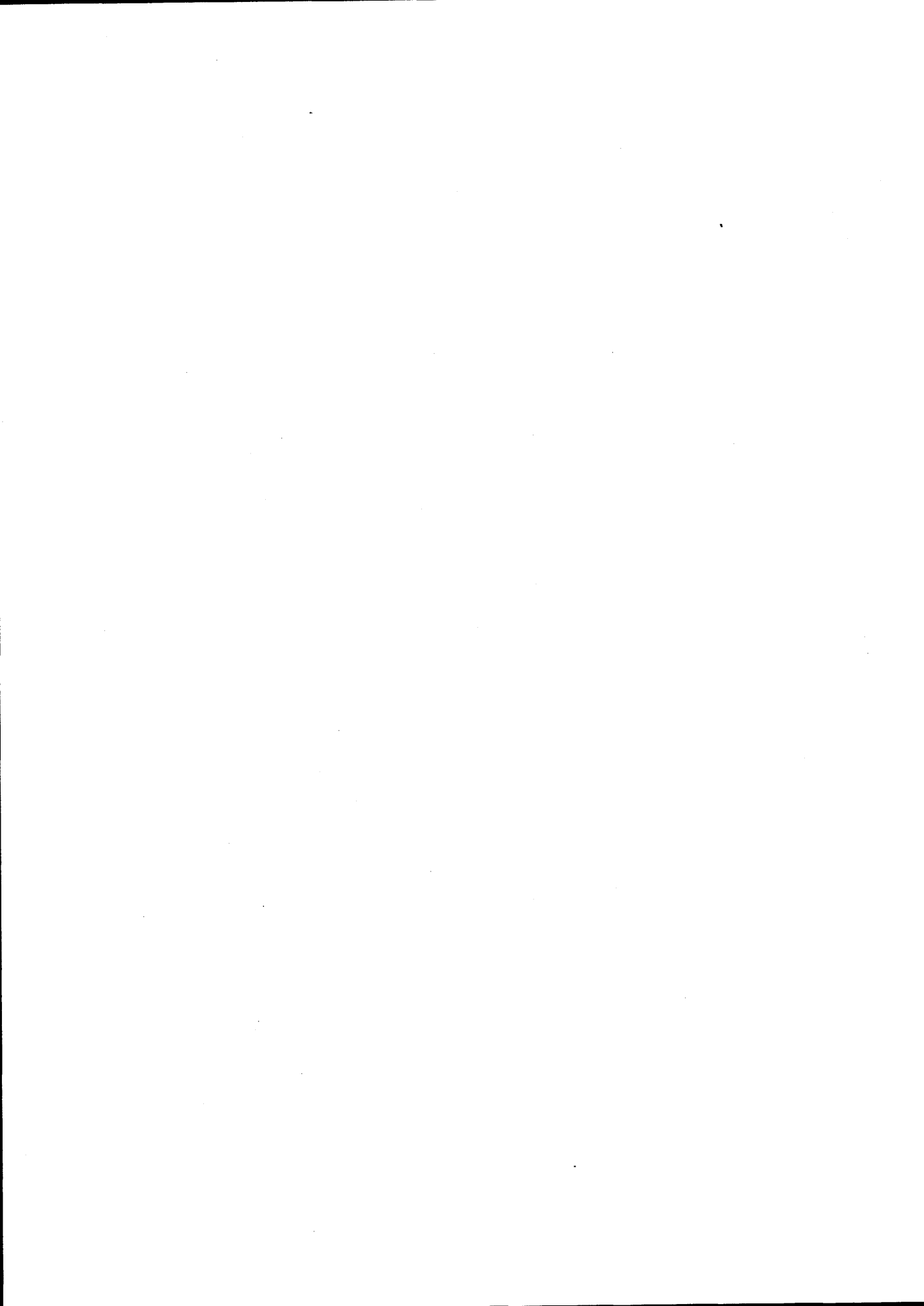
- 電通総研・余暇開発センター編 (1999). 世界 23 カ国 価値観データブック. 同友館.
- 日本癌病態治療研究会 (1996) 『日本人の心とガン告知』 (日本癌病態治療研究会、QOL 班)
- 林知己夫他 (1998). 国民性七か国比較. 出光書店.
- 兵庫教育大学 (2006). 生活と文化に関する世論調査 (<http://essrc.hyogo-u.ac.jp/jedi/handle/10479/JEDI.131>).
- 日本文化会議編 (1973). 日本人の法意識—調査分析—. 至誠堂.
- 統計数理研究所・研究レポート No.76 (1995). 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—総合報告書—.
- 統計数理研究所・研究レポート No.77 (1995). 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—国民性の国際比較のためのマニュアル—.
- 統計数理研究所・研究レポート No.89 (2003). 日本・中国の国民性比較のための基礎研究—中国北京市における意識調査—.
- 統計数理研究所・研究レポート No.90 (2003). 日本・中国の国民性比較のための基礎研究(2)—中国上海市における意識調査—.

- 山岡和枝・吉野諒三 (2008). 医療と文化の連関に関する統計科学的研究—生命観の国際比較 2006 年米国 CATI 調査—. 統計数理研究所.
- 吉野諒三 (2001). 心を測る—個と集団の意識の科学—. 朝倉書店.
- Yoshino, Ryozo, Kosuke Nikaido and Taisuke Fujita (2009). "Cultural Manifold Analysis (CULMAN) of National Character: Paradigm of Cross-National Survey." *Behaviormetrika* 36(2): 89-113.

【関連調査データ→参考文献】

- KS: 日本人の国民性調査 (1953 年～2003 年) →
統計数理研究所・研究レポート No.92 (2004) 国民性の研究第 11 次全国調査—2003 年全国調査—. 他多数.
- 日本の法意識 →
日本文化会議編 (1973). 日本人の法意識—調査分析—. 至誠堂.
- 日本の習慣・行事に関する調査 (1976・1977・1978) →
統計数理研究所・研究レポート No.44 (1979) には東京 1976 年調査、米沢 1977 年調査、及び東京 1978 年調査の調査票がある.
- がん告知 QOL 調査 (1996) → 「日本人の心とがん告知」(日本癌病態治療研究会、QOL 班[林知己夫・生越喬二])
- WVS 世界 23 カ国価値観 →
電通総研・余暇開発センター編 (1999). 世界 23 カ国 価値観データブック. 同友館.
- 7ヶ国比較 A 票/国民性 7ヶ国比較オムニバス D 票 →
林知己夫他 (1998). 国民性七か国比較. 出光書店.
- 統計数理研究所・研究レポート No.76 (1995). 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—総合報告書—.
- 統計数理研究所・研究レポート No.77 (1995). 意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究—国民性の国際比較のためのマニュアル—.
- 吉野諒三 (2001). 心を測る—個と集団の意識の科学—. 朝倉書店.
- 東ア日本 02 (東アジア価値観国際比較調査, 日本調査 2002) →
統計数理研究所・研究レポート No.89 (2003). 日本・中国の国民性比較のための基礎研究—中国北京市における意識調査—.
- 統計数理研究所・研究レポート No.90 (2003). 日本・中国の国民性比較のための基礎研究(2)—中国上海市における意識調査—.
- 東アジア価値観国際比較調査 (2002 年～2005 年) →
基盤研究 (A) 研究成果報告書—信頼感の統計科学的解析—
- 環太平洋価値観国際比較調査 (2004 年～2009 年) →
環太平洋価値観国際比較調査総合報告書—東アジア周辺諸国の「信頼感」の統計的解析—





ISM Survey Research Report No.103

The Asia-Pacific Values Survey
— Cultural Manifold Analysis (CULMAN) on
People's Sense of Trust —

JAPAN 2010 Survey

Ryozo Yoshino & Kosuke Nikaido (Eds.)

May, 2011

The Institute of Statistical Mathematics
Research Organization of Information and Systems

10-3 Midori-cho, Tachikawa
Tokyo 190-8562, Japan

ISSN 2185-8381